# 島根県生産遺跡分布調査報告書Ⅲ

# 窯業関係遺跡

1985・3

島根県教育委員会

# 目　次

例　言 …… iii
市町村別窯業関係遺跡数一覧表 …… iv
島根県窯業関係遺跡分布図

| （地図番号・地図名称） | （市町村名） |
|---|---|
| 1　美保関 | B八束郡美保関町 |
| 2　境　港 | B八束郡美保関町、C八束郡八束町、H八束郡鹿島町、I八束郡島根町、J松江市 |
| 3　恵　曇 | H八束郡鹿島町、J松江市、M平田市 |
| 4　米　子 | A安来市、K能義郡伯太町 |
| 5　松　江 | A安来市、C八束郡八束町、D八束郡東出雲町、E八束郡八雲村、F八束郡玉湯町、J松江市、L能義郡広瀬町、K能義郡伯太町、T大原郡大東町 |
| 6　今　市 | F八束郡玉湯町、G八束郡宍道町、J松江市、M平田市、N出雲市、O簸川郡斐川町、T大原郡大東町、U大原郡加茂町 |
| 7　大　社 | M平田市、N出雲市、P簸川郡大社町、Q簸川郡湖陵町 |
| 8　根　雨 | K能義郡伯太町 |
| 9　横　田 | A安来市、E八束郡八雲村、K能義郡伯太町、L能義郡広瀬町、T大原郡大東町、W仁多郡仁多町、X仁多郡横田町 |
| 10　木　次 | N出雲市、S簸川郡佐田町、T大原郡大東町、U大原郡加茂町、V大原郡木次町、W仁多郡仁多町、Y飯石郡三刀屋町、Z飯石郡吉田村、a飯石郡掛合町 |
| 11　石見大田 | N出雲市、R簸川郡多伎町、S簸川郡佐田町、a飯石郡掛合町、b飯石郡頓原町、d大田市 |
| 12　大　浦 | d大田市、e邇摩郡仁摩町 |
| 13　多　里 | W仁多郡仁多町、X仁多郡横田町 |
| 14　頓　原 | W仁多郡仁多町、Z飯石郡吉田村、a飯石郡掛合町、b飯石郡頓原町 |
| 15　三瓶山 | S簸川郡佐田町、a飯石郡掛合町、b飯石郡頓原町、c飯石郡赤来町、d大田市、g邑智郡邑智町、h邑智郡大和村、j邑智郡川本町 |
| 16　温泉津 | d大田市、e邇摩郡仁摩町、f邇摩郡温泉津町、g邑智郡邑智町、j邑智郡川本町、l邑智郡桜江町、n江津市 |
| 17　江　津 | n江津市 |
| 18　上布野 | c飯石郡赤来町 |
| 19　赤　名 | c飯石郡赤来町、g邑智郡邑智町、h邑智郡大和村、j邑智郡川本町、k邑智郡瑞穂町、l邑智郡桜江町、m邑智郡石見町 |
| 20　川　本 | j邑智郡川本町、k邑智郡瑞穂町、l邑智郡桜江町、m邑智郡石見町、n江津市、p那賀郡旭町 |
| 21　浜　田 | n江津市、o浜田市、p那賀郡旭町、q那賀郡金城町 |
| 22　八　重 | i邑智郡羽須美村、k邑智郡瑞穂町 |

| | | |
|---|---|---|
| 23 | 大　朝 | k 邑智郡瑞穂町、p 那賀郡旭町 |
| 24 | 木都賀 | o 浜田市、q 那賀郡金城町、r 那賀郡弥栄村、s 那賀郡三隅町、u 美濃郡美都町、v 美濃郡匹見町 |
| 25 | 益　田 | o 浜田市、s 那賀郡三隅町、t 益田市、u 美濃郡美都町 |
| 26 | 飯　浦 | t 益田市 |
| 27 | 三段峡 | u 美濃郡美都町、v 美濃郡匹見町 |
| 28 | 日　原 | o 益田市、u 美濃郡美都町、v 美濃郡匹見町、w 鹿足郡日原町、z 鹿足郡津和野町 |
| 29 | 須　佐 | t 益田市、w 鹿足郡日原町 |
| 30 | 津　田 | v 美濃郡匹見町、x 鹿足郡六日市町 |
| 31 | 津和野 | v 美濃郡匹見町、w 鹿足郡日原町、x 鹿足郡六日市町、y 鹿足郡柿木村、z 鹿足郡津和野町 |
| 32 | 徳佐中 | z 鹿足郡津和野町 |
| 33 | 鹿　野 | x 鹿足郡六日市町、y 鹿足郡柿木村 |
| 34 | 浦　郷 | A′ 隠岐郡西ノ島町、B′ 隠岐郡海士町、C′ 隠岐郡知夫村 |
| 35 | 西　郷 | D′ 隠岐郡五箇村、E 隠岐郡西郷町、F′ 隠岐郡都万村、G 隠岐郡布施村 |

島根県窯業関係遺跡所在地一覧表 …… 1

島根県窯業関係主要遺跡の概要 …… 31

高畑遺跡 …… 31
門生古窯跡群山根地区の古窯 …… 32
大井古窯跡群 …… 33
平所埴輪窯跡 …… 34
小松古窯跡群 …… 35
出雲国分寺瓦窯跡 …… 36
常楽寺瓦窯跡 …… 37
横田・大内谷窯跡 …… 38
日脚1号窯跡 …… 39
西平原窯址群 …… 40
本片子遺跡 …… 43
石見国分寺瓦窯跡 …… 44
白上焼 ―野田窯、吹金原窯― …… 46
喜阿弥焼 …… 49
安田焼 …… 51
塩谷焼 …… 52
才の神焼 …… 53

# 例　言

1. 本書は昭和59年度国庫補助を得て島根県教育委員会が実施した生産遺跡分布調査（窯業関係遺跡）の報告書（遺跡分布図）である。

2. 窯業関係遺跡台帳の原本は島根県教育委員会、その写しは関係市町村教育委員会で保管している。

3. 調査は以下のような組織で島根県教育委員会が実施した。

委嘱調査員

〔出雲・隠岐地区担当調査員〕

周藤国実

勝部　昭

〔石見地区担当調査員〕

平田正典　（協力）　島田春男、岡田芳美

岩村暁司　島田房雄、川下克宏、森脇　朗

吉川　正　岡本初一、吉田清和、川神徳弘

調査員

村上　勇

西尾克己

松本岩雄

主要遺跡調査・調査協力

木原光、永見英、川原和人、内田律雄、岡崎雄二郎、柳浦俊一、田中義昭、浅沼博、大森隆雄、卜部吉博、岩村信江、豊田善人

整理作業員

目次照江、松田浄子、青木紀子、井上健二、田根裕美子、三宅小文、堀江五十鈴

4. 本書に登載した窯業関係遺跡は、主に窯跡で古代から戦前のものまでを対象とした。なお、廃窯後すでに造成等により消滅したものも多数あるが、記録や聞き取り調査によりある程度地点が判明したものについては極力記載することとした。

5. 遺跡番号は、市町村毎に通し番号を付し、各市町村の記号は下記のとおりとした。

| | | | |
|---|---|---|---|
| A安来市 | B美保関町 | C八束町 | D東出雲町 |
| E八雲村 | F玉湯町 | G宍道町 | H鹿島町 |
| I島根町 | J松江市 | K伯太町 | L広瀬町 |
| M平田市 | N出雲市 | O斐川町 | P大社町 |
| Q湖陵町 | R多伎町 | S佐田町 | T大東町 |
| U加茂町 | V木次町 | W仁多町 | X横田町 |
| Y三刀屋町 | Z吉田村 | a掛合町 | b頓原町 |
| c赤来町 | d大田市 | e仁摩町 | f温泉津町 |
| g邑智町 | h大和村 | i羽須美村 | j川本町 |
| k瑞穂町 | l桜江町 | m石見町 | n江津市 |
| o浜田市 | p旭町 | q金城町 | r弥栄村 |
| s三隅町 | t益田市 | u美都町 | v匹見町 |
| w日原町 | x六日市町 | y柿木村 | z津和野町 |
| A'西ノ島町 | B'海士町 | C'知夫村 | D'五箇村 |
| E'西郷町 | F'都万村 | G'布施村 | |

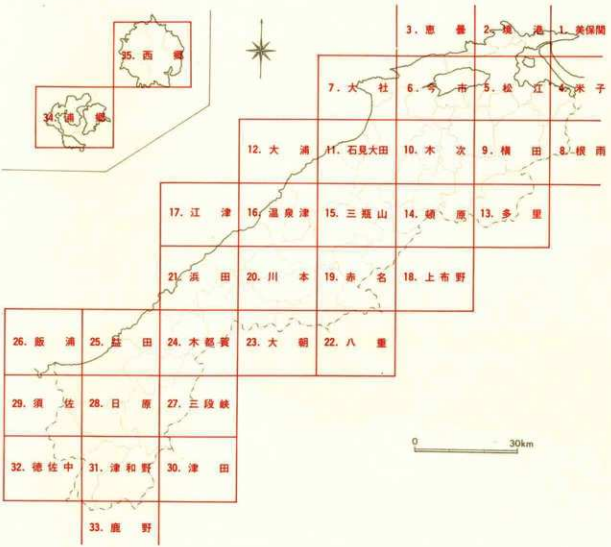
6. 本書に掲載した地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製し、7万分の1に縮少したものである。（承認番号）昭和60中複、第36号

7. 本書の主要遺跡概要の執筆は、委嘱調査員、調査員、調査協力者が行ない（執筆者名は各項末尾に記す）、編集は、村上勇、永塚太郎、西尾克己、田根裕美子の協力を得て松本岩雄が行なった。

# 市町村別窯業関係遺跡数一覧表

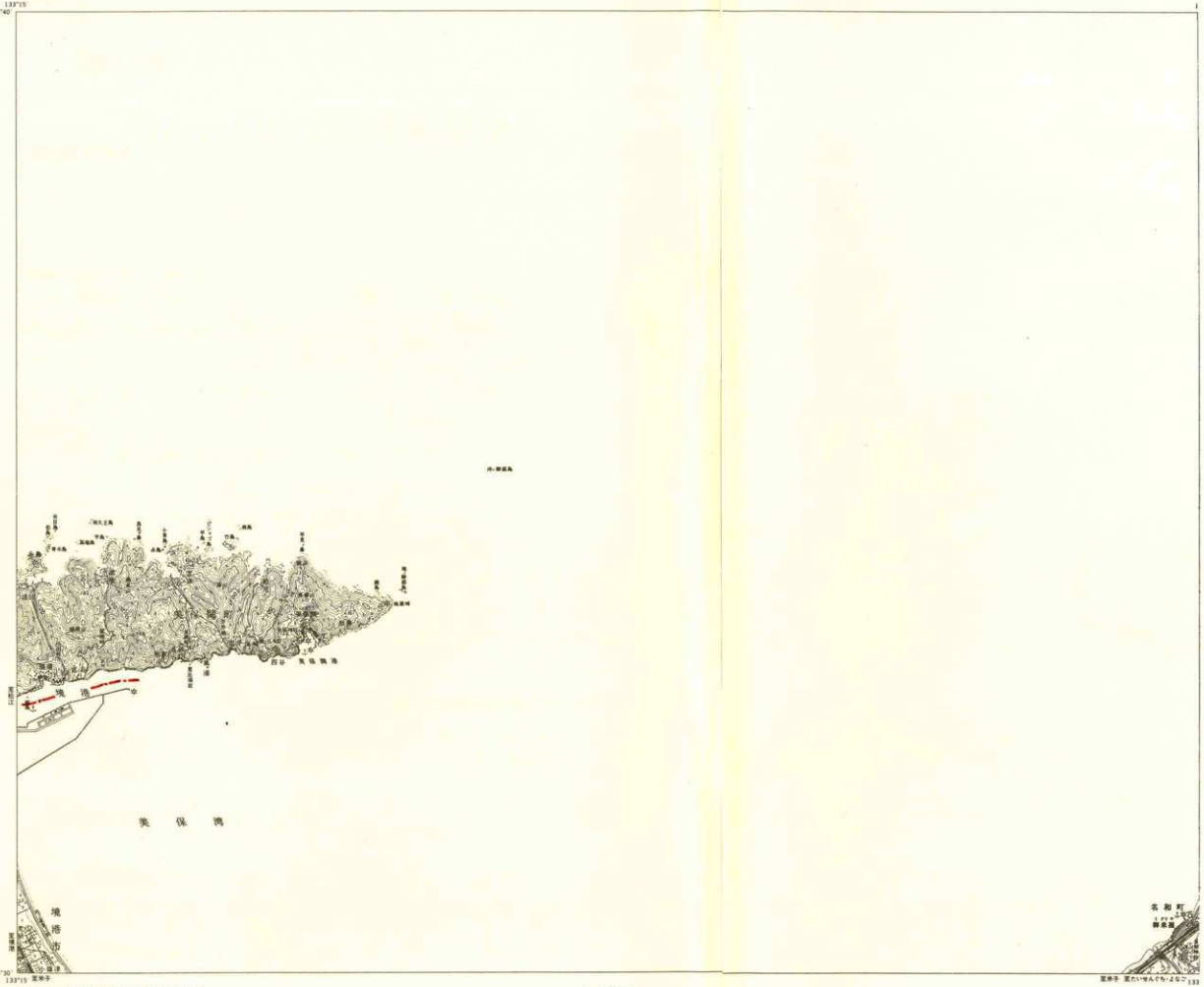
| 市町村名 | 遺跡数 | 市町村名 | 遺跡数 | 市町村名 | 遺跡数 |
|---|---|---|---|---|---|
| A 安来市 | 13 | U 大原郡加茂町 | 5 | o 浜田市 | 102 |
| B 八束郡美保関町 | 0 | V 大原郡木次町 | 1 | p 那賀郡旭町 | 1 |
| C 八束郡八束町 | 0 | W 仁多郡仁多町 | 0 | q 那賀郡金城町 | 9 |
| D 八束郡東出雲町 | 8 | X 仁多郡横田町 | 5 | r 那賀郡弥栄村 | 0 |
| E 八束郡八雲村 | 2 | Y 飯石郡三刀屋町 | 3 | s 那賀郡三隅町 | 5 |
| F 八束郡玉湯町 | 12 | Z 飯石郡吉田村 | 1 | t 益田市 | 42 |
| G 八束郡宍道町 | 1 | a 飯石郡掛合町 | 0 | u 美濃郡美都町 | 0 |
| H 八束郡鹿島町 | 0 | b 飯石郡頓原町 | 0 | v 美濃郡匹見町 | 0 |
| I 八束郡島根町 | 0 | c 飯石郡赤来町 | 3 | w 鹿足郡日原町 | 0 |
| J 松江市 | 29 | d 大田市 | 32 | x 鹿足郡六日市町 | 5 |
| K 能義郡伯太町 | 10 | e 邇摩郡仁摩町 | 3 | y 鹿足郡柿木村 | 1 |
| L 能義郡広瀬町 | 6 | f 邇摩郡温泉津町 | 40 | z 鹿足郡津和野町 | 2 |
| M 平田市 | 4 | g 邑智郡邑智町 | 5 | A′ 隠岐郡西ノ島町 | 0 |
| N 出雲市 | 2 | h 邑智郡大和村 | 3 | B′ 隠岐郡海士町 | 1 |
| O 簸川郡斐川町 | 3 | i 邑智郡羽須美村 | 2 | C′ 隠岐郡知夫村 | 0 |
| P 簸川郡大社町 | 3 | j 邑智郡川本町 | 7 | D′ 隠岐郡五箇村 | 0 |
| Q 簸川郡湖陵町 | 1 | k 邑智郡瑞穂町 | 34 | E′ 隠岐郡西郷町 | 0 |
| R 簸川郡多伎町 | 1 | l 邑智郡桜江町 | 0 | F′ 隠岐郡都万村 | 0 |
| S 簸川郡佐田町 | 4 | m 邑智郡石見町 | 5 | G′ 隠岐郡布施村 | 0 |
| T 大原郡大東町 | 6 | n 江津市 | 199 | 合計 | 621 |

# 島根県窯業関係遺跡分布図



1:50,000地形図　松江11号
みほのせき

# 美　保　関




昭和36年測量 昭和39年航測調整 昭和44年資料修正
行政区画および名称は昭和45年1月31日現在

1:50,000

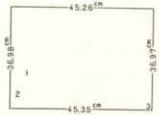
本図の記号は主として昭和40年式

昭和46年7月30日発行　著作権者兼発行者　国土地理院

## 1. 美保関

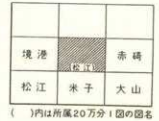
B. 八束郡美保関町

行政区画




島根県
1. 八束郡
鳥取県
2. 境港市　3. 西伯郡

索引図

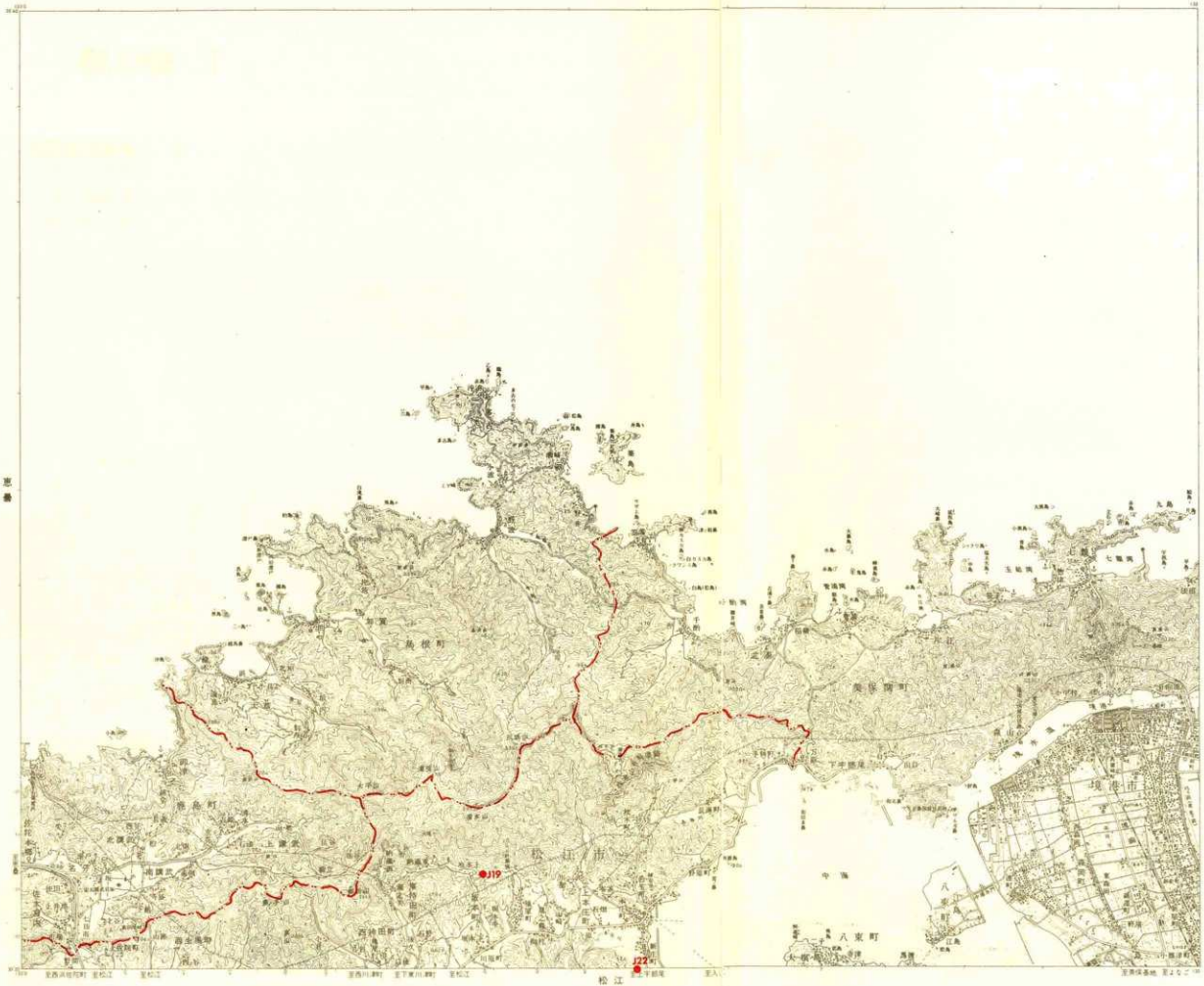



(　)内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

# 境　港




## 2. 境　港

B．八束郡美保関町
C．八束郡八束町
H．八束郡鹿島町
I．八束郡島根町
J．松江市

行政区画

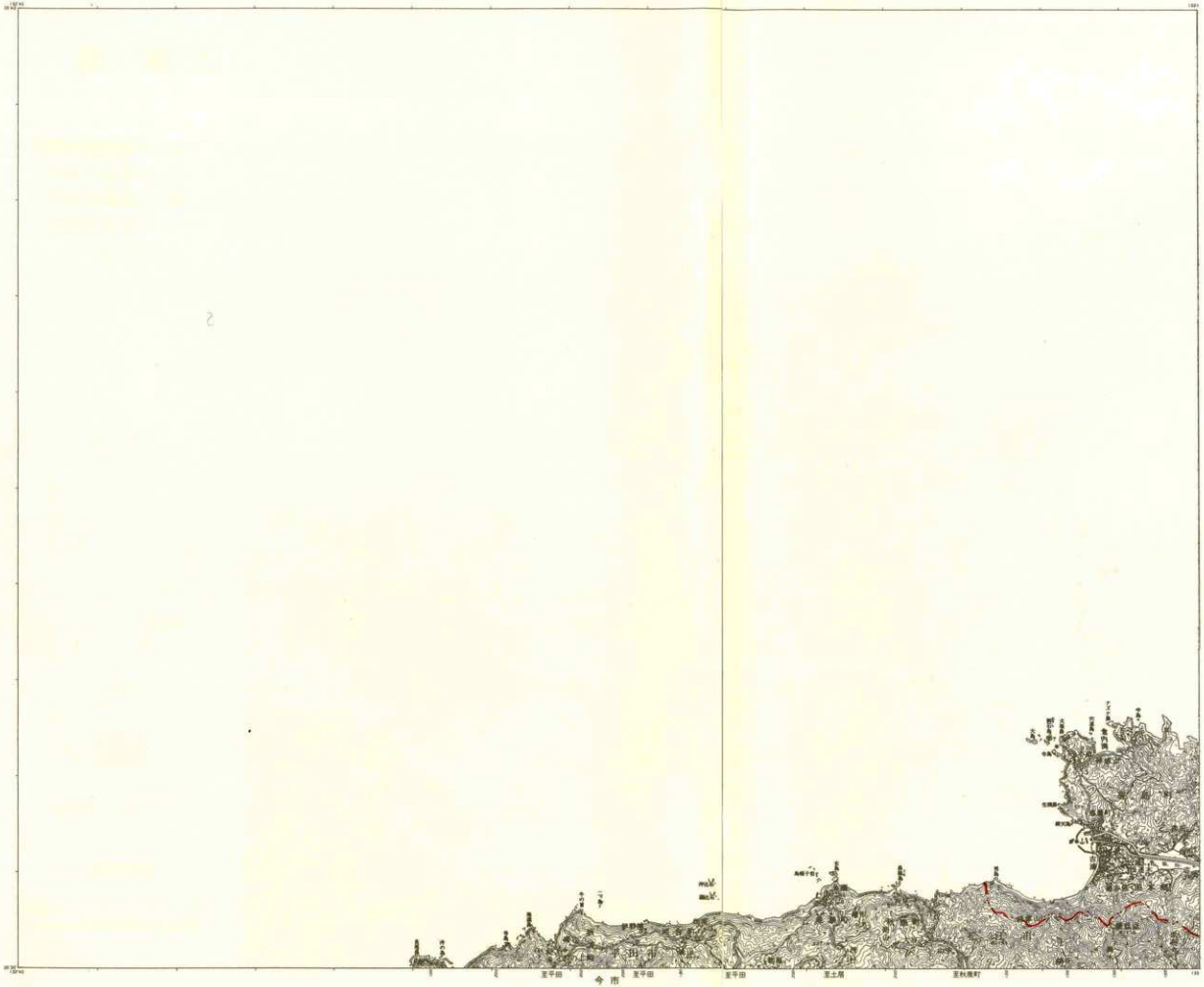
島根県
1．八束郡　2．松江市
鳥取県
3．境港市

索引図

1:70,000

0　3km

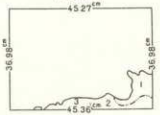
# 恵　曇




## 3. 恵　曇

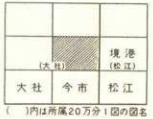
H. 八束郡鹿島町
J. 松江市
M. 平田市

行政区画




島根県
1. 八束郡　2. 松江市　3. 平田市

索引図



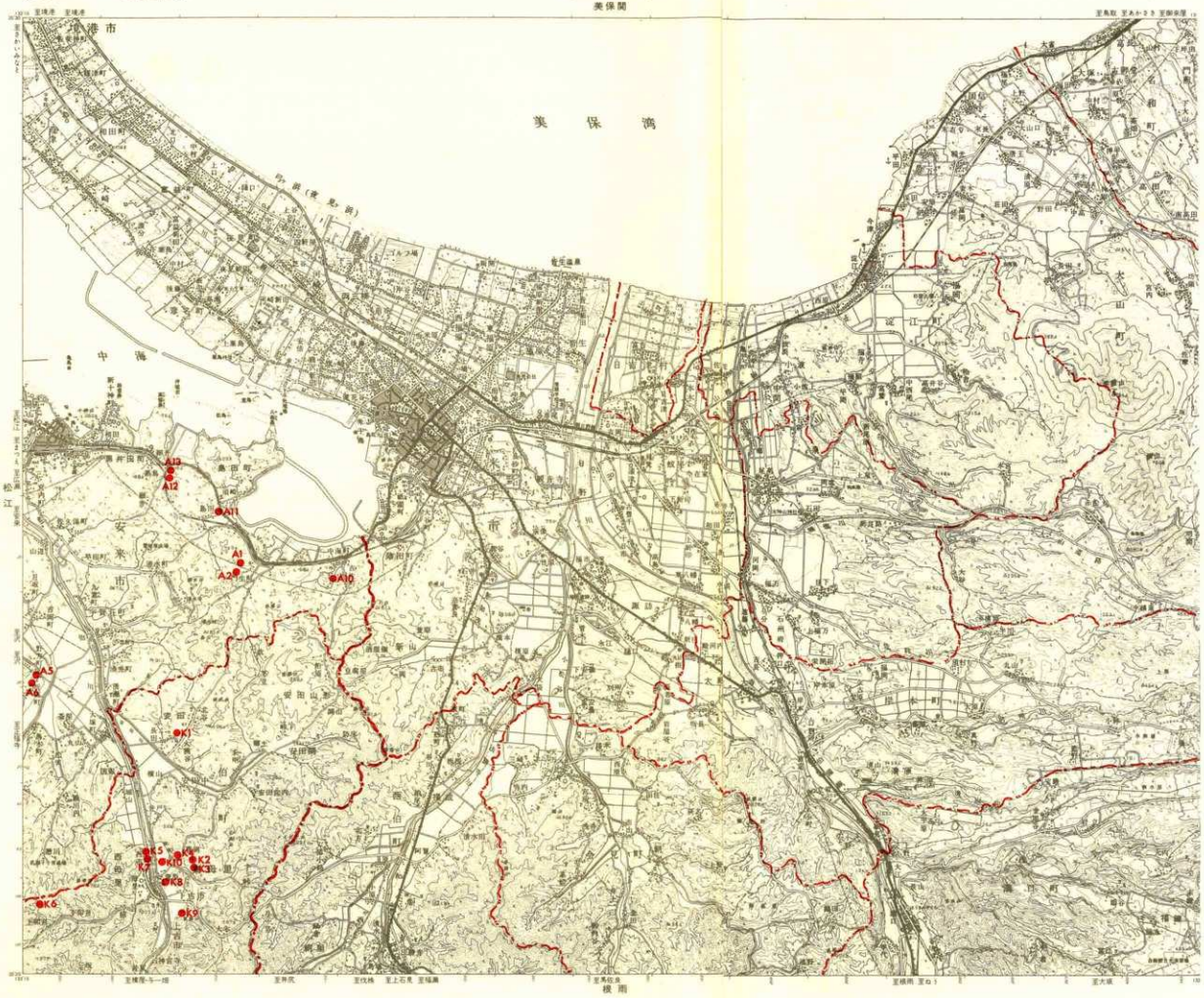

( )内は所属20万分1図の図名

1:70,000

1:50,000地形図　NI-53-25-12
よなご　（松江12号）

# 米　子

美保関




## 4. 米　子

A. 安来市
K. 能義郡伯太町

行政区画

島根県
1. 安来市　2. 能義郡
鳥取県
3. 境港市　4. 米子市
5. 西伯郡　6. 日野郡

索引図

| | | |
|---|---|---|
| 境港 | 美保関（松江） | 赤碕 |
| 松江 | | 大山 |
| 横田 | 根雨（美卓） | 湯本 |

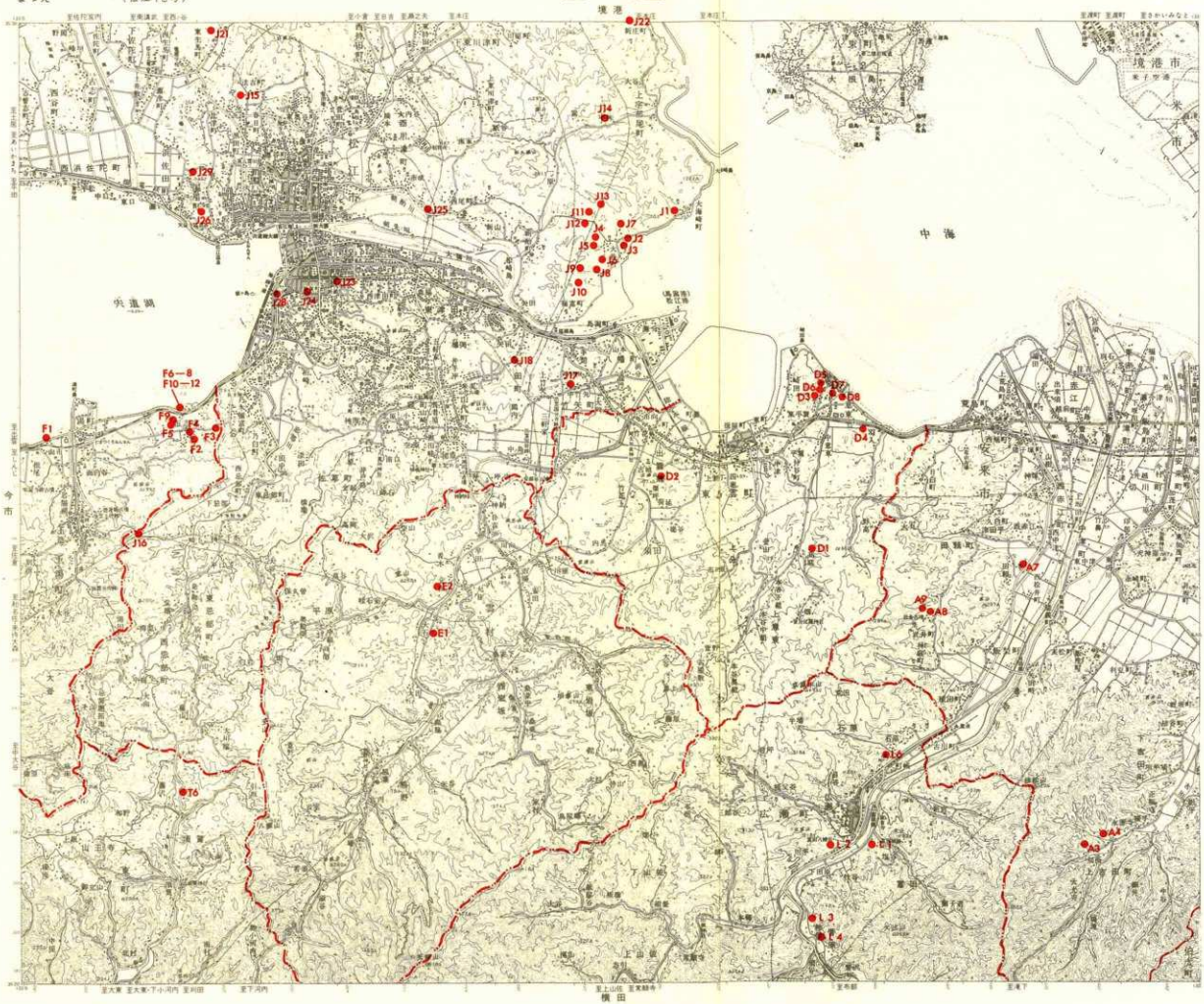
（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000地形図　NI-53-25-16
まつえ　（松江16号）

# 松　江




# 5. 松　江

A. 安来市
C. 八束郡八束町
D. 八束郡東出雲町
E. 八束郡八雲村
F. 八束郡玉湯町
J. 松江市
K. 能義郡伯太町
L. 能義郡広瀬町
T. 大原郡大東町

行政区画

島根県
1. 松江市　2. 八束郡　3. 大原郡
4. 安来市　5. 能義郡

鳥取県
6. 境港市　7. 米子市

索引図

| | | |
|---|---|---|
| 患暮（大社） | 境港 | 美保関（松江） |
| 今市 | | 米子 |
| 木次（浜田） | 横田（高梁） | 根雨 |

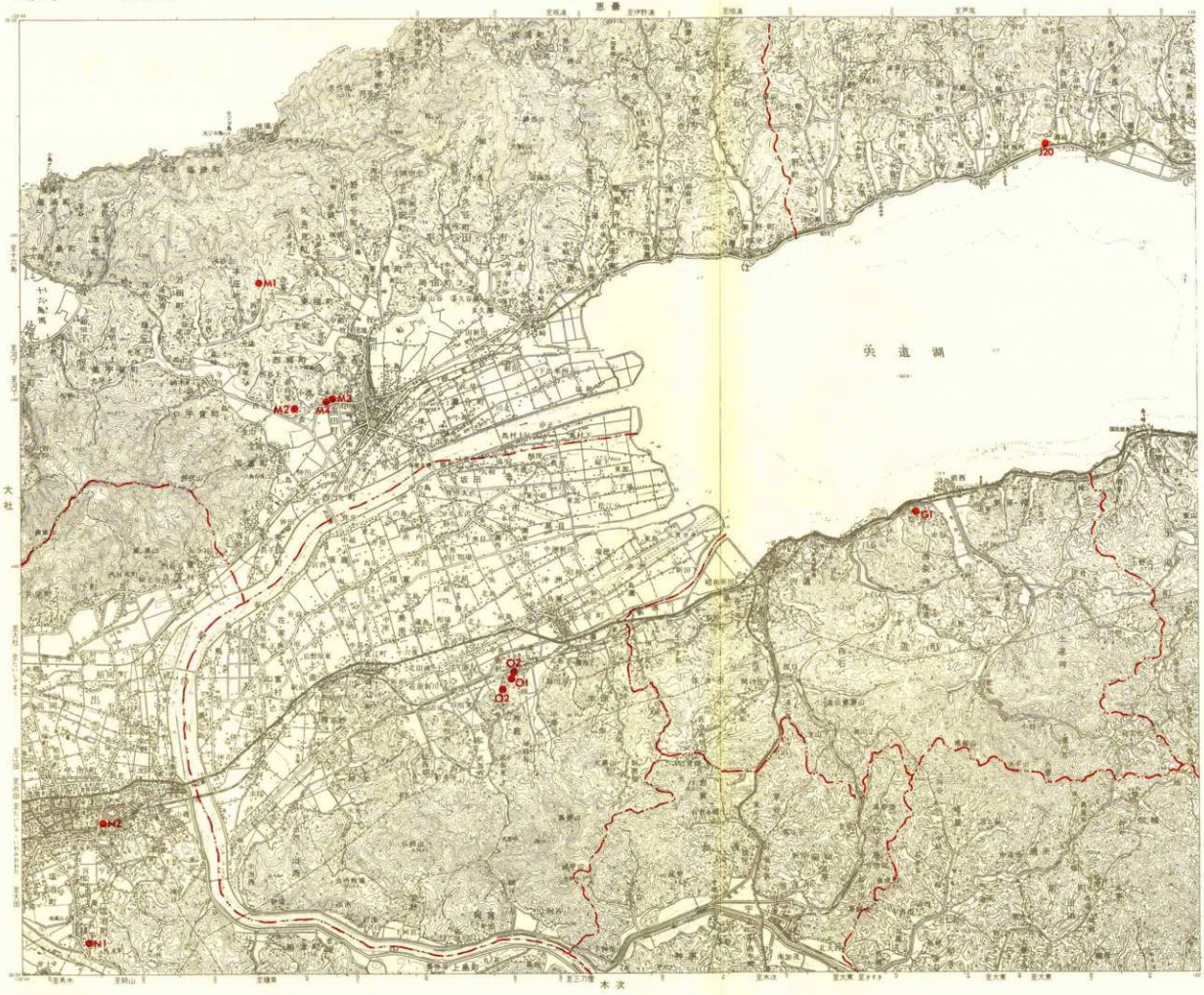
（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図　NI-53-31-4
いまいち　（大社4号）

# 今　市




## 6. 今　市

F. 八束郡玉湯町
G. 八束郡宍道町
J. 松江市
M. 平田市
N. 出雲市
O. 簸川郡斐川町
T. 大原郡大東町
U. 大原郡加茂町

行政区画

島根県
1. 平田市　2. 松江市　3. 出雲市
4. 簸川郡　5. 八束郡　6. 大原郡

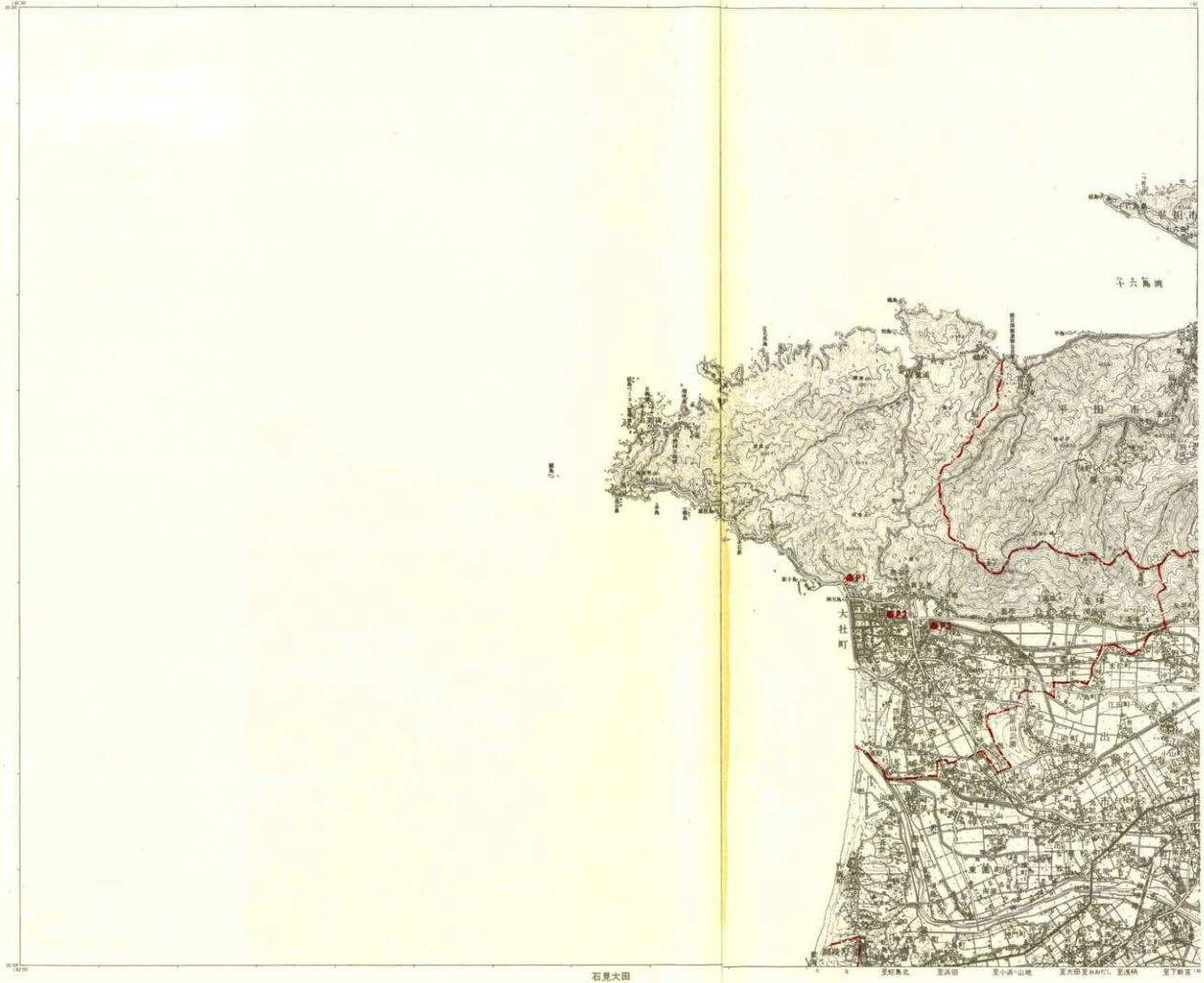
索引図

（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

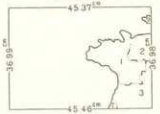
# 大　社




## 7. 大　社

M. 平田市
N. 出雲市
P. 簸川郡大社町
Q. 簸川郡湖陵町

行政区画



島根県
1. 簸川郡　2. 平田市　3. 出雲市

索引図

(　)内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

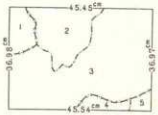
1:50,000地形図　NI-53-26-9
ねう　　（高梁9号）

# 根　雨

## 8. 根　雨

K. 能義郡伯太町

行政区画




島根県
1. 能義郡
鳥取県
2. 西伯郡　3. 日野郡
岡山県
4. 新見市　5. 阿哲郡

索引図

| | | |
|---|---|---|
| 松江 | 米子（松江） | 大山 |
| 横田 | （高梁） | 湯本 |
| 多里 | 上石見 | 勝山 |

（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

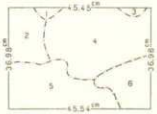
1:50,000地形図 NI-53-26-13
よこた (高梁(3号))

横　田

# 9. 横　田

A. 安来市
E. 八束郡八雲村
K. 能義郡伯太町
L. 能義郡広瀬町
T. 大原郡大東町
W. 仁多郡仁多町
X. 仁多郡横田町

行政区画



島根県
1. 八束郡　2. 大原郡　3. 安来郡
5. 仁多郡　4. 能義郡
鳥取県
6. 日野郡

索引図

( )内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

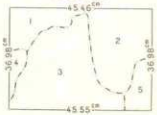
1:50,000 地形図　NI-53-32-I
きすき　　(浜田1号)

# 木　次

## 10. 木　次

N. 出雲市
S. 簸川郡佐田町
T. 大原郡大東町
U. 大原郡加茂町
V. 大原郡木次町
W. 仁多郡仁多町
Y. 飯石郡三刀屋町
Z. 飯石郡吉田村
a. 飯石郡掛合町

行政区画




島根県
1. 出雲市　2. 大原郡　3. 飯石郡
5. 仁多郡　4. 簸川郡

索引図

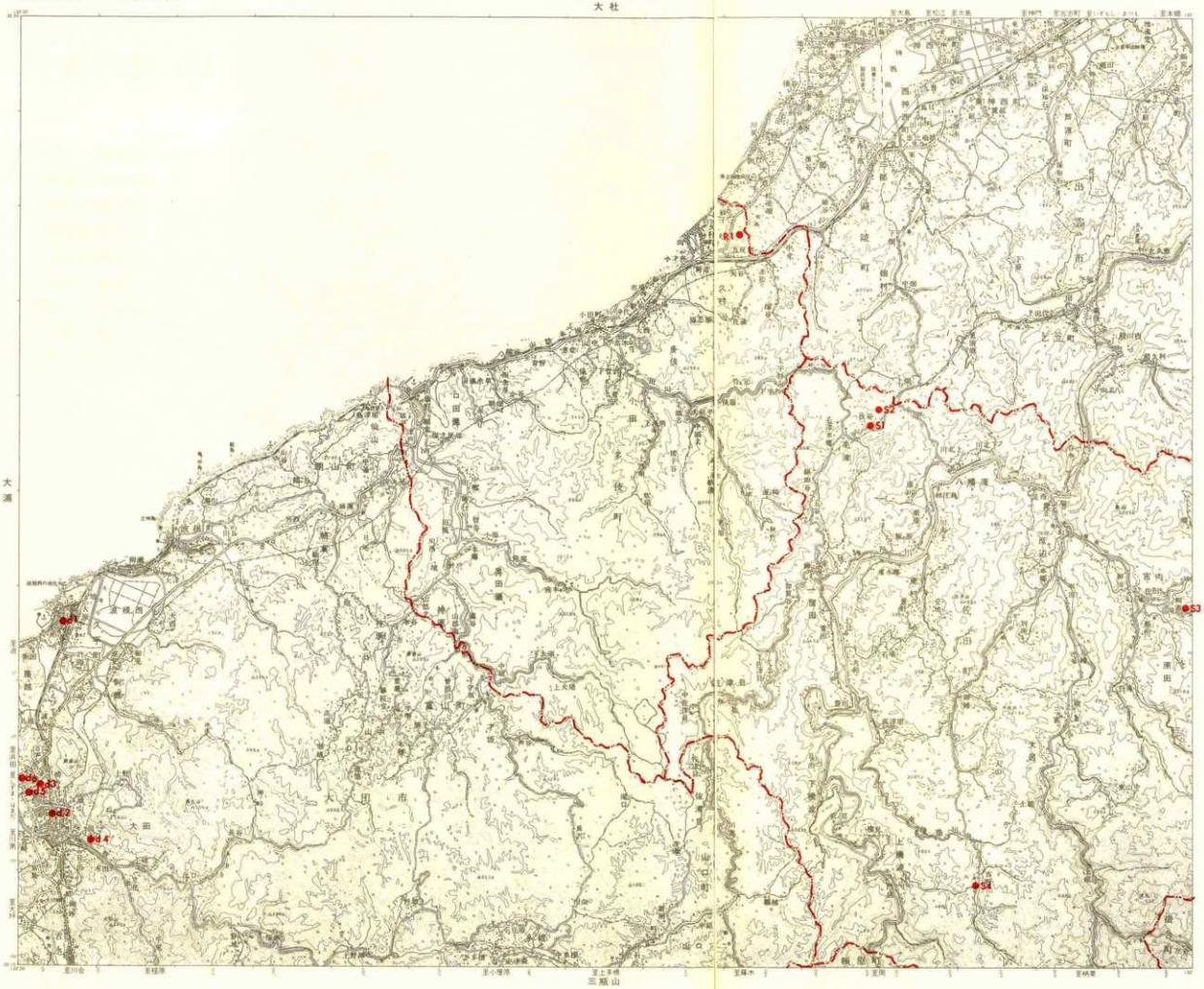
(　)内は地図20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図　NI-53-32-5
いわみおおだ　（浜田5号）

# 石見大田




## 11. 石見大田

N. 出雲市
R. 簸川郡多伎町
S. 簸川郡佐田町
a. 飯石郡掛合町
b. 飯石郡頓原町
d. 大田市

行政区画

島根県
1. 出雲市　2. 簸川郡
3. 大田市　4. 飯石郡

索引図

| | | |
|---|---|---|
| | 大社（大社） | 今市 |
| 大瀬 | （浜田） | 木次 |
| 温泉津 | 三瓶山 | 頓原 |

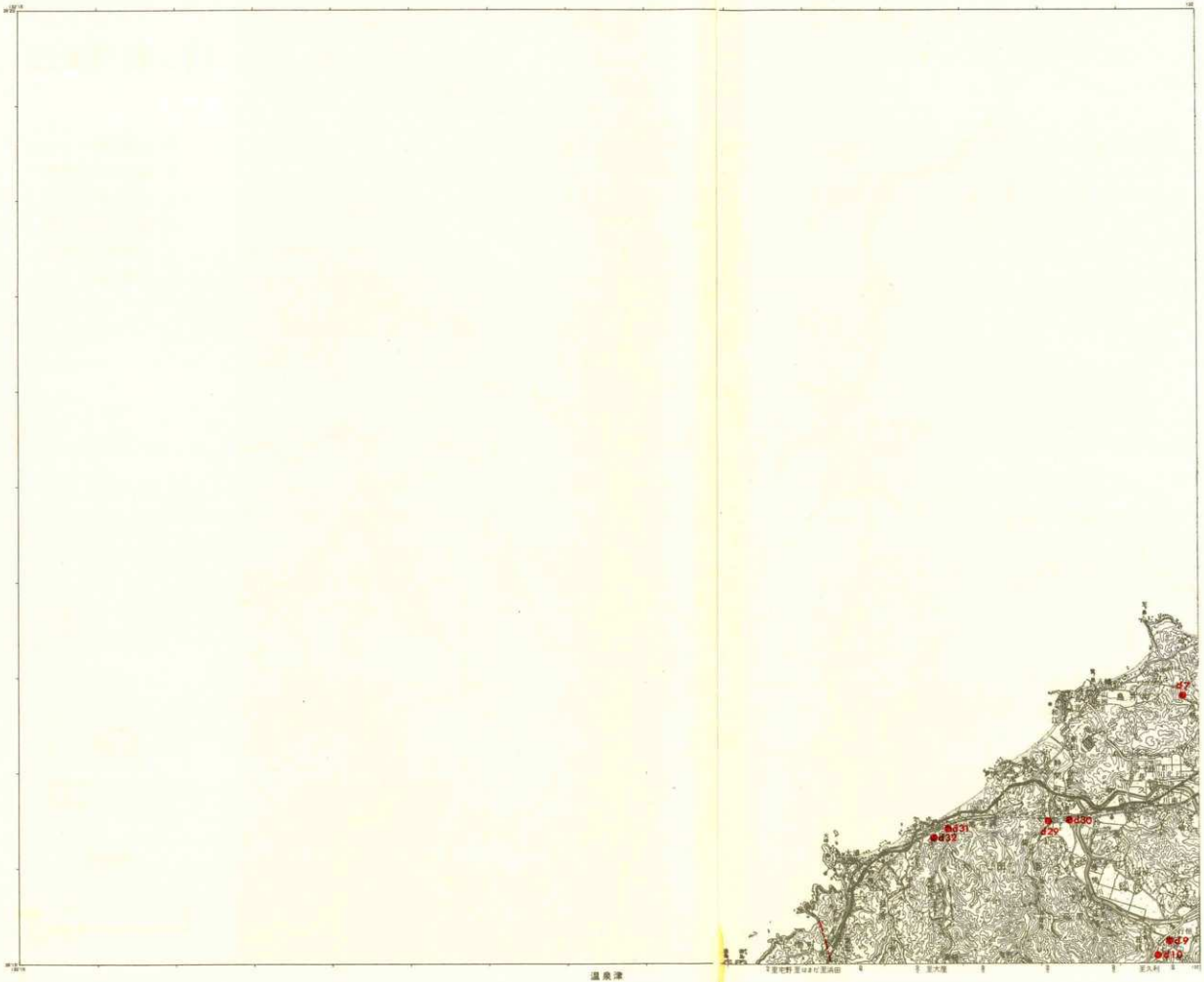
（　）内は地属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000地形図 NI-53-32-9
おおうら (浜田9号)

# 大　浦



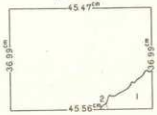




## 12. 大　浦

d. 大田市
e. 邇摩郡仁摩町

行政区画




島根県
1. 大田市　2. 邇摩郡

索引図

| | | |
|---|---|---|
| | (大 社) | 大 社 |
| | | 石見大田 |
| 江 津 | 温泉津 | 三瓶山 |

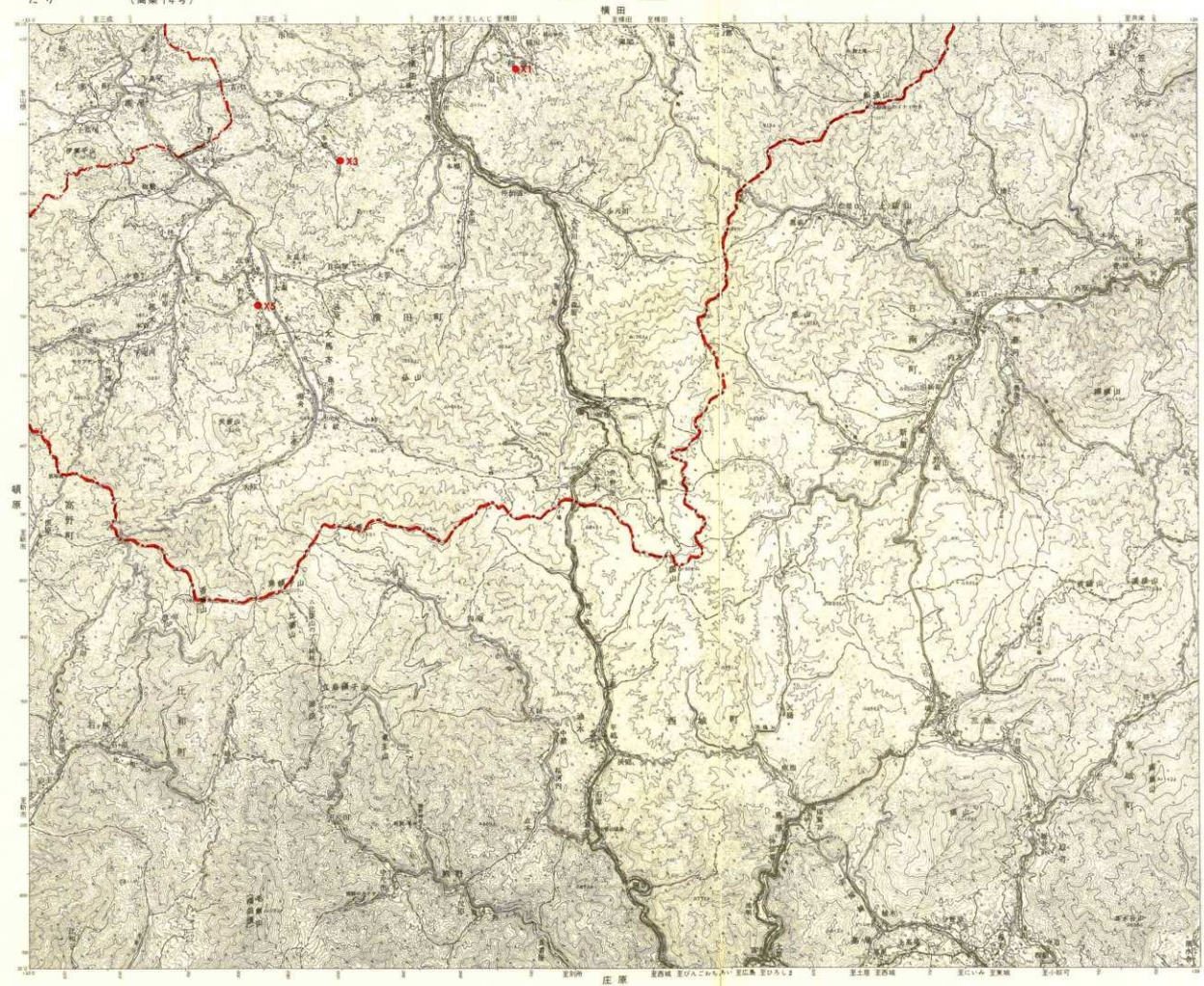
( )内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000地形図 NI-53-26-14
たり （高梁14号）

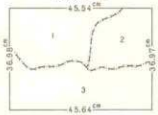
# 多　里




## 13. 多　里

W. 仁多郡仁多町
X. 仁多郡横田町

行政区画




島根県
1. 仁多郡
鳥取県
2. 日野郡
広島県
3. 比婆郡

索引図

| | | |
|---|---|---|
| 木次 | 横田 | 横雨 |
| 頓原（高田） | | 上石見（高津） |
| 上布野 | 庄原 | 新見 |

（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

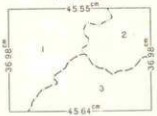
1:50,000 地形図　NI-53-32-2
とんばら　　（浜田2号）

# 頓　原

## 14. 頓　原

W. 仁多郡仁多町
Z. 飯石郡吉田村
a. 飯石郡掛合町
b. 飯石郡頓原町
c. 飯石郡赤来町

行政区画




島根県
1. 飯石郡　2. 仁多郡
広島県
3. 比婆郡

索引図

| | | |
|---|---|---|
| 石見大田 | 木次 | 横田 |
| 三瓶山 | | 多里 |
| 赤名 | 上布野 | 庄原 |

（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

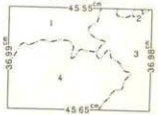
1:50,000 地形図　NI-53-32-6
さんべさん　（浜田6号）

# 三　瓶　山

## 15. 三瓶山

S．簸川郡佐田町
a．飯石郡掛合町
b．飯石郡頓原町
c．飯石郡赤来町
d．大田市
g．邑智郡邑智町
h．邑智郡大和村
j．邑智郡川本町

行政区画




島根県
1. 大田市　2. 簸川郡　3. 飯石郡
4. 邑智郡

索引図

| | | |
|---|---|---|
| 大 浦 | 石見大田 | 木 次 |
| 温泉津 | （大 田） | 頓 原 |
| 川 本 | 赤 名 | 上布野 |

（　）内は所属20万分1図の図名

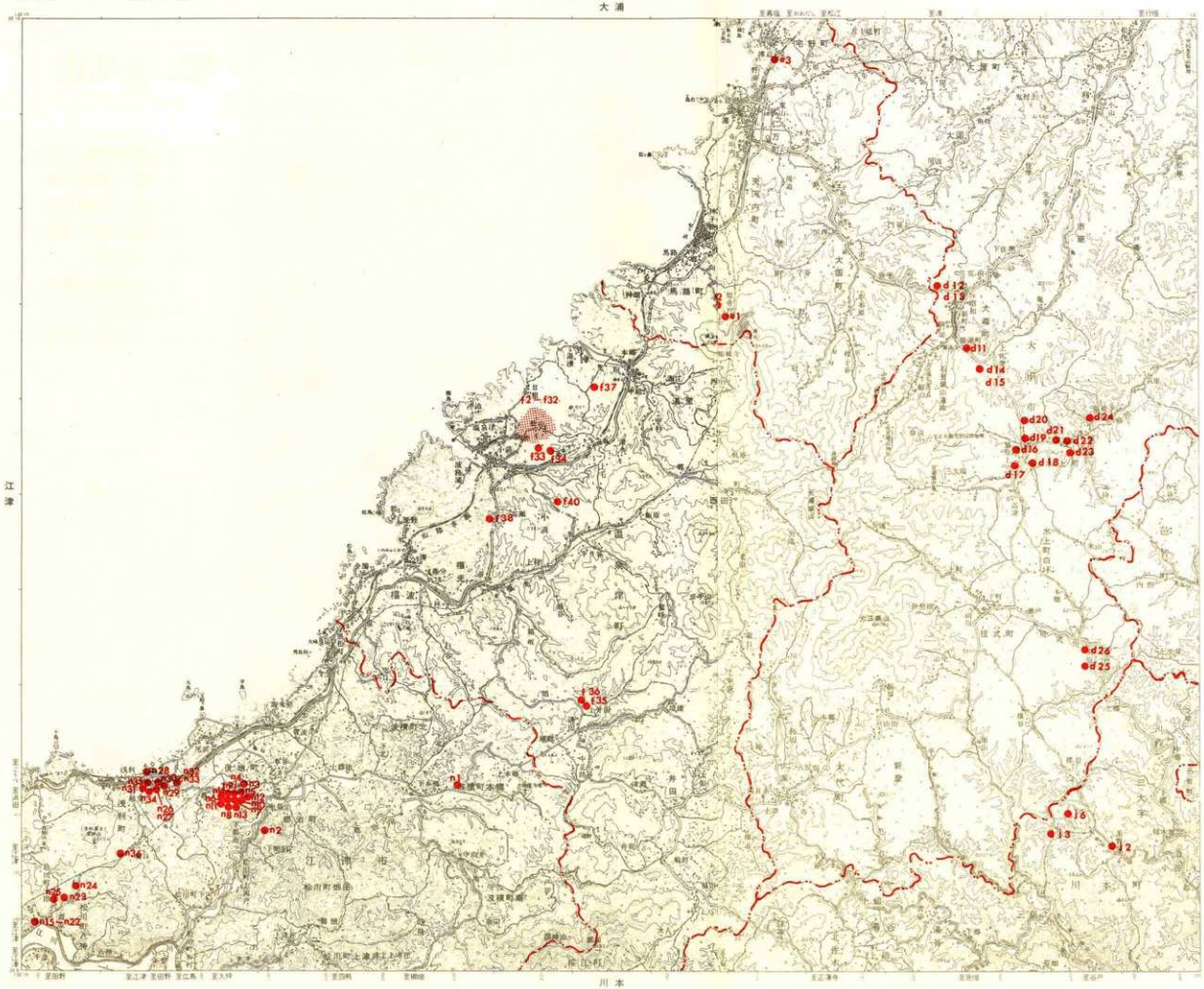
1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図　NI-53-32-10
ゆのつ　　（浜田10号）

# 温泉津

大浦




## 16. 温泉津

d. 大田市
e. 邇摩郡仁摩町
f. 邇摩郡温泉津町
g. 邑智郡邑智町
j. 邑智郡川本町
l. 邑智郡桜江町
n. 江津市

行政区画

島根県
1. 邇摩郡　2. 大田市　3. 江津市
4. 邑智郡

索引図

| | | |
|---|---|---|
| | 大浦 | 石見大田 |
| 江津 | 温泉津 | 三瓶山 |
| 浜田 | 川本 | 赤名 |

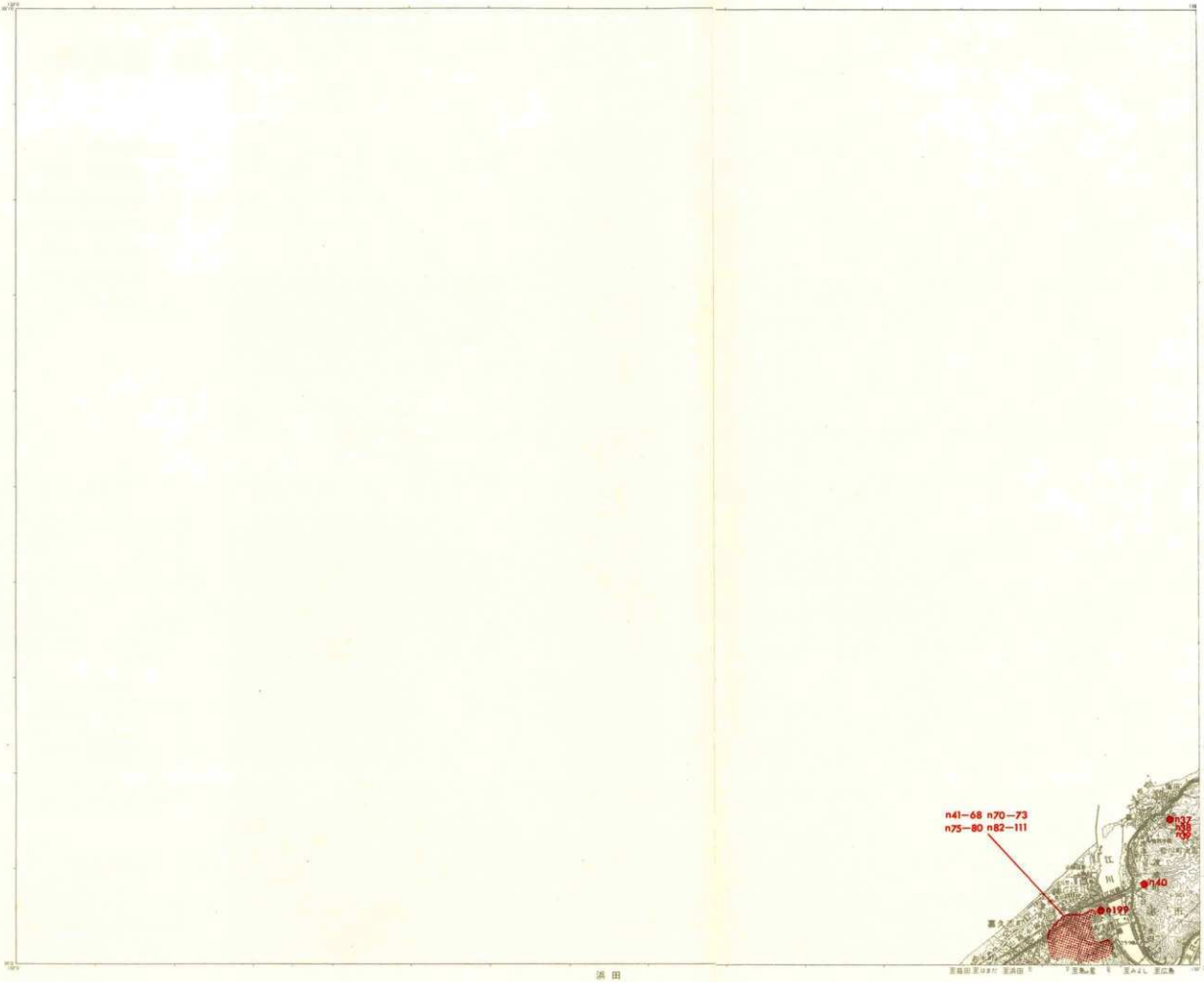
（　）内は地域20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図　N1-53-32-14
ごうつ　（浜田 14 号）

# 江　津




## 17. 江　津

n. 江津市

島根県
1. 江津市

| | | |
|---|---|---|
| | | 大浦 |
| | | 温泉津 |
| | 浜田 | 川本 |

1:70,000

0　3km

1:50,000地形図 NI-53-32-3
かみふの (浜田3号)

# 上布野

## 18. 上布野

c. 飯石郡赤来町

行政区画

島根県
1. 飯石郡
広島県
2. 双三郡 3. 比婆郡 4. 三次市
5. 庄原市

索引図

| | | |
|---|---|---|
| 三瓶山 | 頓原 | 多里 |
| 赤名 (浜田) | | 庄原 (高梁) |
| 八重 | 三次 | 上下 |

( )内は所属20万分1図の図名

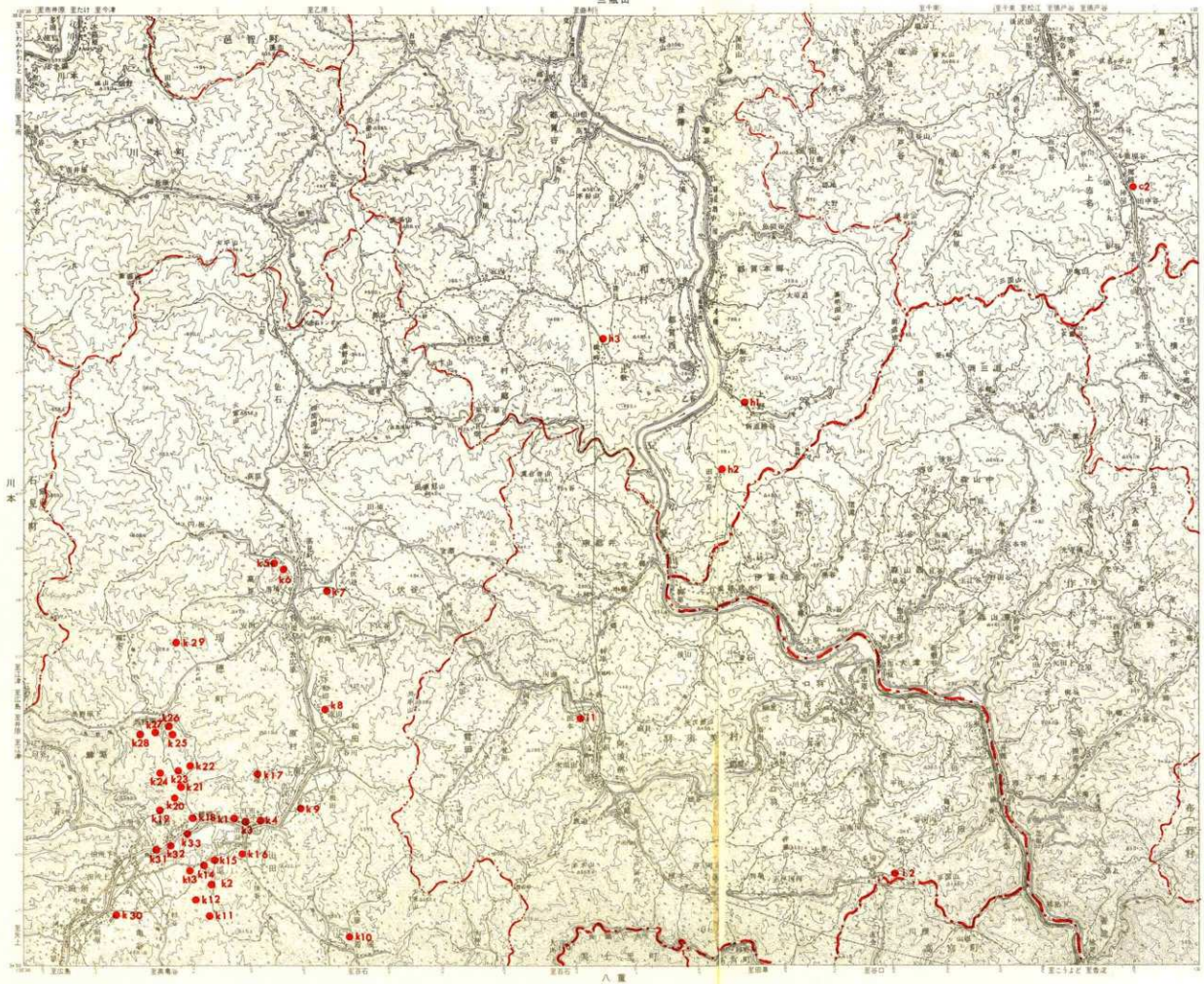
1:70,000

0 3km

1:50,000 地形図 NI-53-32-7
あかな （浜田7号）

# 赤　名

三瓶山




## 19. 赤　名

c. 飯石郡赤来町
g. 邑智郡邑智町
h. 邑智郡大和村
i. 邑智郡羽須美村
j. 邑智郡川本町
k. 邑智郡瑞穂町
m. 邑智郡石見町

行政区画

島根県
1. 邑智郡　2. 飯石郡
広島県
3. 双三郡　4. 高田郡

索引図

（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

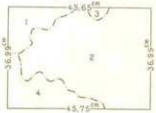
1:50,000 地形図　NI-53-32-11
かわもと　（浜田11号）

# 川　本

## 20. 川　本

j．邑智郡川本町
k．邑智郡瑞穂町
l．邑智郡桜江町
m．邑智郡石見町
n．江津市
p．那賀郡旭町

行政区画




島根県
1．江津市　2．邑智郡　3．邇摩郡
4．那賀郡

索引図

| | | |
|---|---|---|
| 江津 | 温泉津 | 三瓶山 |
| 浜田 | （本図） | 赤名 |
| 木都賀 | 大朝 | 八重 |

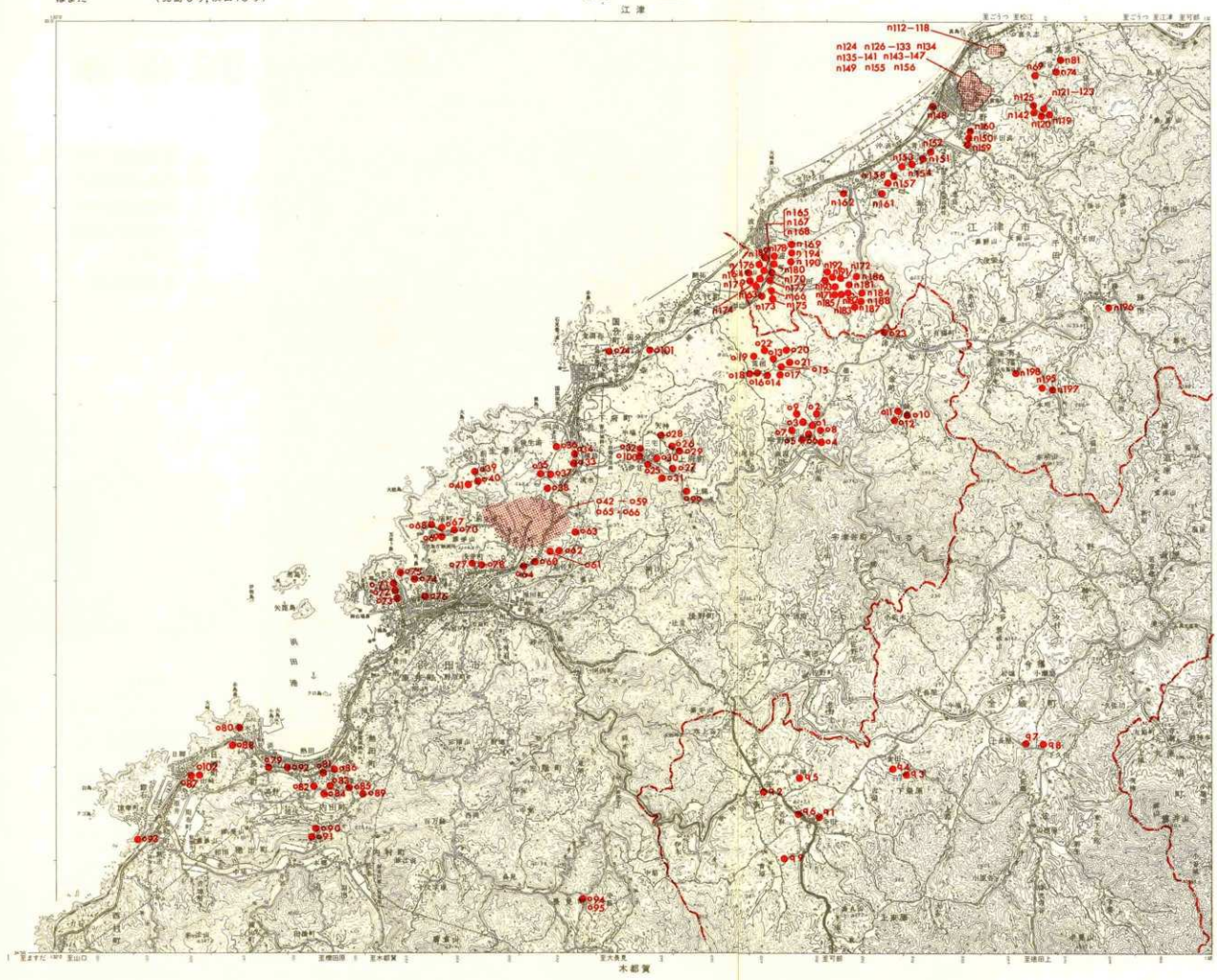
（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図　NI-52-2-3,53-32-15
はまだ　　（見島3号，浜田15号）

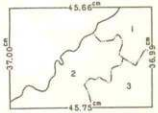
# 浜　田




## 21. 浜　田

n. 江津市
o. 浜田市
p. 那賀郡旭町
q. 那賀郡金城町

行政区画




島根県
1. 江津市　2. 浜田市　3. 那賀郡

索引図

（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図 NI-53-32-8
やえ (浜田8号)

# 八　重

## 22. 八　重

i．邑智郡羽須美村
k．邑智郡瑞穂町

行政区画

島根県
1．邑智郡
広島県
2．山県郡　3．高田郡　4．双三郡

索引図

| | | |
|---|---|---|
| 川本 | 赤名（浜田） | 上布野 |
| 大朝 | | 三次 |
| 加計 | 可部（広島） | 乃美 |

（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

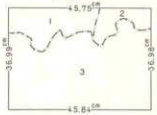
1:50,000 地形図 NI-53-32-12
おおあさ (浜田12号)

# 大　朝

## 23. 大　朝

k. 邑智郡瑞穂町
p. 那賀郡旭町

行政区画




島根県
1. 那賀郡　2. 邑智郡
広島県
3. 山県郡

索引図

(　)内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図 NI-53-32-16
きつか (浜田16号)

# 木 都 賀

## 24. 木都賀

o. 浜田市
q. 那賀郡金城町
r. 那賀郡弥栄村
s. 那賀郡三隅町
u. 美濃郡美都町
v. 美濃郡匹見町

行政区画

島根県
1. 浜田市　2. 那賀郡　3. 美濃郡
広島県
4. 山県郡

索引図

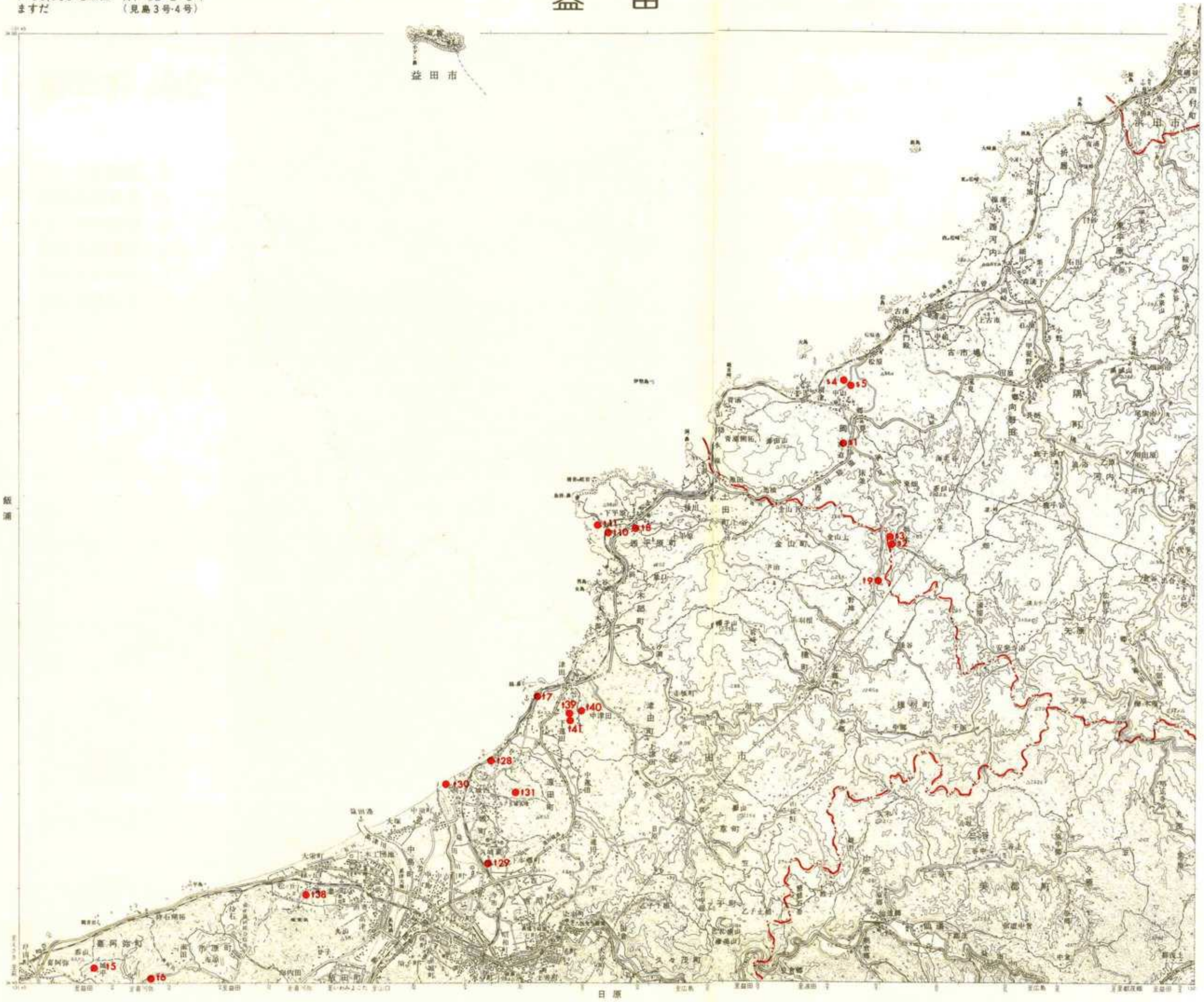
( )内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0 3km

1:50,000 地形図　NI-52-2-3-4
ますだ　（見島3号-4号）

# 益　田




# 25. 益　田

o. 浜田市
s. 那賀郡三隅町
t. 益田市
u. 美濃郡美都町

行政区画

島根県
1. 益田市　2. 那賀郡　3. 浜田市
4. 美濃郡

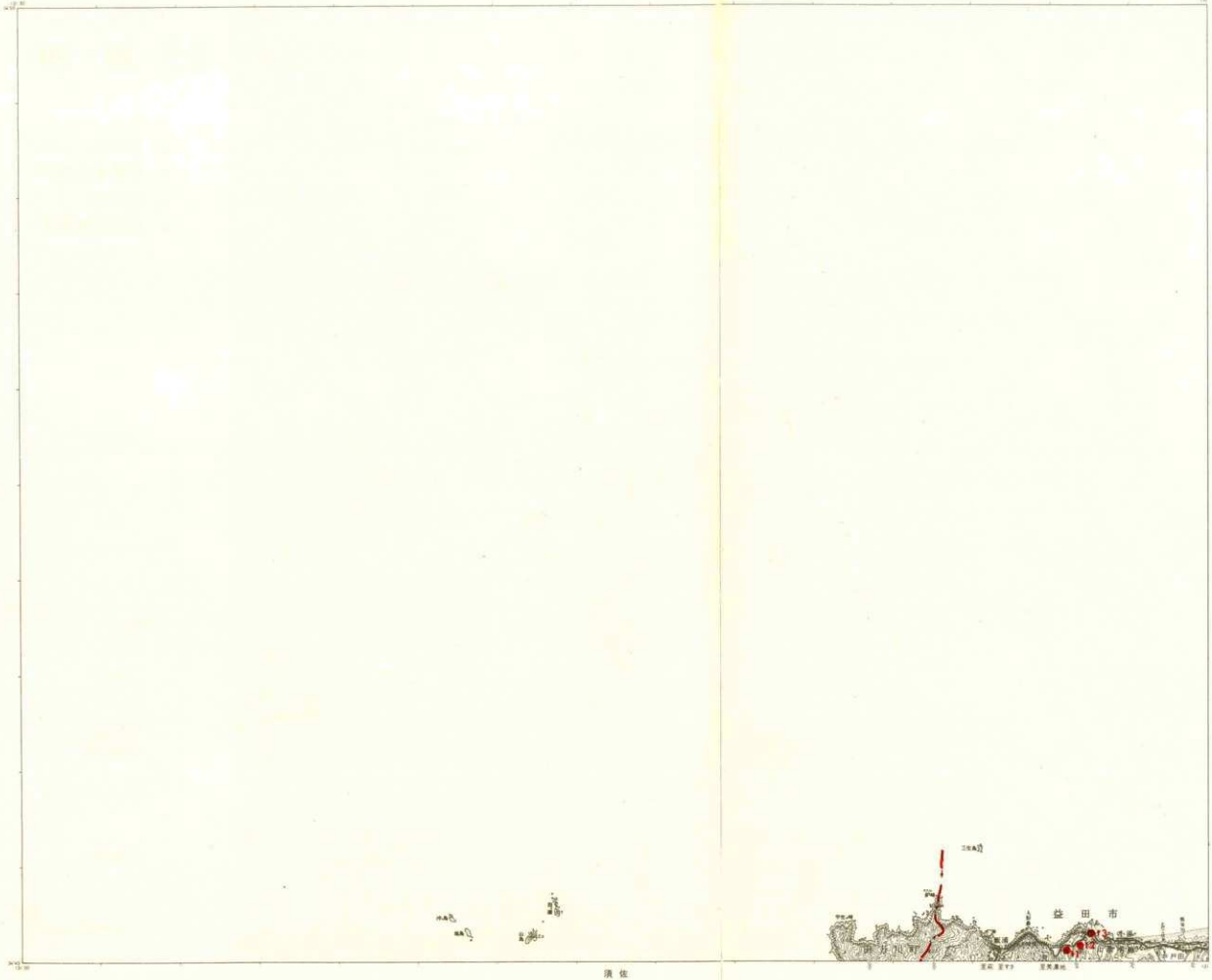
索引図

（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

# 飯　浦






# 26. 飯　浦

t. 益田市

行政区画

山口県
1. 阿武郡
島根県
2. 益田市

索引図

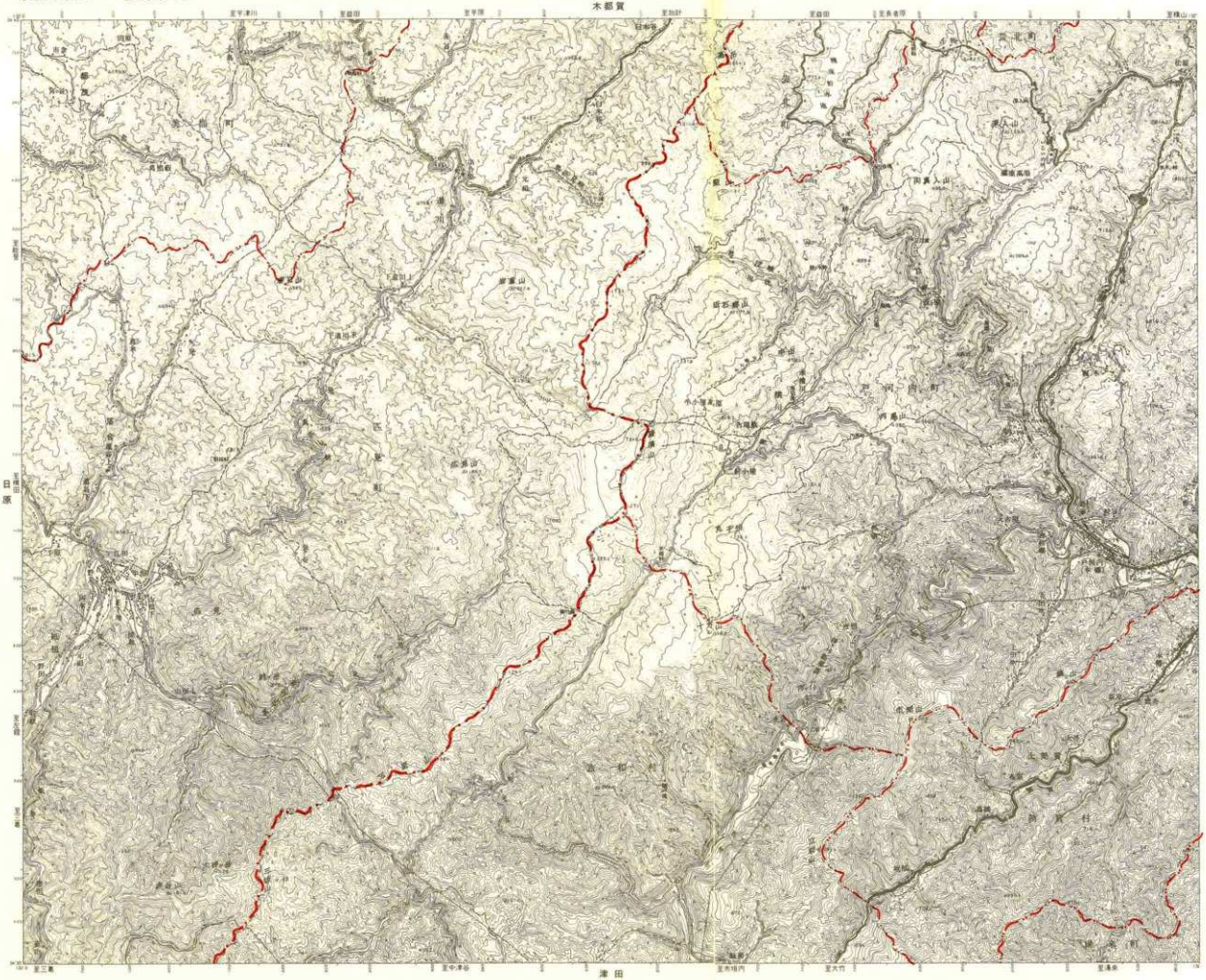
( )内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図 NI-53-33-13
さんだんきょう (広島13号)

# 三 段 峡




## 27. 三段峡

u. 美濃郡美都町
v. 美濃郡匹見町

行政区画

島根県
1. 美濃郡
広島県
2. 山県郡 3. 佐伯郡

索引図

| | | |
|---|---|---|
| 益田 (島根) | 木都賀 (島根) | 大朝 (広島) |
| 日原 (山口) | | 加計 (広島) |
| 津和野 | 津田 | 広島 |

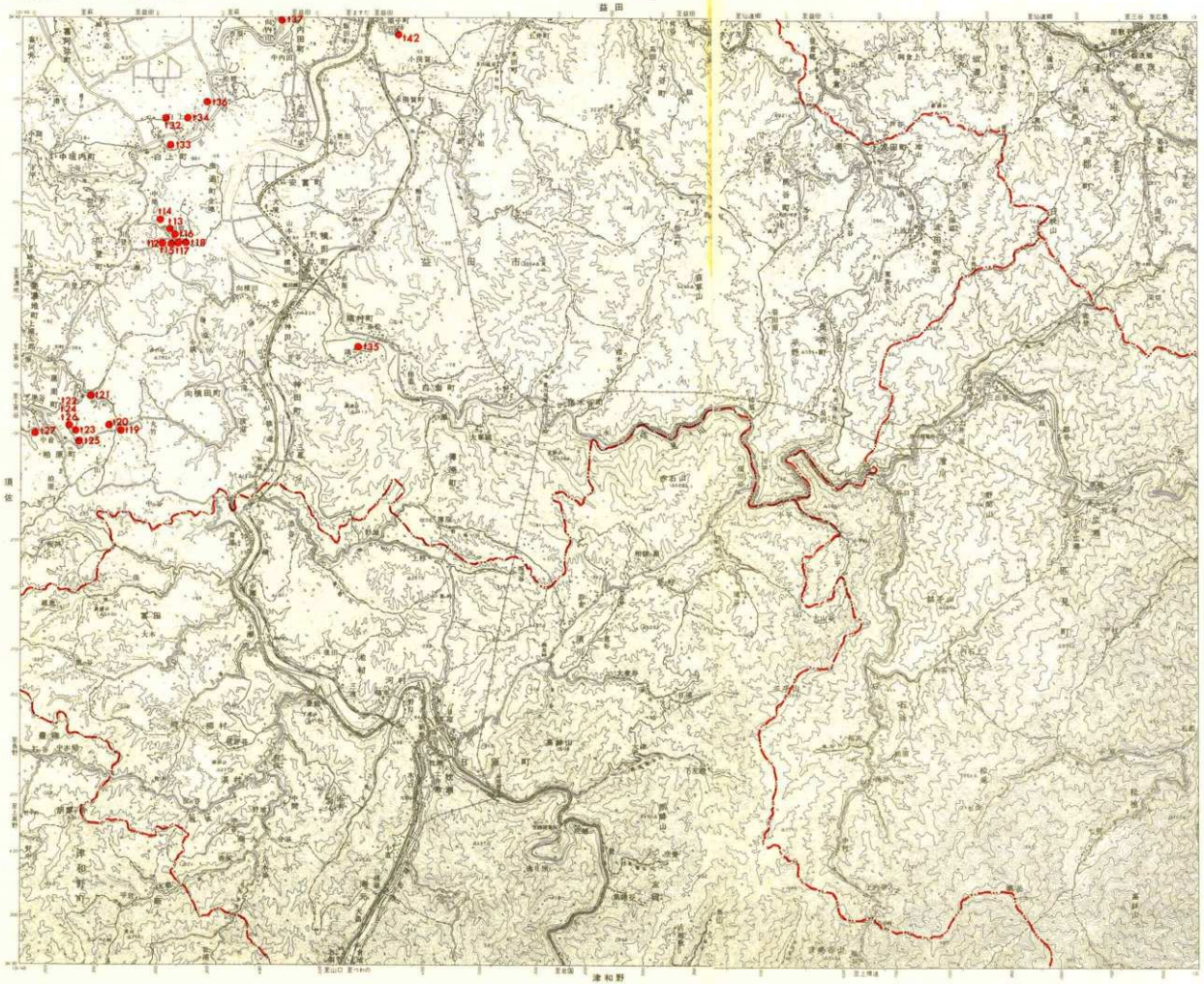
( )内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0 3km

1:50,000 地形図　NI-52-3-I
にちはら　（山口I号）

# 日　原




## 28. 日　原

t．益田市
u．美濃郡美都町
v．美濃郡匹見町
w．鹿足郡日原町
z．鹿足郡津和野町

行政区画

島根県
1．益田市　2．美濃郡　3．鹿足郡

索引図

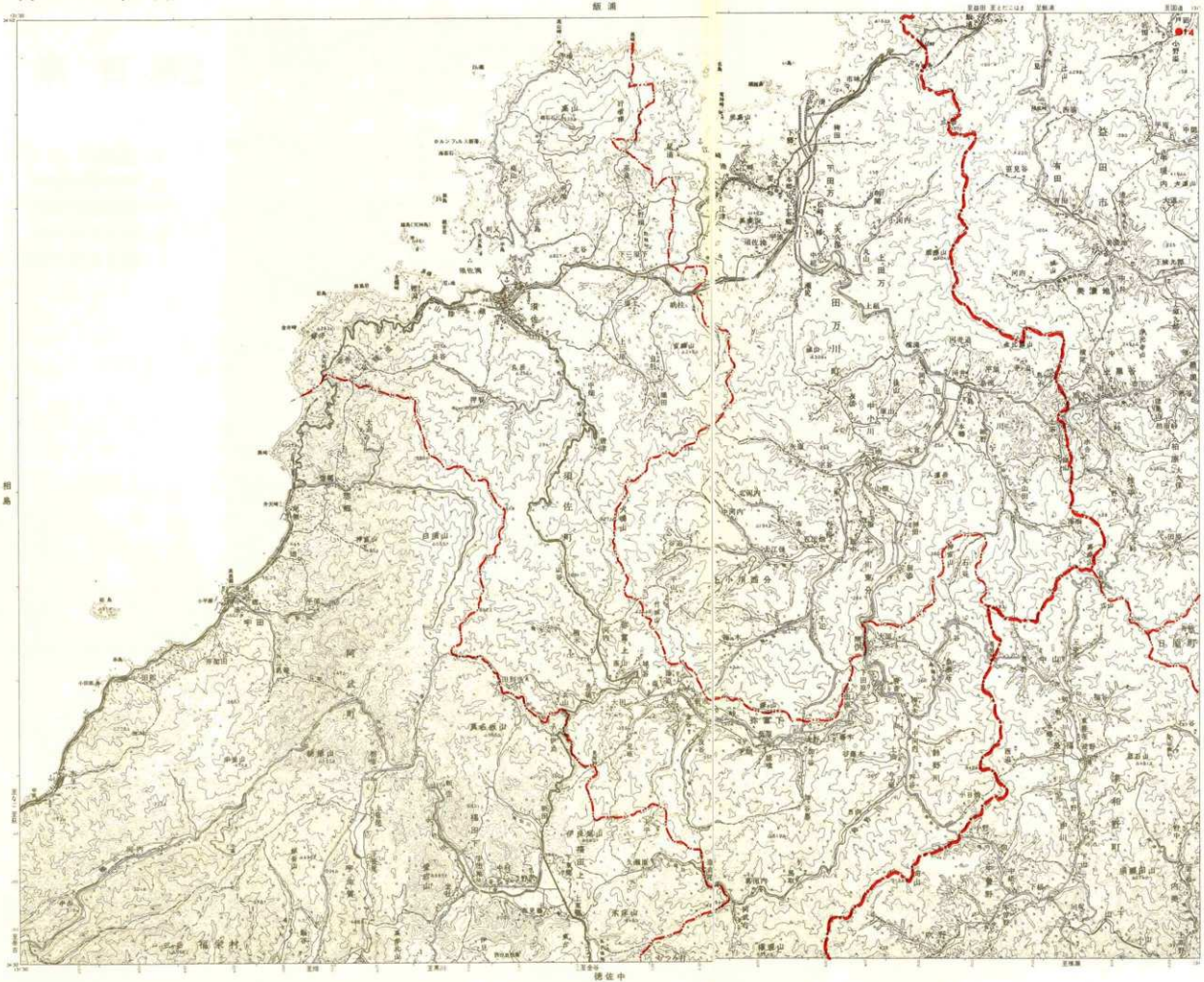
（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000地形図　NI-52-3-5
すさ　　（山口5号）

# 須　佐




## 29. 須　佐

t．益田市
w．鹿足郡日原町
z．鹿足郡津和野町

行政区画

山口県
1．阿武郡
島根県
2．益田市　3．鹿足郡

索引図

（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図 NI-53-33-14
つた (広島14号)

# 津　田

## 30. 津　田

v. 美濃郡匹見町
x. 鹿足郡六日市町

行政区画

島根県
1. 美濃郡　2. 鹿足郡
広島県
3. 佐伯郡　4. 山県郡
山口県
5. 玖珂郡

索引図

| | | |
|---|---|---|
| 日原 | 三段峡 | 加計 |
| 津和野 (山口) | | 広島 (広島) |
| 鹿野 | 大竹 | 厳島 |

( )内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

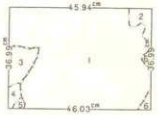
1:50,000 地形図 NI-52-3-2
つわの (山口2号)

# 津和野

## 31. 津和野

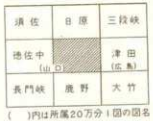
v. 美濃郡匹見町
w. 鹿足郡日原町
x. 鹿足郡六日市町
y. 鹿足郡柿木村
z. 鹿足郡津和野町

行政区画




島根県
1.鹿足郡 2.美濃郡
山口県
3.阿武郡 4.佐波郡 5.都濃郡
6.玖珂郡

索引図




( )内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0 3km

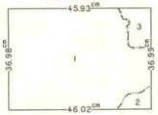
1:50,000 地形図 NI-52-3-6
とくさなか (山口6号)

# 徳佐中

## 32. 徳佐中

z. 鹿足郡津和野町

行政区画




山口県
1.阿武郡　2.佐波郡
島根県
3.鹿足郡

索引図

| | | |
|---|---|---|
| 相島 | 須佐 | 日原 |
| 萩 | (山口図) | 津和野 |
| 山口 | 長門峡 | 鹿野 |

( )内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0 3km

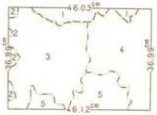
1:50,000 地形図 NI-52-3-3
かの (山口3号)

# 鹿　野

## 33. 鹿　野

x. 鹿足郡六日市町
y. 鹿足郡柿木村

行政区画



島根県
1. 鹿足郡
山口県
2. 伝波郡　3. 都濃郡　4. 玖珂郡
5. 徳山市

索引図

| | | |
|---|---|---|
| 徳佐中 | 津和野 | 津田 |
| 長門峡 (山口) | | 大竹 (広島) |
| 防府 | 徳山 | 岩国 |

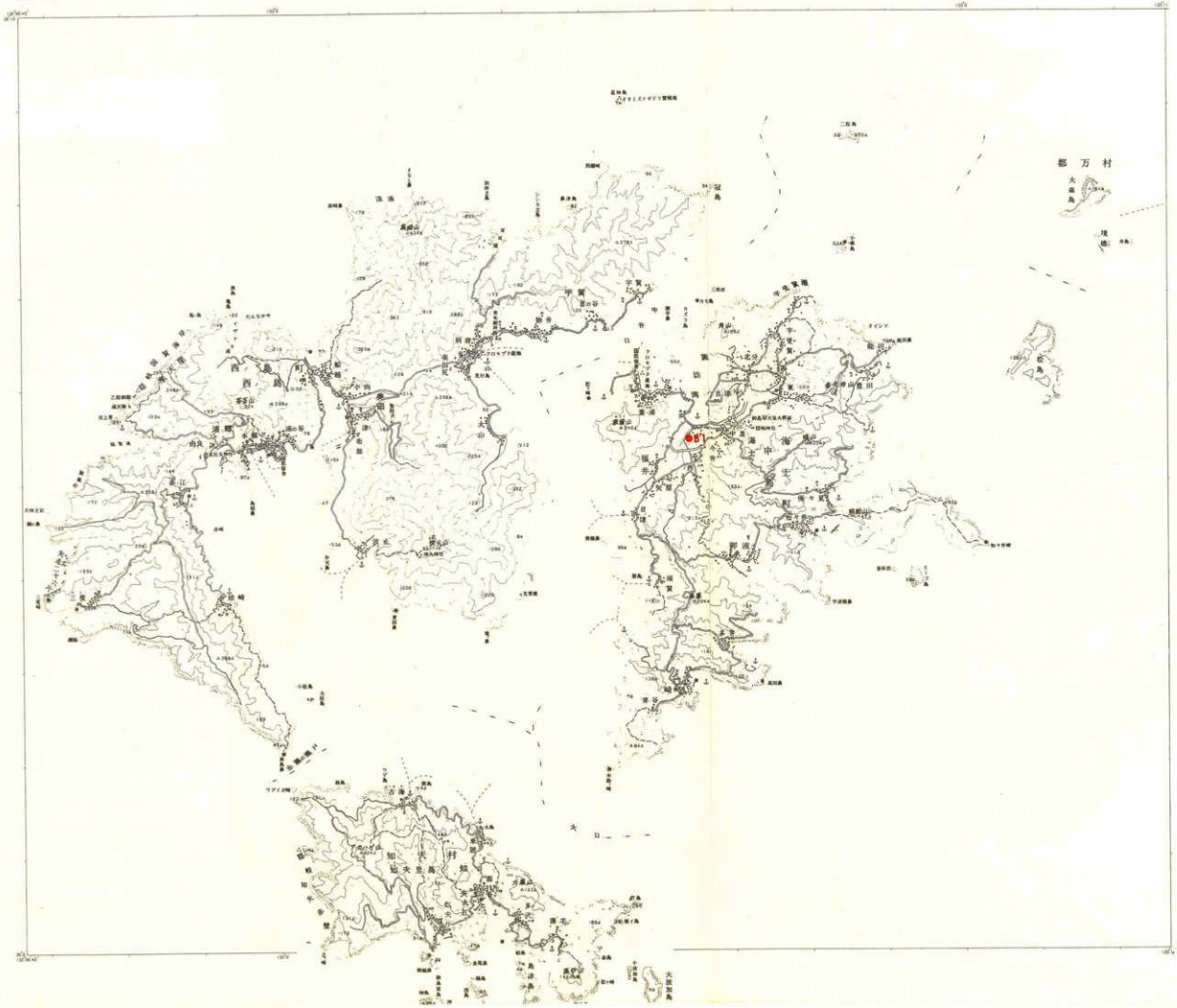
(　)内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

1:50,000 地形図　NJ-53-30-12・16,36-4,NI-53-25-13
うらごう　（西郷12号・16号・16号西,松江13号）

# 浦　郷




## 34. 浦　郷

A′. 隠岐郡西ノ島町
B′. 隠岐郡海士町
C′. 隠岐郡知夫村

行政区画

島根県
隠岐郡

索引図
西郷
（西郷）
（大社）
（松江）
（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

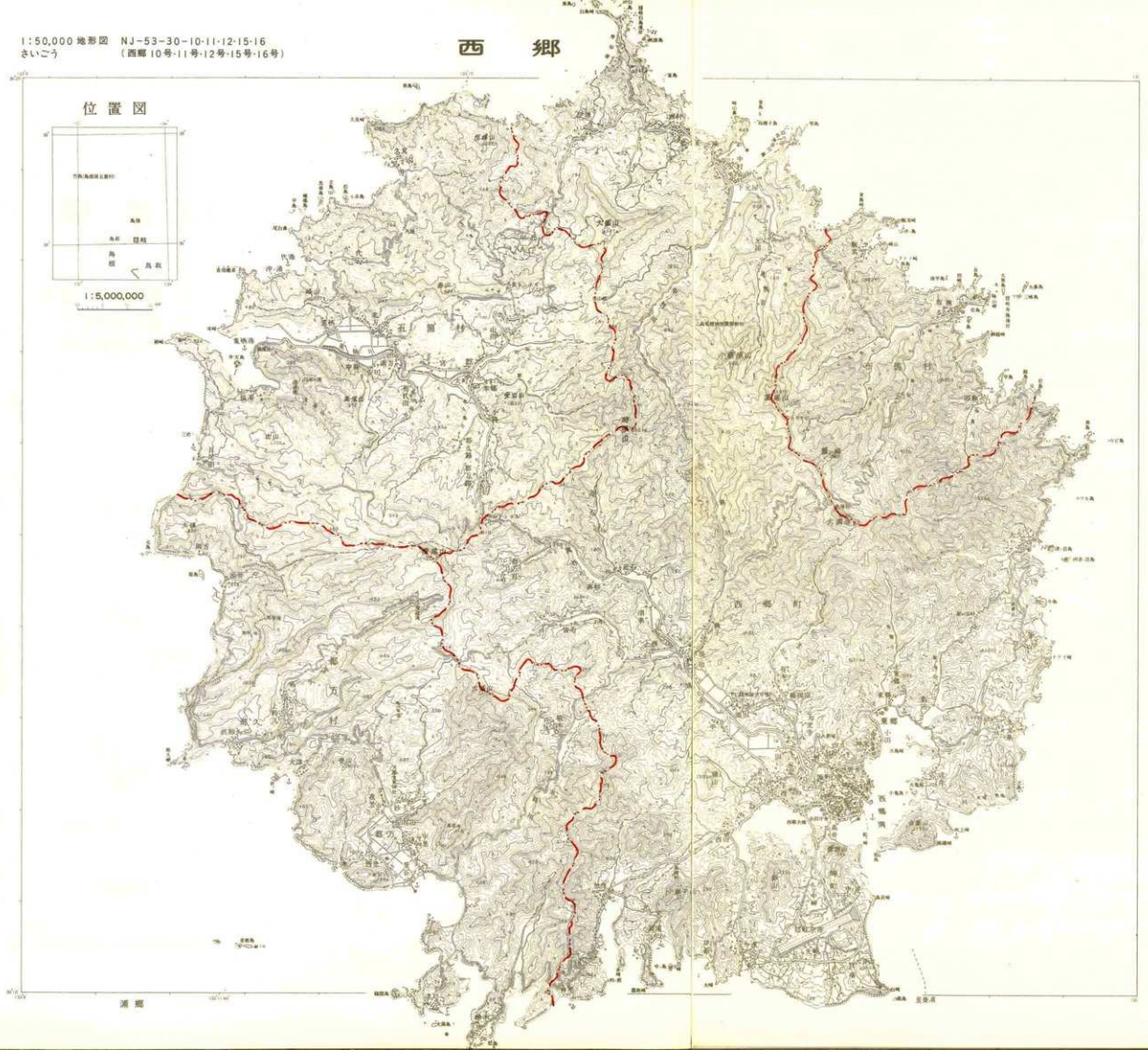
1:50,000 地形図　NJ-53-30-10-11-12-15-16
さいごう　（西郷10号・11号・12号・15号・16号）

# 西　郷

位置図



1:5,000,000

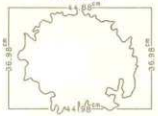


浦郷

## 35. 西　郷

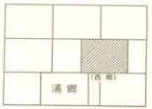
D′. 隠岐郡五箇村
E′. 隠岐郡西郷町
F′. 隠岐郡都万村
G′. 隠岐郡布施村

行政区画



島根県
隠岐郡

索引図




（　）内は所属20万分1図の図名

1:70,000

0　3km

# 島根県窯業関係遺跡所在地一覧表

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| A 安来市 | A 1 | 高畑窯 | 門生町高畑 | 須恵器窯跡、工房跡 | 『安来市誌』昭45、『日本考古学年報』34昭59、本書に概要掲載 | 4 |
| | A 2 | 山根窯 | 門生町山根 | | 本書に概要掲載 | 4 |
| | A 3 | 廻谷窯 | 上吉田町別所 | 須恵器 | | 5 |
| | A 4 | 別所瓦窯（仮称） | 上吉田町別所 | 推定山国郷新造院瓦窯跡 | 近藤正著『山陰古代文化の研究』昭53 | 5 |
| | A 5 | 半畑瓦窯（仮称） | 野方町半畑 | 通称教昊寺1号瓦窯跡 | 近藤正著『山陰古代文化の研究』昭53 | 4 |
| | A 6 | 鍵尾瓦窯（仮称） | 折坂町鍵尾 | 通称教昊寺2号瓦窯跡 | 近藤正著『山陰古代文化の研究』昭53 | 4 |
| | A 7 | 田頼焼窯 | 田頼町露抜 | | 椙野『雑談の枝折』 | 5 |
| | A 8 | 岩舟焼窯 | 岩舟町 | | 椙野『雑談の枝折』 | 5 |
| | A 9 | 岩舟瓦窯 | 岩舟町 | | | 5 |
| | A 10 | 青山瓦窯（仮称） | 吉佐町 | | | 4 |
| | A 11 | 佐伯瓦窯（仮称） | 島田町 | | | 4 |
| | A 12 | 内田瓦窯（仮称） | 細井町 | | | 4 |
| | A 13 | 永田瓦窯（仮称） | 細井町 | | | 4 |
| D 八束郡東出雲町 | D 1 | 古屋窯 | 高岳 | 須恵器 | | 5 |
| | D 2 | 後谷窯 | 出雲郷 | 須恵器 | | 5 |
| | D 3 | 意東焼窯 | 下意東 | | 伊藤『出雲意東焼』 | 5 |
| | D 4 | 金成山焼窯 | 下意東 | | 伊藤『出雲意東焼』 | 5 |
| | D 5 | 鳩峯焼窯 | 下意東 | | 伊藤『出雲意東焼』 | 5 |
| | D 6 | 永島窯 | 下意東 | 意東ほうらく | 伊藤『出雲意東焼』 | 5 |
| | D 7 | 永島（長通し）窯 | 下意東字長通し | 意東ほうらく | 伊藤『出雲意東焼』 | 5 |
| | D 8 | 石橋窯 | 下意東字東 | 意東ほうらく | | 5 |
| E 八束郡八雲村 | E 1 | 大石窯 | 大石 | 須恵器 | | 5 |
| | E 2 | 古城窯 | 元田 | 須恵器 | | 5 |
| F 八束郡玉湯町 | F 1 | 報恩寺焼窯 | 布志名 | | | 5 |
| | F 2 | 大山窯 | 布志名 | | | 5 |
| | F 3 | 足立窯 | 布志名 | | | 5 |
| | F 4 | 永保山窯 | 布志名 | | 桑原『出雲陶窯』 | 5 |
| | F 5 | 鍛冶山窯 | 布志名 | | 伊藤『山陰の陶窯』 | 5 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| F 八束郡 玉湯町 | F 6 | 瀧舟木窯 | 布志名 | | | 5 |
| | F 7 | 空福鳥窯 | 布志名 | | | 5 |
| | F 8 | 後福島窯 | 布志名 | | | 5 |
| | F 9 | 舟木藤平窯 | 布志名 | | | 5 |
| | F 10 | 永原窯 | 布志名 | | 原宏「島根のやきもの」 | 5 |
| | F 11 | 利平窯 | 布志名 | | | 5 |
| | F 12 | 沢窯 | 布志名 | | | 5 |
| G 八束郡 宍道町 | G 1 | 小松古窯跡群 | 大字西来待字小松 | 須恵器窯3基、8世紀後半～9世紀初頭、昭和57年に一部調査し現状保存 | 宍道町教育委員会『小松古窯跡群範囲確認調査報告書』昭58 本書に概要を掲載 | 6 |
| J 松江市 | J 1 | 唐干窯 | 大海崎町 | 須恵器 | 本書に概要を掲載 | 5 |
| | J 2 | 山津窯 | 大井町 | 須恵器 | 本書に概要を掲載 | 5 |
| | J 3 | ジャバン窯 | 大井町 | 須恵器 | | 5 |
| | J 4 | 井ノ奥窯 | 大井町 | 須恵器 | | 5 |
| | J 5 | 寺尾窯 | 大井町 | 須恵器 | 本書に概要を掲載 | 5 |
| | J 6 | 廻谷窯 | 大井町 | 須恵器 | 本書に概要を掲載 | 5 |
| | J 7 | 赤坂窯（仮称） | 大井町 | 須恵器 | | 5 |
| | J 8 | ババタケ窯 | 大井町 | 須恵器 | 本書に概要を掲載 | 5 |
| | J 9 | 岩汐窯 | 大井町 | 須恵器 | 本書に概要を掲載 | 5 |
| | J 10 | 蛇貫谷窯 | 大井町 | 須恵器 | 本書に概要を掲載 | 5 |
| | J 11 | 勝田谷窯 | 大井町 | 須恵器 | 本書に概要を掲載 | 5 |
| | J 12 | 馬沢窯 | 大井町 | 須恵器 | | |
| | J 13 | 明曽窯 | 大井町 | 須恵器 | 本書に概要を掲載 | 5 |
| | J 14 | 平林窯 | 上字部尾町 | 須恵器、瓦 | | 5 |
| | J 15 | 下り松窯 | 法吉町 | 須恵器 | | 5 |
| | J 16 | 湯峠窯 | 西忌部町湯峠 | 須恵器 | | 5 |
| | J 17 | 出雲国分寺瓦窯 | 竹矢町 | 軒丸瓦、軒平瓦、須恵器 | 岡崎雄二郎「出雲国分寺瓦窯跡について」『八雲立つ風土記の丘』No.35 昭54 本書に概要を掲載 | 5 |
| | J 18 | 平所埴輪窯 | 矢田町平所 | 鹿、馬、猪、家、人物、円筒 | 島根県教育委員会『重要文化財平所埴輪窯跡 | 5 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| J 松江市 | | | | | 出土品復元修理報告書』昭56、本書に概要を掲載 | |
| | J 19 | 坊床瓦窯 | 坂本町別所 | 坊床廃寺瓦窯 | 島根大学考古学研究会『曽田考古』第15号 昭54 | 2 |
| | J 20 | 常楽寺瓦窯 | 西長江町 | 出雲国分寺跡・四王寺跡瓦 | 本書に概要を掲載 | 6 |
| | J 21 | 平の前瓦窯 | 東生馬町 | 平の前廃寺瓦窯 | | 5 |
| | J 22 | 客さん窯 | 新庄町 | 須恵器窯跡か | 島根県教育委員会『島根県埋蔵文化財調査報告書』Ⅷ昭 | 2・5 |
| | J 23 | 松江焼窯 | 雑賀町 | | | 5 |
| | J 24 | 天山焼窯 | 雑賀町 | | | 5 |
| | J 25 | 宝永山焼窯 | 西尾町志立 | | 桑原『出雲陶窯』 | 5 |
| | J 26 | 国屋窯 | 国屋町 | | 渭藤『権兵衛・国屋窯』 | 5 |
| | J 27 | 宇賀焼窯 | 上乃木町 | | 桑原『出雲陶窯』 | |
| | J 28 | 幸神焼窯 | 栄町 | | | 5 |
| | J 29 | 上国屋窯 | 国屋町上国屋 | | | 5 |
| K 能義郡 | K 1 | 安田窯 | 安田字長田 | | 『安田誌』 | 4 |
| 伯太町 | K 2 | 豊岡窯 | 母里字豊岡 | 上田窯のとなり（中天馬というものもあり、下天馬というものもある） | 桑原『出雲陶窯』 | 4 |
| | K 3 | 天馬窯 | 母里 | 上天馬（焼）のことなり | 桑原『出雲陶窯』 | 4 |
| | K 4 | 豊岡瓦窯 | 東母里 | | | 4 |
| | K 5 | 神楽崎窯 | 母里 | 消滅 | 桑原『出雲陶窯』 | 4 |
| | K 6 | 印月窯 | 西母里 | | 桑原『出雲陶窯』 | 4 |
| | K 7 | 長岡窯 | 母里 | | | 4 |
| | K 8 | 光現寺窯 | 母里 | | 桑原『出雲陶窯』 | 4 |
| | K 9 | 横手瓦窯 | | | | 4 |
| | K 10 | 母里瓦窯（仮称） | 母里 | 消滅 | | 4 |
| L 能義郡 | L 1 | 塩谷焼窯 | 富田字塩谷 | | 『広瀬町史』上 | 5 |
| 広瀬町 | L 2 | 上広瀬焼窯 | 広瀬字上広瀬 | | | 5 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| L 能義郡 広瀬町 | L 3 | 才の神焼窯 | 菅原字柿根 | | 『広瀬町史』上 | 5 |
| | L 4 | 越峠焼窯 | 菅原字柿根 | 消滅 | 『広瀬町史』上 | 5 |
| | L 5 | 布部焼窯 | 布部 | | | 9 |
| | L 6 | 仏心焼窯 | 石原 | | 桑原『出雲陶窯』 | 5 |
| M 平田市 | M 1 | 深谷窯 | 本庄町 | 須恵器 | | 6 |
| | M 2 | 西郷瓦窯（仮称） | 西郷町 | いぶし瓦 | | 6 |
| | M 3 | 原（哉）瓦窯 | 桃山町 | いぶし瓦 | | 6 |
| | M 4 | 原（哲）瓦窯 | 桃山町 | いぶし瓦 | | 6 |
| N 出雲市 | N 1 | 半分（板倉）瓦窯 | 塩冶町半分 | | | 6 |
| | N 2 | 樋野祐平窯 | 今市町鷹ノ澤 | 大念寺裏山、明治千年創業 | 西尾良一「今市・大念寺古墳について（上）」『ふぃ～るど・の～と』№6 昭59 | 6 |
| O 簸川郡 斐川町 | O 1 | 寿山窯 | 斐川町（荘原）神庭 | （神庭焼）昭和5年廃窯 | 『斐川町史』昭47 | 6 |
| | O 2 | 岡瓦窯 | 斐川町神庭字西谷大垣 | 明治5年共同窯（陶器）～明治10年個人営（赤瓦）－大正15年廃 | | 6 |
| | O 3 | 岡田瓦窯（石川家） | 斐川町神庭 | 瓦家（石川家）－桶屋（岡田只市）岡田某 第2次大戦中まで | | 6 |
| P 簸川郡 大社町 | P 1 | 稲佐焼窯 | 大社町杵築北字稲佐 | | 桑原『出雲陶窯』 | 7 |
| | P 2 | 越峠焼窯 | 大社町杵築東字西ツ角 | | 桑原『出雲陶窯』 | 7 |
| | P 3 | 乙見焼窯 | 大社町修理免字乙見 | | 桑原『出雲陶窯』 | 7 |
| Q 簸川郡 湖陵町 | Q 1 | 瓦窯 | 所在地不明 | | | |
| R 簸川郡 多伎町 | R 1 | 久村焼窯 | 多伎町久村 | 県指定 | 伊藤『山陰の陶窯』 | 11 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| S 雲川郡 佐田町 | S 1 | 壬津瓦窯 | 佐田町壬津字中東 | 明治40年創業（國山勝之助） | 『佐田町史』 | 11 |
| | S 2 | 大人瓦窯 | | 園山宮兵衛今岡庄三郎（大正6年）→江津森脇音吉 | 『佐田町史』 | 11 |
| | S 3 | 尾崎瓦窯 | 佐田町原田尾崎坂 | 明治末～大正 | 『佐田町史』 | 11 |
| | S 4 | 吉野瓦窯 | 佐田町吉野 | | 『佐田町史』 | 11 |
| T 大原郡 大東町 | T 1 | 大東焼窯 | 神廻谷入口 | | 『大東町誌』 | 10 |
| | T 2 | 福間瓦窯 | 和田山下 | | 『大東町誌』 | 10 |
| | T 3 | 佐々木瓦窯 | 清田 | | 『大東町誌』 | 10 |
| | T 4 | 松尾瓦窯 | 金成 | | 『大東町誌』 | 10 |
| | T 5 | 南村瓦窯 | 海潮 | | 『大東町誌』 | 9 |
| | T 6 | 農沢瓦窯 | 海潮 | | 『大東町誌』 | 5 |
| U 大原郡 加茂町 | U 1 | 風垣窯 | 三代字高見 | | 『加茂町誌』 | 10 |
| | U 2 | 杉原窯 | 三代 | | 『加茂町誌』 | 10 |
| | U 3 | 御代窯 | 三代 | 2基消滅 | 『加茂町誌』 | 10 |
| | U 4 | 御代赤瓦組合 | 三代 | 3基消滅 | 『加茂町誌』 | 10 |
| | U 5 | 南加茂瓦窯 | 南加茂 | | 『加茂町誌』 | 10 |
| V 大原郡 木次町 | V 1 | 木次焼窯 | 木次町村方 | | 『木次町誌』 | 10 |
| X 仁多郡 横田町 | X 1 | 原口焼窯 | 横田町原口 | | | 13 |
| | X 2 | 鍵免焼窯 | 横田町鍵免 | | | 9 |
| | X 3 | 大内谷窯 | 横田町大字大谷字大内谷 | 須恵器 | 本書に概要を掲載 | 13 |
| | X 4 | 広谷池窯 | 横田町大字中村字馬場 | | | 9 |
| | X 5 | 堅田窯 | 横田町大字大馬木字堅田 | 瓦、什器 | | 13 |
| Y 飯石郡 三刀屋町 | Y 1 | 飯国瓦窯 | 大字里坊 | 後に清泉有限会社鍋山製瓦工場となれり（戦後） | | 10 |
| | Y 2 | 鍋山練瓦工場窯 | 大字殿河内字下津原 | 戦後 | | 10 |
| | Y 3 | 殿河内練瓦工場窯 | 大字殿河内 | 明治末～大正初期 | | 10 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Z 飯石郡吉田村 | Z 1 | 漆仁橋窯 | 吉田村川手字梅谷 | | | 10 |
| c 飯石郡赤来町 | c 1 | 下赤名瓦窯（仮称） | 大字下赤名 | 瓦窯 | | 15 |
| | c 2 | 上赤名瓦窯（仮称） | 大字上赤名 | 瓦窯 | | 19 |
| | c 3 | 高屋瓦窯（仮称） | 大字小田字高屋 | 瓦窯 | | 14 |
| d 大田市 | d 1 | 竜山窯 | 久手 | 昭和10年創、丸物、茶器 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 11 |
| | d 2 | 越屋窯 | 大田町深谷 | 文政年間、丸物、茶器 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 11 |
| | d 3 | 石田窯 | 大田町松代 | 嘉永元年創、丸物、茶器 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 11 |
| | d 4 | 大人窯 | 大田町大人 | 明治4年創、丸物、茶器 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 11 |
| | d 5 | 硯山窯 | 大田町大田 | 大正12年～昭和17年、丸物、茶器 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 11 |
| | d 6 | 金川製陶所 | 大田町大田 | 五十猛から移転、丸物、雑器 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 11 |
| | d 7 | 宮脇窯 | 鳥井 | 明治45～大正10年丸物、茶器 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 12 |
| | d 8 | 剃尾窯の分家窯 | 吉永 | 昭和15年廃業、丸物 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 15 |
| | d 9 | 無名異窯 | 行恒 | 昭和21年肥田死去廃業、丸物、花、茶器 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 12 |
| | d 10 | 行恒窯 | 行恒 | 経営者不明、丸物 | | 12 |
| | d 11 | 福井窯 | 大森 | 福井馬吉、丸物、雑器 | | 16 |
| | d 12 | 宮金原窯 | 大森 | 明治20年創、丸物 | 富金原は、江津市二宮町の人であったという。この窯は大森から仁摩に通ずる道のトンネル | 16 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| d 大田市 | | | | | の上にあった。 | |
| | d 13 | 曽根窯 | 大森 | 富金原窯買取、丸物 | | 16 |
| | d 14 | よしとう窯 | 大森 | 大正年間、瓦 | | 16 |
| | d 15 | 鶴本窯 | 大森 | よしとう窯を買取、丸物 | | 16 |
| | d 16 | 某窯 | 水上 | 経営者不明、瓦窯 | | 16 |
| | d 17 | 上野窯 | 水上 | 大正11年設立、登り窯、小口数15口1基、瓦 | | 16 |
| | d 18 | 島田窯 | 水上 | 瓦 | | 16 |
| | d 19 | 肥出窯 | 水上 | 明治27年創、丸物、ルツボ、雑器 | | 16 |
| | d 20 | 羅漢窯 | 水上 | 丸物、雑器、花器 | | 16 |
| | d 21 | 若山窯 | 水上町福原 | 大正年間、瓦 | | 16 |
| | d 22 | 追窯 | 水上町福原 | 大正年間、瓦 | | 16 |
| | d 23 | 中村窯 | 水上町福原 | 大正年間、瓦 | | 16 |
| | d 24 | 山代窯 | 水上町福原 | 瓦 | | 16 |
| | d 25 | 森田窯 | 祖式町大原 | 瓦 | | 16 |
| | d 26 | 有間窯 | 祖式町大原 | 瓦 | | 16 |
| | d 27 | 鶴降窯 | 川合町鶴降 | 経営者不明、瓦 | | 15 |
| | d 28 | 和田窯 | 川合町野田 | 小物 | | 15 |
| | d 29 | 荊尾窯 | 静間 | 明治初期創、丸物、土管、雑器 | | 12 |
| | d 30 | 耐火煉瓦工場 | 静間 | レンガ | | 12 |
| | d 31 | 金川工場 | 五十猛 | 丸物、土管、素焼物 | 五十猛から大田町へ移転した。 | 12 |
| | d 32 | 森脇窯 | 五十猛 | 五十猛駅の山手にあった。丸物 | | 12 |
| e 邇摩郡仁摩町 | e 1 | 山崎窯 | 馬路 | 幕末頃？ 瓦、黒（鉄砂）瓦 | | 16 |
| | e 2 | 松浦窯 | 馬路 | 丸物 | | 16 |
| | e 3 | 坂本窯 | 宅野 | だるま窯2～3基瓦、昭和35年頃廃？ | | 16 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| f 邇摩郡 | f 1 | 松村窯 | 所在地不明 | 宝永年間創、丸物 | | |
| 温泉津町 | f 2 | 多田窯 | 温泉津字松山 | 宝永年間創、丸物 | | 16 |
| | f 3 | 森山窯 | 温泉津字松山 | 宝永年間創、丸物 | | 16 |
| | f 4 | 吹金原窯 | 温泉津字松山 | 安政年間創、丸物 | | 16 |
| | f 5 | 佐渡屋窯 | 温泉津字松山 | 吹金原窯買取、丸物 | | 16 |
| | f 6 | 豊田窯 | 温泉津字松山 | 佐渡屋窯買取、丸物、豊田茂市 | | 16 |
| | f 7 | 富崎窯 | 温泉津字松山 | 豊田窯買取、瓦 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 8 | 共同模範工場 | 温泉津字松山 | 富崎窯買取、明治39年創、丸物 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 9 | 野村窯 | 温泉津字松山 | 共同模範工場買取明治中頃廃、丸物 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 10 | 井上窯 | 温泉津字松山 | 慶応年間創、丸物 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 11 | 中島窯 | 温泉津字松山 | 井上窯買取、明治6年創、瓦窯、大正10年丸物窯に改修、昭和39年12月末廃 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 12 | 新湯窯 | 温泉津字松山 | 瓦 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 13 | 大津屋窯 | 温泉津字松山 | 瓦 | | 16 |
| | f 14 | 梅田窯 | 温泉津字松山 | 湊窯買取明治中期から昭和25年まで。15間の丸物窯 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 15 | 若山窯 | 温泉津字松山 | 瓦 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 16 | 岡田本家窯 | 温泉津字松山 | 初代岡田庄太氏は江津市敬川の人中島窯買取、瓦、昭和8年丸物窯に改修 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 17 | 笹屋窯 | 温泉津字松山 | 明治20年創、瓦、その後丸物窯に改 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| f 遠賀郡 温泉津町 | | | | 修、昭和53年6月廃、丸物 | | |
| | f 18 | 井上窯 | 温泉津字松山 | 丸物 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 19 | 池内窯 | 温泉津字松山 | 若山窯買取丸物窯に改造、丸物 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 20 | 石田屋窯 | 温泉津字松山 | 丸物 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 21 | 沢窯 | 温泉津字駄毛瀬 | 明治初期頃は瓦、明治末期から丸物に改める。登り窯小口数25口、丸物本家、分家で共同経営 | 石見地方では、最大規模の登り窯であった。昭和27年廃業<br>平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 22 | 金峰山窯 | 温泉津字松山 | 沢氏、天保年間創丸物 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 23 | 多田森山窯 | 温泉津字松山 | 明治16年創、丸物 | 多田氏と森山氏との共同経営窯 | 16 |
| | f 24 | 浅井窯 | 温泉津字松山 | 大正初期から昭和43年廃業まで丸物窯 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 25 | ひょうたんごう屋窯 | 温泉津字松山 | 幕末？瓦 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 26 | 湊窯 | 温泉津字松山 | ひょうたんごう屋窯買取瓦 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 27 | 山本窯 | 温泉津字松山 | 梅田窯買取、瓦 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 28 | 丸窯 | 温泉津字松山 | 戦後開窯昭和30年廃、瓦 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 29 | 岡田分家窯 | 温泉津字松山 | 明治37年瓦窯として発足、昭和8年丸物窯に改修、昭和39年7月廃業丸物、瓦 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 30 | 横手窯 | 温泉津字松山 | 中島窯買取 | 平田正典著『石見粗陶 | 16 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| f 遠敷郡 | | | | 昭和40年廃、丸物、瓦 | 器史考』昭54 | |
| 温泉津町 | f 31 | 武田窯 | 温泉津字松山 | 丸物 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 32 | 森脇窯 | 温泉津字松山 | 丸物 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 33 | 豊田窯 | 温泉津字駄毛瀬（だもせ） | 明治初期頃は瓦窯大正頃から丸物窯に改める。豊田好太 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 34 | 豊田窯 | 温泉津字駄毛瀬 | 豊田熊太郎 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 35 | 久保田窯 | 井田 | 瓦 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 36 | 富田窯 | 井田 | 丸物 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 37 | 梅田窯 | 湯里 | 県道三軒茶屋附近明治初期頃の丸物窯 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 38 | 福光窯 | 福光 | 温泉津と福光間の9号線トンネルの上、丸物窯 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 39 | 塩屋窯 | 所在地不明 | たこうしょう？幕末？ 瓦 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| | f 40 | 小浜窯 | 小浜 | 瓦 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 16 |
| g 邑智郡 | g 1 | 谷口窯 | 吾郷 | 瓦 | | 15 |
| 邑智町 | g 2 | 上川戸瓦窯 | 上川戸上乙原 | 瓦 | | 15 |
| | g 3 | 千人塚瓦窯 | 湯抱温泉口 | 瓦 | | 15 |
| | g 4 | 小貝谷瓦窯 | 小松地小貝谷 | 瓦 | | 15 |
| | g 5 | みぞう迫瓦窯 | 小松市西小松地 | 瓦 | | 15 |
| h 邑智郡 | h 1 | 上野窯 | 上野 | 経営者不明、丸物 | | 19 |
| 大和村 | h 2 | 田之原窯 | 都賀田之原 | 瓦、鉢等も製造 | | 19 |
| | h 3 | 比敷瓦窯 | 比敷 | 瓦 | | 19 |

| | 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| i | 邑智郡 | i 1 | シンブチ瓦窯 | 阿須那田本 | 瓦 | | 19 |
| | 羽須美村 | i 2 | 長田瓦窯 | 口羽長田 | 瓦 | | 19 |
| j | 邑智郡 | j 1 | 鶴本窯 | 田窪 | 瓦 消滅 | | 20 |
| | 川本町 | j 2 | 馬野原窯 | 馬野原 | 経営者不明、瓦 | | 16 |
| | | j 3 | 四辻窯 | 四辻 | 〃 瓦 | | 16 |
| | | j 4 | 笹畑1号瓦窯 | 笹畑 | 〃 瓦<br>11室あり | | 20 |
| | | j 5 | 笹畑2号瓦窯 | 笹畑 | 経営者不明、瓦<br>消滅 | | 20 |
| | | j 6 | 馬野原瓦窯 | 馬野原 | 瓦 消滅 | | 16 |
| | | j 7 | 笹畑窯 | 笹畑 | 瓦 消滅 | | 20 |
| k | 邑智郡 | k 1 | 才の神瓦窯 | 出羽 淀田 | 丸物、ツボ、土管 | | 19 |
| | 瑞穂町 | k 2 | 秋広瓦窯 | 淀原 | 瓦、丸物、土管、<br>人形 | | 19 |
| | | k 3 | 大西瓦窯 | 出羽 三日市 | 瓦 | | 19 |
| | | k 4 | 大畑瓦窯 | 出羽 三日市 | 瓦 | | 19 |
| | | k 5 | 田窪瓦窯 | 高見入野重石 | 瓦、無縫塔等 | | 19 |
| | | k 6 | 下二谷瓦窯 | 高見入野重石 | 瓦 | | 19 |
| | | k 7 | 上伏谷瓦窯 | 高見上伏谷 | 瓦 | | 19 |
| | | k 8 | 流山瓦窯 | 原村 流田 | 瓦、7段あり | | 19 |
| | | k 9 | 大番原瓦窯 | 原村 上和田 | 瓦 | | 19 |
| | | k 10 | 法願寺原窯 | 岩原 法願寺原 | 須恵器 | | 19 |
| | | k 11 | 後鉄穴窯 | 淀原 大淀奥 | 須恵器 | | 19 |
| | | k 12 | 江迫窯 | 淀原 江迫 | 須恵器 | | 19 |
| | | k 13 | 板屋裏瓦窯 | 淀原 若林 | 瓦 | | 19 |
| | | k 14 | 前曽根瓦窯 | 淀原 | 瓦 | | 19 |
| | | k 15 | 高見屋前瓦窯 | 淀原 | 瓦 | | 19 |
| | | k 16 | 旅行村グランド窯 | 出羽 山田 | 須恵器 | | 19 |
| | | k 17 | 宇山窯 | 原村 宇山 | 須恵器 | | 19 |
| | | k 18 | 石井迫窯 | 出羽 淀田石井迫 | 須恵器 | | 19 |
| | | k 19 | 清水ケ尻窯 | 鱒渕上 清水ケ尻 | 須恵器 | | 19 |
| | | k 20 | 馬場ケ谷窯 | 鱒渕上 馬場ケ谷 | 須恵器 | | 19 |
| | | k 21 | カニケ迫窯 | 鱒渕上 カニケ迫 | 須恵器 | | 19 |
| | | k 22 | 上管窯 | 鱒渕上 上管 | 須恵器 | | 19 |
| | | k 23 | 定八窯 | 鱒渕上 出羽峠 | 須恵器 | | 19 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| k 邑智郡 | k 24 | 桜ケ谷窯 | 鱒渕上 三沢谷 | 須恵器 | | 19 |
| 瑞穂町 | k 25 | 道ケ谷B窯 | 鱒渕上 馬の原上 道ケ谷 | 須恵器 | | 19 |
| | k 26 | 道ケ谷A窯 | 鱒渕上 馬の原上 道ケ谷 | 須恵器、谷にせきあり | | 19 |
| | k 27 | コオギヤスミ窯 | 鱒渕上 馬の原上 道ケ谷 | 須恵器 | | 19 |
| | k 28 | 矢ケ谷窯 | 鱒渕上 馬の原下 矢ケ谷 | 須恵器、谷にせきあり | | 19 |
| | k 29 | 緩木越窯 | 鱒渕上 馬の原上 荷メ峠 | 須恵器 | | 19 |
| | k 30 | 順庵原瓦窯 | 鱒渕上 上亀谷 順庵原 | 消滅 | | 19 |
| | k 31 | 上鱒渕瓦窯 | 鱒渕 鱒渕上 | 瓦 | | 19 |
| | k 32 | 大出屋裏瓦窯 | 鱒渕 鱒渕上 | 瓦、ほぼ消滅 | | 19 |
| | k 33 | 朝日瓦窯 | 鱒渕 鱒渕下 | 瓦、ほぼ消滅 | | 19 |
| | k 34 | 久喜鉱山練瓦窯 | 岩屋 | 久喜鉱山用練瓦、消滅 | | 22 |
| m 邑智郡 | m 1 | 山和窯 | 日和 | 経営者不明、瓦 | | 20 |
| 石見町 | m 2 | 中日和瓦窯 | 日和中日和 | 瓦、消滅 | | 20 |
| | m 3 | 有安瓦窯 | 日貫有安 | 瓦 | | 20 |
| | m 4 | 浜井場瓦窯 | 日貫浜井場 | 瓦、消滅 | | 20 |
| | m 5 | 安養寺窯 | 中野上茅場 | 須恵器、消滅 | | 20 |
| n 江津市 | n 1 | 矢源田窯 | 波積町本郷 | 昭和30年廃、瓦窯 | | 16 |
| | n 2 | かまやしき窯 | 都治町下都治 | 浅野氏、丸物昭和15、16年頃 | | 16 |
| | n 3 | 佐々木窯 | 都治町松井 | 瓦 | | 16 |
| | n 4 | 古川窯 | 後地町藪 | 大正10年3月1日設立、小口数、14口1基 | | 16 |
| | n 5 | 島田窯 | 後地町藪 | 昭和10年古川窯買取、丸物窯に改修戦後民陶 | | 16 |
| | n 6 | 升野窯 | 後地町藪 | 大正6年創、丸物戦後民陶 | | 16 |
| | n 7 | 田中窯 | 後地町藪 | 大正年間創、瓦 | | 16 |
| | n 8 | 近江窯 | 後地町藪 | 大正年間創、丸物 | | 16 |
| | n 9 | 川下窯 | 後地町藪 | 大正6年4月1日設立、小口数16口 | | 16 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| n 江津市 | | | | 1基、近江窯買取瓦窯に改修、瓦 | | |
| | n 10 | 甲野屋窯 | 後地町畝 | 井上姓、昭和29年5月1日設立、小口数18口1基、瓦窯（昭和50年からガス窯） | | 16 |
| | n 11 | 甲野屋窯 | 後地町畝 | 大正13年丸物窯創業、昭和34年廃業登窯小口18間1基 | | 16 |
| | n 12 | 山中窯 | 後地町畝 | 丸物、昭和45年廃 | | 16 |
| | n 13 | 三福屋窯 | 後地町畝 | 瓦 | | 16 |
| | n 14 | 宮古屋窯 | 後地町畝 | 田中姓、瓦 | | 16 |
| | n 15 | 花田窯 | 松川町大田 | 明治初期創、丸物 | | 16 |
| | n 16 | 西川窯 | 松川町大田 | 花田窯買取、丸物 | | 16 |
| | n 17 | 有田窯 | 松川町大田 | 西川窯買取、丸物 | | 16 |
| | n 18 | 野沢窯 | 松川町大田 | 大正初期有田窯買取、丸物 | | 16 |
| | n 19 | 湊窯 | 松川町大田 | 大正3年野沢窯買取、丸物 | | 16 |
| | n 20 | 佐々木窯 | 松川町大田 | 昭和5年湊窯買取、丸物 | | 16 |
| | n 21 | 井上窯 | 松川町大田 | 昭和7年佐々木窯買取、丸物 | | 16 |
| | n 22 | 本田窯 | 松川町大田 | 井上窯買取、丸物 | | 16 |
| | n 23 | こうの屋窯 | 松川町大田 | 大正年間、井上姓、丸物 | | 16 |
| | n 24 | 大庭窯 | 松川町大田 | 大正年間、丸物 | | 16 |
| | n 25 | 田中窯 | 松川町大田 | 丸物 | | 16 |
| | n 26 | 平岡屋窯 | 浅利町駅前 | 大正7年創、丸物昭和9年頃廃 | | 16 |
| | n 27 | 森口窯 | 浅利町駅前 | 昭和9年平岡屋窯買取、丸物 | | 16 |
| | n 28 | 山代窯 | 浅利町駅前 | 丸物、戦中廃業 | | 16 |
| | n 29 | 吉村窯 | 浅利町駅前 | 浅利窯業組合窯戦後買取、瓦 | | 16 |
| | n 30 | 浅利窯業組合窯 | 浅利町駅前 | 丸物 | | 16 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| n 江津市 | n 31 | 木村窯 | 浅利 | 昭和初期創？ 瓦 | | 16 |
| | n 32 | 岡田窯 | 浅利 | 戦後丸物窯開設<br>昭和30年頃廃業 | | 16 |
| | n 33 | 横路窯 | 浅利 | 岡田窯買取、瓦窯<br>改修、瓦、昭和50<br>年廃 | | 16 |
| | n 34 | 西山窯 | 浅利 | 明治16年創、丸物 | | 16 |
| | n 35 | 敷野窯 | 浅利 | 明治17年創、丸物 | | 16 |
| | n 36 | 横田窯 | 浅利町浅利谷 | 昭和23年大庭窯買<br>取、小口数14口1<br>基<br>丸→瓦→丸→民陶 | | 16 |
| | n 37 | 嘉戸窯（仮称） | 渡津町嘉戸 | 明治40年創、瓦 | | 17 |
| | n 38 | 本川窯 | 渡津町嘉戸 | 長徳寺前窯買取、<br>丸物窯改、丸物 | | 17 |
| | n 39 | 升野窯 | 渡津町嘉戸 | 本川窯買取、戦時<br>中廃、丸物 | | 17 |
| | n 40 | 松田窯 | 渡津町下渡津 | 明治25年創、昭和<br>28年頃廃、丸物、<br>茶器、花器 | | 17 |
| | n 41 | 北野屋窯 | 江津町尾首 | 宝暦13年創、森田<br>元蔵、丸物 | 平田正典著『石見粗陶<br>器史考』昭54 | 17 |
| | n 42 | 浜野窯 | 江津町尾首 | 北野屋窯買取、丸<br>物 | | 17 |
| | n 43 | 森脇窯 | 江津町尾首 | 浜野窯買取、丸物 | | 17 |
| | n 44 | 山吉窯 | 江津町尾首 | 森脇窯買取、昭和<br>戦前廃、丸物 | | 17 |
| | n 45 | 山吉窯 | 江津町下新町 | 明治22年下新町移<br>転、丸物 | | 17 |
| | n 46 | 沖田窯 | 江津町下新町 | 文政４年以前また<br>は明和年間創、瓦 | 平田正典著『石見粗陶<br>器史考』昭54 | 17 |
| | n 47 | 竹下窯 | 江津町泉町 | 明治20年沖田屋窯<br>買取、昭和32年廃、<br>丸物 | 平田正典著『石見粗陶<br>器史考』昭54 | 17 |
| | n 48 | 窯 | 江津町土床 | 大明年間備前陶工<br>某創、丸物 | 平田正典著『石見粗陶<br>器史考』昭54 | 17 |
| | n 49 | 木原屋窯 | 江津町土床 | 天明年間入江某創、 | 平田正典著『石見粗陶 | 17 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| n 江津市 | | | | 丸物 | 器史考』昭54 | |
| | n 50 | 塩屋窯 | 江津町土床 | 文政4年以前、瓦 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 17 |
| | n 51 | 吟左ェ門窯 | 江津町土床 | 文政4年以前、瓦 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 17 |
| | n 52 | 直太郎窯 | 江津町土床 | 文政4年以前、瓦 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 17 |
| | n 53 | 治兵ェ窯 | 江津町土床 | 文政4年以前、瓦 | | 17 |
| | n 54 | 山吉窯 | 江津町七床 | No.40の山吉窯のことかともみられる明治16年創、丸物 | | 17 |
| | n 55 | 泉窯 | 江津町高浜 | 明治18年創、大正5年廃、丸物 | | 17 |
| | n 56 | 塩田窯 | 江津町高浜 | 泉窯（No.51）の登り窯の一棟を使用、明治20年創、大正5年廃、丸物 | | 17 |
| | n 57 | 仁木窯 | 江津町高浜 | 明治19年創、大正初廃、丸物 | | 17 |
| | n 58 | 田窯窯 | 江津町高浜 | 大正初、仁木窯買取、丸物、昭和18年廃 | | 17 |
| | n 59 | 樋村窯 | 江津町下新町 | 山吉窯買取、丸物 | | 17 |
| | n 60 | 豊田窯 | 江津町土床 | 樋村窯買取、丸物 | | 17 |
| | n 61 | 豊田窯 | 江津町土床 | 明治23年創、丸物戦後民陶 | | 17 |
| | n 62 | 江津購買販売組合窯 | 江津町下新町 | 大正初期創、丸物 | | 17 |
| | n 63 | 森脇窯 | 江津町泉町 | 丸物 | | 17 |
| | n 64 | 大谷窯 | 嘉久志町 | 大正年間、豊田窯買取、丸物 | | 17 |
| | n 65 | かめや窯 | 江津町七床 | 丸物 | | 17 |
| | n 66 | 有田窯 | 江津町下新町 | 山吉窯買取、昭和18年廃、丸物 | | 17 |
| | n 67 | 高橋窯 | 江津町尾首 | 丸物 | | 17 |
| | n 68 | 片山窯 | 江津町泉町 | 米屋窯買取、丸物 | | 17 |
| | n 69 | 田中氏宅横窯跡 | 嘉久志町新谷 | 須恵器？ | | 21 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| n 江津市 | n 70 | 山形窯 | 嘉久志 | 弘化年間創、丸物 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 17 |
| | n 71 | 嘉久志1号窯（仮称） | 嘉久志 | 丸物 | | 17 |
| | n 72 | 嘉久志2号窯（仮称） | 嘉久志 | 丸物 | | 17 |
| | n 73 | 嘉久志3号窯（仮称） | 嘉久志 | 丸物 | | 17 |
| | n 74 | 立川窯 | 嘉久志町新谷 | 明治25年3月10日設立、小口数17口1基、瓦、やまなや | | 21 |
| | n 75 | 山藤窯 | 嘉久志町根木 | 唐金屋窯跡地、丸物、大正11年廃 | | 17 |
| | n 76 | 高丸窯 | 嘉久志町根木 | 幕末頃、丸物 | | 17 |
| | n 77 | 恵口屋窯 | 嘉久志町根木 | 幕末頃、丸物 かがつ、ほーろく、消しつぼ | | 17 |
| | n 78 | 天野窯 | 嘉久志町根木 | 明治23年創、大正年間廃、瓦 | | 17 |
| | n 79 | 山本屋窯 | 嘉久志町根木 | 幕末頃、瓦 | | 17 |
| | n 80 | 平下窯 | 嘉久志町根木 | なにわ産業窯買取、瓦、丸物 | | 17 |
| | n 81 | 島田窯 | 嘉久志町新谷 | 享保年間創、瓦 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 21 |
| | n 82 | なにわ産業 | 嘉久志町根木 | 昭和初期創、丸物 | | 17 |
| | n 83 | 小川窯 | 嘉久志町根木 | 丸物 | | 17 |
| | n 84 | 野海、野沢共同窯 | 嘉久志町根木 | 明治41年創、明治40年廃、丸物 | | 17 |
| | n 85 | 今田屋窯 | 嘉久志町根木 | 田中姓、明治44年創、丸物 | | 17 |
| | n 86 | みずわたり窯 | 嘉久志 | 黒亀姓、瓦、丸物 | | 17 |
| | n 87 | やまさや窯 | 嘉久志町根木 | 田中姓、瓦 | | 17 |
| | n 88 | 山根窯 | 嘉久志町根木 | やまさや窯買取、丸物 | | 17 |
| | n 89 | 石見窯業KK窯 | 嘉久志町根木 | 大正8年創、丸物 | | 17 |
| | n 90 | 佐々木窯 | 嘉久志町根木 | 田中窯跡地、瓦 | | 17 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| n 江津市 | n 91 | 元重窯 | 嘉久志町根木 | 野海窯買取、丸物 | | 17 |
| | n 92 | 田室窯 | 嘉久志町根木 | 昭和元年創、昭和18年廃、丸物 | | 17 |
| | n 93 | 山形窯 | 嘉久志町根木 | 明治5年創、丸物 | | 17 |
| | n 94 | 森脇窯 | 嘉久志町根木 | 屋号は川下、山形窯買取、明治30年創、丸物、瓦 | | 17 |
| | n 95 | 高根窯 | 嘉久志町根木 | 明治17年山形窯買取、丸物、昭和18年廃 | | 17 |
| | n 96 | 大谷窯 | 嘉久志町根木 | 高根窯買取、丸物 | | 17 |
| | n 97 | よしが池窯 | 嘉久志町根木 | 明治13年創、丸物 | | 17 |
| | n 98 | 谷口窯 | 嘉久志町根木 | 天野窯買取、明治14年創、丸物 | | 17 |
| | n 99 | 高根窯 | 嘉久志町根木 | 谷口窯買取、丸物 | | 17 |
| | n 100 | 山口窯 | 嘉久志町根木 | 高根窯買取、丸物 | | 17 |
| | n 101 | 丸田窯 | 嘉久志町根木 | 山口窯買取、丸物 | | 17 |
| | n 102 | 下どなり窯 | 嘉久志町根木 | 井廻姓？ 瓦 | | 17 |
| | n 103 | 室屋窯 | 嘉久志町根木 | 田中姓、瓦 | | 17 |
| | n 104 | かしもと屋窯 | 嘉久志町根木 | 田中姓、瓦 | | 17 |
| | n 105 | 今川屋窯 | 嘉久志町根木 | 田中姓、瓦 | | 17 |
| | n 106 | たぎ屋窯 | 嘉久志町 | 田中姓、瓦 | | 17 |
| | n 107 | 坂根窯 | 嘉久志町 | 明治37年1月10日設立、小口数16口1基盆子原姓、瓦 | | 17 |
| | n 108 | まきた屋窯 | 嘉久志町 | 小中姓、瓦 | | 17 |
| | n 109 | 竹下窯 | 嘉久志町 | 竹下徳太郎、丸物 | | 17 |
| | n 110 | 石見実業窯 | 嘉久志町 | 丸物 | | 17 |
| | n 111 | 山村窯 | 嘉久志町 | 立川瓦窯買取、丸物 | | 17 |
| | n 112 | 和木窯 | 和木町丸子山 | 小川姓、弘化年間創？ 丸物 | | 21 |
| | n 113 | 尾川窯 | 和木町丸子山 | 安政5年尾川某和木窯、丸物、小物 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 21 |
| | n 114 | さどや窯 | 和木町丸子山 | 盆子原姓、大正年間創、戦後廃、丸 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 21 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| n 江津市 | | | | 物、瓦 | | |
| | n 115 | 立川窯 | 和木 | 大正初期嘉久志に移転、瓦 | | 21 |
| | n 116 | 大鳥窯 | 和木 | 大正10年創、丸物 | | 21 |
| | n 117 | くらたや窯 | 和木町丸子山 | 和田氏、瓦 | | 21 |
| | n 118 | 村上窯 | 和木 | 明治5年創、瓦 | | 21 |
| | n 119 | 押込窯 | 都野津町山ノ内棚橋押込 | 須恵器窯？2ケ所 | | 21 |
| | n 120 | 森野屋窯 | 都野津町山ノ内棚橋押込 | 明治初期創、明治12年廃、瓦 | | 21 |
| | n 121 | 清見屋窯 | 都野津町山ノ内棚橋押込 | 安政年間創？ 瓦 | | 21 |
| | n 122 | 油屋窯 | 都野津町山ノ内棚橋押込 | 幕末創？ 清見屋窯買取、瓦 | | 21 |
| | n 123 | 木村窯 | 都野津町山ノ内棚橋押込 | 油屋窯買取 | | 21 |
| | n 124 | 川下窯 | 都野津町才ノ神 | 明治12年創、大正9年廃、瓦 | | 21 |
| | n 125 | 坂根窯 | 都野津町山ノ内 | 明治27年創、瓦 | | 21 |
| | n 126 | 坂根窯 | 都野津町大元山 | 明治35年移転創、大正11年廃、瓦 | | 21 |
| | n 127 | 佐々木窯 | 都野津町六反田 | 昭和2年創、瓦 | | 21 |
| | n 128 | 川崎屋窯 | 都野津町鳥井迫 | 明治36年創、瓦 | | 21 |
| | n 129 | 川崎原窯 | 都野津町宮の下 | 明治40年丸物窯に改開窯、丸物 | | 21 |
| | n 130 | 有沢屋窯 | 都野津町行者山 | 明治39年創、瓦 | | 21 |
| | n 131 | 有福屋窯 | 都野津町行者山 | 明治40年創、瓦 | | 21 |
| | n 132 | 有間窯 | 都野津 | 明治41年創、瓦 | | 21 |
| | n 133 | 唐鐘屋窯 | 都野津町清水 | 明治41年創、共同窯、瓦 | | 21 |
| | n 134 | 唐鐘原窯 | 都野津町行者山 | 明治42年唐鐘屋独立、瓦 | | 21 |
| | n 135 | 川下窯 | 都野津町鳥井迫 | 明治39年創、大正年間廃、瓦 | | 21 |
| | n 136 | 新宅窯 | 都野津町行者山 | 明治42年創立の唐鐘屋窯買取、瓦 | | 21 |
| | n 137 | 中西窯 | 都野津町大道 | 明治42年創、昭和19年廃、瓦 | | 21 |
| | n 138 | 浜田殖産KK窯 | 都野津町赤羽根 | 明治40年創、大正年間廃、瓦 | | 21 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| n 江津市 | n 139 | 唐鐘屋窯 | 都野津町六反田 | 昭和2年創、昭和16年廃、瓦 | | 21 |
| | n 140 | 今崎窯 | 都野津町六反田 | 昭和2年創、昭和16年廃、瓦 | | 21 |
| | n 141 | 加藤窯 | 都野津町六反田 | 大正10年創、鉄砂瓦創始、瓦 | | 21 |
| | n 142 | 小川窯 | 都野津町山ノ内 | 大正12年創、大正14年廃、瓦 | | 21 |
| | n 143 | 竹内窯 | 都野津町赤羽根 | 昭和11年創、浜田殖産窯跡地、瓦、昭和16年廃 | | 21 |
| | n 144 | 木村窯 | 都野津町遠見山 | 昭和7年油屋窯の一棟買取、瓦 | | 21 |
| | n 145 | 坂根窯 | 都野津町遠見山 | 昭和7年油屋窯の一棟買取、瓦 | | 21 |
| | n 146 | 中原窯 | 都野津町赤羽根 | 昭和20年竹内窯買取、瓦 | | 21 |
| | n 147 | 崎間窯 | 都野津町赤羽根 | 昭和22年創、丸物？ | | 21 |
| | n 148 | 有間窯 | 都野津町駅前 | 瓦 | | 21 |
| | n 149 | 井上窯 | 都野津町赤羽根 | 昭和23年頃廃、レンガ | | 21 |
| | n 150 | 富金原窯 | 二宮町神主 | 文化年間創、丸物 | | 21 |
| | n 151 | 山藤窯 | 二宮町吉山 | 幕末頃創、丸物、大がめ | | 21 |
| | n 152 | 宮金原小川共同窯 | 都野津町青山 | 明治20年山藤窯買取、瓦 | | 21 |
| | n 153 | 富金原窯 | 二宮町青山 | 明治中頃創、明治40年廃、丸物（大形） | | 21 |
| | n 154 | 山藤窯 | 二宮町吉山 | 昭和3年創、丸物 | | 21 |
| | n 155 | 近重窯 | 都野津 | 丸物 | | 21 |
| | n 156 | 近重窯 | 都野津 | 瓦 | | 21 |
| | n 157 | 橋本屋窯 | 二宮町吉山 | 昭和初期廃、瓦 | | 21 |
| | n 158 | 田中窯 | 二宮町吉山 | 瓦 | | 21 |
| | n 159 | 加藤窯 | 二宮町神主 | 昭和10年廃、瓦 | | 21 |
| | n 160 | 川下窯 | 二宮町神主 | 昭和30年廃、瓦 | | 21 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| n 江津市 | n 161 | 嵩金原窯 | 敬川 | 明治初期創、丸物、大がめ | | 21 |
| | n 162 | 本藤窯 | 敬川 | 明治5年創、丸物、大がめ | | 21 |
| | n 163 | 白石窯 | 波子町一貫洲 | 寛政3年創、丸物 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 21 |
| | n 164 | 岡本窯 | 波子町大平山 | 幕末創、丸物 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 21 |
| | n 165 | 磯野屋窯 | 波子町皿洲 | 文久年間創、丸物 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 21 |
| | n 166 | 吉田窯 | 波子町皿洲 | 磯野屋窯買収、丸物、鉄道のため移転 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 21 |
| | n 167 | 和田窯 | 波子町皿洲 | 吉田窯買収、丸物 | | 21 |
| | n 168 | 和田窯 | 波子町皿洲 | No.167の和田窯買収、丸物 | | 21 |
| | n 169 | 木島屋窯 | 波子 | 明治末創、大正年間廃、丸物 | | 21 |
| | n 170 | 山崎屋窯 | 波子町皿洲 | 丸物 | | 21 |
| | n 171 | 渡津屋窯 | 波子町梅ノ木 | 丸物 | | 21 |
| | n 172 | 黒川窯 | 波子 | 丸物 | | 21 |
| | n 173 | 吉田窯 | 波子町皿洲 | 鉄道移転後創立、丸物 | | 21 |
| | n 174 | はまの屋窯 | 波子町皿洲 | 丸物 | | 21 |
| | n 175 | おきにし屋窯 | 波子町皿洲 | 丸物 | | 21 |
| | n 176 | まつよし屋窯 | 波子町皿洲 | 丸物 | | 21 |
| | n 177 | 千代廷窯 | 波子 | 屋号は大吉屋、幕末か明治初期創、後に浜田長沢に移転、瓦 | | 21 |
| | n 178 | 長浜屋窯 | 波子 | 丸物 | | 21 |
| | n 179 | たじまや窯 | 波子 | 丸物 | | 21 |
| | n 180 | 深野窯 | 波子 | 丸物 | | 21 |
| | n 181 | 高田屋窯 | 波子町高田 | 丸物 | | 21 |
| | n 182 | 東條窯 | 波子町高田 | 丸物 | | 21 |
| | n 183 | 新屋窯 | 波子町高田 | 大正初期廃、丸物 | | 21 |
| | n 184 | 扇元窯 | 波子町高田 | 丸物 | | 21 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| n 江津市 | n 185 | いなばや窯 | 波子町高田 | 扇元窯の隣、丸物 | | 21 |
| | n 186 | よしおき屋窯 | 波子町高田 | 丸物 | | 21 |
| | n 187 | 飯田窯 | 波子町高田 | 丸物 | | 21 |
| | n 188 | 安永、和田窯 | 波子町高田 | 丸物 | | 21 |
| | n 189 | いなもとや窯 | 波子 | 丸物 | | 21 |
| | n 190 | いなざわや窯 | 波子 | 丸物 | | 21 |
| | n 191 | 丸物屋窯 | 波子 | 丸物 | | 21 |
| | n 192 | 小中屋窯 | 波子 | 丸物 | | 21 |
| | n 193 | 大田屋窯 | 波子 | 丸物 | | 21 |
| | n 194 | 花本屋窯 | 波子町皿洲 | 大屋姓、丸物、明治中期頃稼行？ | | 21 |
| | n 195 | 小川窯 | 有福町本明 | ダルマ型燻瓦窯、小川権太、明治初期～明治25年稼行 | | 21 |
| | n 196 | 小川窯 | 跡市町県田 | 小川権太、瓦登り窯、小口数13口1基、明治25年～明治40年稼行 | | 21 |
| | n 197 | 小川窯 | 有福町本明 | 但窯業所明治40年～大正5年稼動、瓦窯、小口数13口1基 | | 21 |
| | n 198 | 大吉屋窯 | 本明町千方 | 千代延姓明治初期頃創業瓦窯 | | 21 |
| | n 199 | 泉窯 | 江津町高浜 | 丸物 | | 17 |
| o 浜田市 | o 1 | いでが迫窯 | 宇野町 | 幕末創、丸物 | | 21 |
| | o 2 | 岡本窯 | 宇野町 | いでが迫窯買取、丸物 | | 21 |
| | o 3 | 宇野窯 | 宇野町 | 岡本窯買取、丸物 | | 21 |
| | o 4 | 小林窯 | 宇野町 | 明治25年宇野窯買取、丸物、戦後民陶転換 | | 21 |
| | o 5 | 益田屋窯 | 宇野町 | 丸物 | | 21 |
| | o 6 | たよしや窯 | 宇野町 | 益田屋窯買取、丸物 | | 21 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| o 浜田市 | o 7 | 和田窯 | 宇野町 | 大正14年創、昭和42年廃、丸物 | | 21 |
| | o 8 | 扇元窯 | 宇野町 | 丸物 | | 21 |
| | o 9 | 植野窯 | 宇野町上条 | 昭和52年廃業、丸物 | | 21 |
| | o 10 | 野海窯 | 大金町姉金 | 丸物 | | 21 |
| | o 11 | 岡窯窯 | 大金町姉金 | 佐々木姓、丸物 | | 21 |
| | o 12 | 飯田窯 | 大金町姉金 | 野海窯買取、丸物 | | 21 |
| | o 13 | 飯田窯 | 上府町荒相 | 大正初期廃、丸物 | | 21 |
| | o 14 | 東坊下窯 | 上府町荒相 | 佐々木姓、丸物 | | 21 |
| | o 15 | とうまや窯 | 上府町荒相 | 丸物 | | 21 |
| | o 16 | 竹の河内窯 | 上府町荒相 | 岡本姓、丸物 大規模な窯であったという。 | | 21 |
| | o 17 | 深野窯 | 上府町荒相 | 丸物、登り窯小口16間1基 | | 21 |
| | o 18 | 中部屋窯 | 上府町荒相 | 丸物 | | 21 |
| | o 19 | 下土居窯 | 上府町荒相 | 東条姓、瓦窯 後吉田氏が買収して丸物窯に改め現存する。 | | 21 |
| | o 20 | 下中屋窯 | 上府町荒相 | 丸物 | | 21 |
| | o 21 | いりしまや窯 | 上府町荒相 | 瓦窯 | | 21 |
| | o 22 | 花屋窯 | 上府町荒相 | 大屋姓、明治初期～大正末期？丸物 | | 21 |
| | o 23 | 山崎屋窯 | 大金町大峠 | 丸物 | | 21 |
| | o 24 | 前中屋窯 | 国分町国府 | 瓦 | | 21 |
| | o 25 | かけ窯 | 上府町 | 明治初期創、丸物 | | 21 |
| | o 26 | 下手窯 | 上府町 | 明治43年創、大正初期廃、瓦 | 現在丸物（ガス窯） | 21 |
| | o 27 | 新屋窯 | 上府町 | 大正年間創、丸物 | | 21 |
| | o 28 | 岩黒窯 | 上府町 | 丸物、明治初期頃の窯？ | | 21 |
| | o 29 | あげよしや窯 | 上府町 | 丸物 | | 21 |
| | o 30 | 大村屋窯 | 上府町 | 丸物 | | 21 |
| | o 31 | 土田屋窯 | 上府町 | 丸物 | | 21 |
| | o 32 | 窯 | 上府町 | 丸物 | | 21 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ○ 浜田市 | ○ 33 | 国分寺瓦窯 | 国分町国分 | 奈良時代、瓦 | 本書に概要を掲載 | 21 |
| | ○ 34 | 中村窯 | 下府町 | 大正年間創、終戦後廃、丸物 | | 21 |
| | ○ 35 | 西山窯 | 長沢町 | 明治初期創、すり鉢後戸の浦へ移転 | | 21 |
| | ○ 36 | 塩田窯 | 長沢町 | 大正15年創、昭和40年廃、丸物 | | 21 |
| | ○ 37 | 河野窯 | 長沢町 | 明治34年創、昭和50年廃、すり鉢 | | 21 |
| | ○ 38 | 川上窯 | 長沢町 | すり鉢 | | 21 |
| | ○ 39 | 佐々木窯 | 生湯町 | 大正年間創、丸物 | | 21 |
| | ○ 40 | 高宗窯 | 生湯町 | 大正年間創、丸物 | | 21 |
| | ○ 41 | 亀谷窯 | 生湯町 | 寛政年間創、瓦現在は長沢にある。 | | 21 |
| | ○ 42 | 山口窯 | 長沢町 | 明治初期創、丸物、すり鉢 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 43 | 東山窯 | 長沢町 | 明治元年創、千代延姓、丸物、すり鉢 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 44 | 大吉屋窯 | 長沢町 | 3棟、明治初期、瓦、千代延姓 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 45 | 大吉屋窯 | 長沢町 | 4棟、明治初期、丸物、千代延姓 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 46 | 吹ケ迫窯 | 長沢町 | 明治40年創、二代の時丸物丸物、瓦 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 47 | はぜ山窯 | 長沢町 | 明治年間創、丸物 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 48 | 川神窯 | 長沢町 | 明治末期創、昭和42年廃、瓦登り窯小口数13口1基 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 49 | 川神窯 | 長沢町 | 昭和初期創、昭和37年廃、丸物窯 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 50 | 螺山窯 | 長沢町 | 昭和6年創、丸物（戦後民陶） | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 51 | 吉本窯 | 長沢町 | 丸物 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ○ 浜田市 | ○ 52 | タタラ屋窯 | 長沢町 | 丸物、瓦 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 53 | 原田窯 | 長沢町 | 明治年間創、昭和52年廃、瓦 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 54 | 野海窯 | 長沢町 | 丸物 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 55 | 尾崎窯 | 長沢町 | 丸物 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 56 | 欠番 | | | | 21 |
| | ○ 57 | 森田窯 | 長沢町 | 丸物 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 58 | 平野窯 | 長沢町 | 丸物 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 59 | 峠窯 | 長沢町 | 明治年間、瓦 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 60 | 山本窯 | 長沢町 | 明治年間、瓦 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 61 | 木坂窯 | 長沢町 | 大正年間、瓦 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 62 | 宮士窯 | 長沢町 | 昭和初期、瓦 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 63 | 尾崎窯 | 長沢町 | 昭和初期、瓦 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 64 | 大元窯 | 長沢町 | 昭和初期、瓦 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 65 | 大元窯 | 長沢町 | 昭和初期、瓦 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 66 | 渡辺窯 | 長浜町 | 大正年間、瓦 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 67 | 皿山窯 | 外の浦町 | 文化年間皿山清ヱ門創、丸物、茶器、雑器 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 68 | 内藤窯 | 外の浦町 | すり鉢 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 69 | 矢島窯 | 外の浦町 | すり鉢 | 浜田市商工水産課編『浜田の窯業』昭28 | 21 |
| | ○ 70 | 西山窯 | 外の浦町 | 明治初年創、すり | 大島幾太郎著『那賀郡 | 21 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ○ 浜田市 | | | | 鉢 | 史』昭45 | |
| | ○ 71 | 某窯 | 港町 | すり鉢 | 大島幾太郎著『那賀郡史』昭45 | 21 |
| | ○ 72 | 三沢窯 | 港町 | 弘化年間創 | 大島幾太郎著『那賀郡史』昭45 | 21 |
| | ○ 73 | 某窯 | 港町 | 文化年間創、丸物、雑器 | 大島幾太郎著『那賀郡史』昭45 | 21 |
| | ○ 74 | 淡島窯 | 浜田 | 幕末頃創、丸物、雑器 | 大島幾太郎著『那賀郡史』昭45 | 21 |
| | ○ 75 | お庭焼 | 殿町紅葉谷 | 文化年間創、丸物、茶器、花器 | 大島幾太郎著『那賀郡史』昭45 | 21 |
| | ○ 76 | 白川窯 | 田町浅井 | 嘉永三年または明治元年創、丸物、すり鉢 | 大島幾太郎著『那賀郡史』昭45 | 21 |
| | ○ 77 | 富島窯 | 田町浅井 | 元和5年創、瓦（浜田城瓦窯） | 大島幾太郎著『那賀郡史』昭45 | 21 |
| | ○ 78 | 森脇窯 | 田町浅井 | 天保年間創、瓦 | | 21 |
| | ○ 79 | 長見窯 | 熱田町 | 文化年間創、人形（初期長浜人形） | 大島幾太郎著『那賀郡史』昭45 | 21 |
| | ○ 80 | ほうどう寺窯 | 熱田町 | 江戸末期、丸物 | 大島幾太郎著『那賀郡史』昭45 | 21 |
| | ○ 81 | 森脇窯 | 熱田町 | 明治30年創、丸物、すり鉢 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 21 |
| | ○ 82 | 森脇分家窯 | 熱田町 | 大正11年創、丸物、すり鉢 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 21 |
| | ○ 83 | 室田窯 | 熱田町 | 西浜田駅裏、丸物、すり鉢 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 21 |
| | ○ 84 | 村田窯 | 熱田町福井 | 昭和初期創、丸物、すり鉢 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 21 |
| | ○ 85 | 今浦窯 | 熱田町 | 明治年間創、瓦 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 21 |
| | ○ 86 | 小泉窯 | 熱田町 | 大正年間、瓦 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 21 |
| | ○ 87 | 柿谷窯 | 日脚町 | 明治初年頃は瓦窯であった。昭和初頭に丸物窯（スリ鉢）昭和47年7月 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 21 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| o 浜田市 | | | | 廃業 | | |
| | o 88 | 大田窯 | 日脚町 | 瓦窯 | 半田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 21 |
| | o 89 | 平野窯 | 内田町 | 昭和9年頃創業、昭和45年頃廃業、すり鉢 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 21 |
| | o 90 | 岸本窯 | 内田町 | 明治年間創、瓦 | | 21 |
| | o 91 | 内田窯（仮称） | 内田町 | すり鉢 | | 21 |
| | o 92 | 佐々木窯 | 長浜町 | すり鉢 | | 21 |
| | o 93 | 大田窯 | 周布町 | 瓦窯 | | 21 |
| | o 94 | 岡本窯 | 長見町峠 | 丸物 | | 21 |
| | o 95 | 村田窯 | 長見町峠 | 昭和初期、瓦（岡本丸窯の改修？） | | 21 |
| | o 96 | 佐々木窯 | 三階町（所在地不明） | 明治年間、瓦 | | |
| | o 97 | 一丁田窯 | 三階町（所在地不明） | 大正年間、瓦 | | |
| | o 98 | 嶽田窯 | 三階町（所在地不明） | 大正年間、瓦 | | |
| | o 99 | 佐々木窯 | 上府町三重谷 | 丸物 | | 21 |
| | o 100 | 佐々木窯 | 上府町上府橋 | 丸物、すり鉢消滅 | | 21 |
| | o 101 | 奈古田窯 | 国分町奈古田 | 須恵器（7～8世紀） | 山陰中央新報社『さんいん古代史の周辺』（下）昭55 | 21 |
| | o 102 | 日脚窯 | 日脚町 | 須恵器 | 本書に概要を掲載 | 21 |
| p 那賀郡旭町 | p 1 | 大迫堤窯 | 那賀郡旭町木田大迫堤 | 須恵器（奈良時代後半） | 柳浦俊一「鳥根県那賀郡旭町出土の遺物」『ふぃ～るど・の～と』№4 昭58 | 20 |
| q 那賀郡金城町 | q 1 | 馬場窯 | 今田 | 丸物（小物）戦後4～5年間で廃業 | 平田正典著『石見粗陶器史考』昭54 | 21 |
| | q 2 | 木元窯 | 七条 | 瓦 | | 21 |
| | q 3 | 今浦窯 | 下来原 | 瓦 | | 21 |
| | q 4 | くぼき窯 | 下来原 | 瓦 | | 21 |
| | q 5 | みさわ窯 | 七条字新開 | 瓦 | | 21 |
| | q 6 | 大吉屋窯 | 下来原 | 昭和35年頃廃業 | | 21 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| q 那賀郡金城町 | | | | 瓦登り窯小口数15口1基 | | |
| | q 7 | 佐々田窯 | 下久佐 | ゴルフ場 | | 21 |
| | | | | 瓦窯、昭和初期創業、昭和35年頃廃業？ | | |
| | q 8 | 鹿森窯 | 上久佐 | 瓦 | | 21 |
| | q 9 | 岡本窯 | 七条字青原 | 岡本忠蔵氏 | | 21 |
| | | | | 瓦、昭和45年頃廃 | | |
| | | | | 金城では一番上質の瓦であった。 | | |
| s 那賀郡三隅町 | s 1 | 森井窯 | 岡見字中山西493－1 | 昭和3年～昭和14年、丸物 | | 25 |
| | s 2 | 亀井宇三郎窯 | 矢原松永牧場内 | 明治末期～昭和8年、瓦 | | 25 |
| | s 3 | 三浦兼治窯 | 矢原松永牧場内 | 明治末期～昭和8年、丸物 | | 25 |
| | s 4 | 山岡窯 | 岡見字中山628 | 昭和23年～昭和35年 | | 25 |
| | s 5 | 斉藤窯 | 岡見字中山 | 時代不明 | | 25 |
| t 益田市 | t 1 | 花吉瓦窯 | 飯浦町ロ－2 | 昭和初期～昭和45年、瓦、レンガ | | 26 |
| | t 2 | 山藤窯 | 小浜 | 昭和10年～昭和45年、瓦 | | 26 |
| | t 3 | 小浜窯 | 小浜504 | 戦前は不明、戦後日用品瓦 | | 26 |
| | t 4 | 石川窯 | 戸田 | 瓦 | | 29 |
| | t 5 | 喜阿弥窯 | 喜阿弥イ973 | 嘉永頃～昭和20年丸物 | 本書に概要を掲載 | 25 |
| | t 6 | 木藤瓦窯 | 喜阿弥イ1441 | 瓦、丸物 | | 25 |
| | t 7 | 佐々木窯 | 遠田井の通3349－3 | 明治末期～昭和56年、瓦、レンガ | | 25 |
| | t 8 | 佐々木窯 | 西平原670－3 | 大正10年～昭和40年、瓦 | | 25 |
| | t 9 | 佐々木窯 | 種村町1780松永牧場内 | 時代不明、瓦 | | 25 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| t 益田市 | t 10 | 芝窯 | 西平原町 1263－1 | 古墳時代、須恵器 | | 25 |
| | t 11 | 中塚窯 | 西平原町 1273－2 | 古墳時代、須恵器 | | 25 |
| | t 12 | 中村行安窯 | 虫追町 | 明治初期～昭和28年、瓦 | | 28 |
| | t 13 | 本田窯 | 虫追町ロ－601 | 昭和初期～ 瓦 | | 28 |
| | t 14 | 藤原史義窯 | 虫追町ロ－588 | 昭和３年～12年、瓦 | | 28 |
| | t 15 | 石橋久友窯 | 虫追町ロ－242 | 明治初期～昭和40年、瓦 | | 28 |
| | t 16 | 中村雪男窯 | 虫追町ロ－288－３ | 明治中期～昭和初期、瓦 | | 28 |
| | t 17 | 橋目駿窯 | 虫追町ロ－531 | 明治初期～昭和42年、瓦 | | 28 |
| | t 18 | 藤原学窯 | 虫追町ロ－269 | 時代不明、瓦 | | 28 |
| | t 19 | 立川窯 | 柏原町上ケ山 1663 | 昭和５年～41年、瓦 | | 28 |
| | t 20 | 宮本窯 | 黒周町ロ－658 | 昭和８年～45年、瓦 | | 28 |
| | t 21 | 久城窯 | 黒周町 1069－2 | 昭和７年～昭和15年、瓦、16年～18年、丸物 | | 28 |
| | t 22 | 中島窯 | 黒周町ロ 265～1 | ～昭和16年、瓦 | | 28 |
| | t 23 | 金井窯 | 黒周町ロ 1072 | 昭和３年～昭和49年、瓦 | | 28 |
| | t 24 | 豊田窯 | 黒周町ロ 1097～3 | 明治末期～昭和43年、瓦 | | 28 |
| | t 25 | 焼窯 | 黒周町ロ 1094 | ～昭和３年、瓦 | | 28 |
| | t 26 | 清水窯 | 黒周町下焼ロ 1101 | 昭和４年～昭和45年、瓦 | | 28 |
| | t 27 | 浜崎窯 | 黒周町中倉イ 9923 | 明治初期～大正13年、瓦 | | 28 |
| | t 28 | 中村窯 | 久城町 1044～2 | 明治初期～昭和47年、瓦 | | 25 |
| | t 29 | 高島窯 | 下本郷 870－1 | 昭和初期～昭和45年、瓦 | | 25 |
| | t 30 | 福原窯 | 久城町浜 | 明治初期～昭和18年、瓦 | | 25 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| t 益田市 | t 31 | 第2工場 | 久城町1041 | 昭和18年～昭和45年、瓦 | | 25 |
| | t 32 | 岡崎窯 | 白上町イ982 | 昭和22年～36年 | | 28 |
| | t 33 | 中島窯 | 白上町 | 明治初期～末期 | | 28 |
| | t 34 | 野田窯 | 白上町皿山 | 文政5年～明治初期 | 本書に概要を掲載 | 28 |
| | t 35 | 隅村窯 | 隅村町356－2 | 明治末期～大正10年、昭和30年～4月 | | 28 |
| | t 36 | 吹金原窯 | 白上町 | 明治中期～大正14年 | 本書に概要を掲載 | 28 |
| | t 37 | 佐々木窯 | 内田町市原牧場地内 | 明治年間 | | 28 |
| | t 38 | 新田窯 | 高津町イ－2574 | 時代不明 | | 25 |
| | t 39 | 木片子窯 | 遠田町487 | 須恵器 | 益田市教育委『木片子遺跡・木原古墳』昭57 | 25 |
| | t 40 | 杉迫窯 | 津田字杉迫 | 須恵器 | 山陰中央新報社『さんいん古代史の周辺』（下）昭55 | 25 |
| | t 41 | 朶ケ迫窯 | 遠田町朶ケ迫 | 須恵器 | 山陰中央新報社『さんいん古代史の周辺』（下）昭55 | 25 |
| | t 42 | 鈴巒窯 | 須子町鈴巒1837 | 須恵器 | | 28 |
| x 鹿足郡六日市町 | x 1 | 森崎窯 | 真田字田丸701 | 大正末期～昭和42年 | | 31 |
| | x 2 | 矢富窯 | 真田字田丸 | 大正初期～昭和14、15年 | | 31 |
| | x 3 | 広瀬窯 | 〃 | 大正末期～昭和14、15年 | | 31 |
| | x 4 | 坂折窯 | 朝倉1416 | 明治末期～昭和10年 | | 31 |
| | x 5 | 村上窯 | 久保田 | 大正末期～昭和15年 | | 31 |
| y 鹿足郡柿木村 | y 1 | 唐人窯 | 福川杉の峠 | 慶長2年（1597）～ | 『唐人焼窯跡』 | 31 |

| 市町村名 | 番号 | 名称 | 所在地 | 摘要 | 文献 | 地図番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| z 鹿足郡津和野町 | z 1 | 喜時雨窯 | 喜時雨88 | 不明 | | 31 |
| | z 2 | 綾焼窯 | 所在地不明 | 江戸時代後期 | | |
| B′ 隠岐郡海士町 | B′ 1 | 瓦窯（跡） | 海士町中里字郡 | 明治初年頃より従業せしが死亡のため一時中止、更に工場建築黒瓦製造中なり | 『海士町史』（「海士村誌下調」中村清二郎）大正13年、昭和22年 | 34 |

※ 文献のうち下記のものについては略称を用いた。

楫野『雅談の枝折』── 楫野泉宗『雅談の枝折』昭26

伊藤『出雲意東焼』── 伊藤菊之輔『出雲意東焼』昭24

桑原『出雲陶窯』── 桑原羊次郎『出雲陶窯』昭8

原宏『島根のやきもの』── 原宏「島根のやきもの」『日本やきもの集成』8　昭56

周藤『権兵衛・国屋窯』── 周藤国実『権兵衛の国屋窯記録集』昭32

『安田誌』── 安田公民館『安田誌』昭41

『広瀬町誌』上── 広瀬町役場『広瀬町史』上　昭43

伊藤『山陰の陶窯』── 伊藤菊之輔『山陰の陶窯』昭44

『佐田町史』── 佐田町教育委員会『佐田町史』昭51

『大東町誌』── 大東町『大東町誌』昭51

『加茂町誌』── 加茂町『加茂町誌』昭59

『木次町誌』── 木次町『木次町誌』昭47

『唐人焼窯跡』── 神木村教育委員会『唐人焼窯跡発掘調査報告書』昭57

# 主要遺跡の概要

## 高畑遺跡（A１）　　安来市門生町

**所在**　鳥取県と接する県境から中海南岸沿いに西方へ2.5㎞ほどいった標高20ｍ内外の低丘陵地に位置する。十神木材㈱工場から南に400ｍのところにあたり、低丘陵地の谷を締切って造られた後谷池のある周辺に遺跡がひろがる。

**遺跡の概要**　この遺跡は1960年安来市在住の内田才氏によって発見された須恵器窯跡である。その後、1973年県教育委員会による分布調査で後谷池の南方の門生町字山根の谷にも遺跡がひろがることが判明している。

**高畑地区の遺跡**　後谷池の周囲、安来市門生町字高畑に営まれたもので、1981年山陰線電化に関連して後谷池南隣接地の低丘陵地が発掘調査された。そして、1983、84の両年度安来市教育委員会による窯跡の分布調査が実施された。

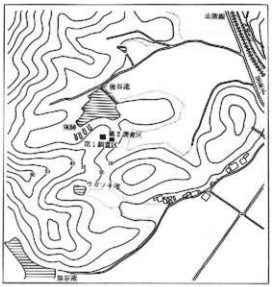
1981年の発掘調査では丘陵頂部の平坦地の第１調査区において方形プランの５棟（SB01～SB05）の竪穴工房跡と２棟（SB06、SB07）の掘立柱建物跡が検出されている。同時に、段状遺構や土器溜まりも検出されている。丘陵斜面の第２調査区においては方形プラン（５ｍ×2.5ｍ以上）の竪穴工房跡１棟（SB08）と掘立柱建物跡（SB09）１棟や溝状遺構等が検出されている。工房跡と考えられる点は例えばSB01で大甕の中に黄色粘土が入っていたと考えられる状況で出土していること、SB08で床面に1.8×1ｍという大量の粘土塊が検出されたことなどに示されている。

出土遺物は多量の須恵器片を初め土師器、工房関係用具などである。須恵器の器種は蓋坏、甕、有蓋と無蓋の２種の高坏、直口壺、短頸壺、大形と小形の２種の瓶、器台などである。土師器は少量であるが、高坏、甕、甑等である。工房関係のものは焼台紡錘車、砥石等である。

安来市教育委員会の分布調査では後谷池の谷頭部分に近い丘陵斜面において須恵器窯跡を１基確認している。窯体の位置を確認するためのほんの部分的な調査のため構造等詳細は不明である。付近には従来から灰原が数箇所認められているのでこのほかにもいくつかあると予想できる。

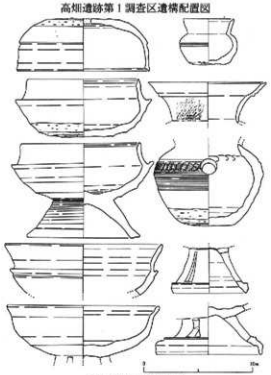
この地区の遺跡は山陰須恵器編年第Ⅰ期の須恵器窯跡群や須恵器生産に携わった工人たちの工房集落跡と考えられる。須恵器の時期にはⅠ期のみならず幅があるようである。（勝部　昭）

**文献**　内田才「原始・古代」『安来市誌』昭和45年　近藤正「窯業－山陰－」『日本の考古学』Ⅵ　昭和42年　永見英ほか「島根県安来市門生の高畑遺跡調査」『日本考古学年報34』昭和59年



高畑遺跡周辺地形図

高畑遺跡第１調査区遺構配置図


高畑遺跡出土須恵器

# 門生古窯跡群山根地区の古窯（Ａ２）

安来市門生町

**所在**　遺跡は安来市門生町に所在する。門生古窯跡群が所在する地域は中海南部の小規模な溺谷がおりなす堆積低地とその低地に突出する丘陵上に位置する。遺跡と中海の間には国鉄山陰線と国道９号線が東西に走っている。

窯跡群の中心部は谷の奥部に存在する後谷池と呼ばれる農業用水池の周辺と考えられている。（高畑地区）近年その他に後谷池の南側の尾根を狭んで東に開く谷に存在するウガフキ池の周辺にも窯跡が知られるようになって来た。（山根地区）

窯跡群を取り巻く丘陵上には点々と古墳や横穴群が存在する。特に著名なものは遺跡の北500ｍに位置し、かって人物埴輪を出土した東谷古墳、北東500ｍに存在し、前方後円墳１基を含む常福寺裏山古墳群、南東200ｍに存在する五反田古墳、五反田横穴群などがある。

**遺跡の概要**　山根地区の古窯跡は、未発掘の為、その詳細は明らかではないが、建物の散布状態、地主からの聞き取り調査によって、概ねその所在地が明らかになっている。窯跡はウガフキ池の西奥に向って開く小谷の南側斜面に位置する。窯跡は現地主によって杉の植林がなされた時に一部破壊されているらしく、窯体の破片が多数採集されている。

**遺物**　本窯跡から採集された須恵器は山本清氏山陰須恵器編年Ⅰ期に該当するものと考えられる。器種は蓋・杯・高杯・鉢・壷・甕・器台・焼台などがある。採集量からすると、壷・甕の類が一番多く次いで杯・蓋・高杯の順になるが、壷・甕の類を除いてはごく少量である。ロクロの回転は左右両方とも認められる。

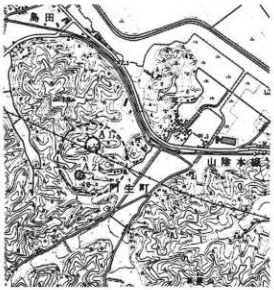
**蓋**　口径12.4㎝から14.4㎝ほどのものがある。口縁端部は段状をなすものが多く、一部天井を丸く仕上げるものもあるが天井が平になるものが多い。天井はその大部分を回転ヘラ削りで仕上げる。端部はシャープである。以下、特徴的な器種について概要を記す。

**杯**　口径11㎝程度のものが多い。口縁端部は段状をなすものが多く体部を深く仕上げるものと、浅く仕上げるものとがある。底部の調整はその大部分を回転ヘラ削りで仕上げるものと、２分の１程度しか削りを残さないものとがある。総体的に前者は浅い造りで端部もシャープである。

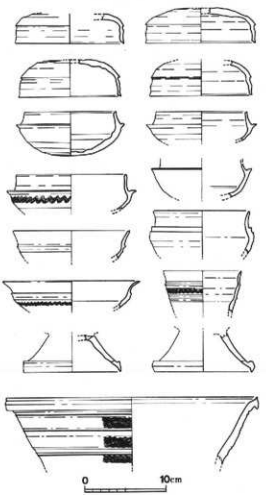
**高杯**　有蓋と無蓋と両方存在する。脚は低脚一段透しが多い。坏部に波状文を施すものも存在する。脚部にはカキ目を施すものも存在する。

**壷**　口縁部を肥厚させ頸部に凸線や凹線で区画した内側に細い原体の波状文を施すものが多い。胴部内面の叩きは磨消されたものもある。

（大森隆雄・卜部吉博）




門生古窯群の位置　１：25,000（母里）
Ａ１高畑窯　Ａ２山根窯




山根地区の古窯から採集した須恵器

# 大井古窯跡群

松江市大井町

本窯跡群は松江市の中心部から東方約6㎞の中海に近接した山麓、谷間に点在して分布する。管窯の期間はこれまで古墳時代後期から7世紀代までと考えられていたが最近の分布調査の結果、山陰Ⅰ期の須恵器も焼成し、一方では8世紀代の須恵器も認められることから新古の幅が長くなった。又、窯跡の数も従来大井地区4ヶ所、大海崎地区3ヶ所であったが、大井地区周辺でその数を増し8ヶ所以上、14基以上確認される。大海崎地区では3ヶ所あったが確実な窯跡は、唐干窯跡のみであり、逆にその数を減らす可能性がある。以下に各窯の概要を紹介する。

**廻谷窯跡**（Ｊ6）　昭和47年に発見された。大井集落南西部の低丘陵の北向山裾に3基が5～10ｍの間隔で並ぶ。最奥部の窯は焼成部の断面が露出し床面の幅1.7ｍを計る。山陰Ⅰ期の蓋坏、壺、甕の破片が採集され大井地区最古の窯跡として注意される。

**寺尾窯跡**（Ｊ5）　大井集落の西側山裾に広がる谷間の北半部畑地一帯に窯壁塊や土器片が散布。山陰Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ期にわたる高坏、蓋坏、甕などがあるがⅢ期のものが多い。

**ババタケ窯跡**（Ｊ8）　大井集落の南方外まわり山塊の南向き山林斜面に所在。山道の脇に窯壁塊が認められ須恵器片は山陰Ⅲ期から奈良期のものが多く土馬も採集されている。

**岩汐窯跡**（Ｊ9）　ババタケ窯跡の西方300ｍ、谷間奥の南向き山裾に所在。現在は溜池が造られており灰原の一部は水面下にある。四基確認され内1号窯は焼成部の断面が露出している。それによればS回以上の使用が考えられる。2号窯も焼成部の断面が露出する。これらの窯ではおおむね山陰Ⅲ期からⅣ期のものが多い。

**蛇貫谷窯跡**（Ｊ10）　岩汐の集落の西奥谷間の山裾と畑地に須恵器が大量に散布。長頸壺、瓶、盤、蓋坏、平瓦、瓦器質の土錘、円面硯、焼き台、蛸壺などが出土。山陰Ⅲ期から奈良期までのもの。

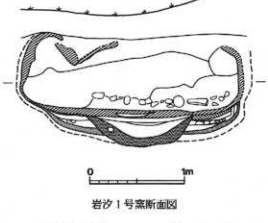
**勝田谷窯跡**（Ｊ11）　大井集落の北西部谷間山裾に所在。窯壁塊や須恵器片が出土。山陰Ⅳ期以後のもの。

**明曽窯跡**（Ｊ13）　大井集落の北方谷間最奥部に所在。川筋に灰原の堆積土層があり広範囲に須恵器片が散布。山陰Ⅳ期以後のもの。

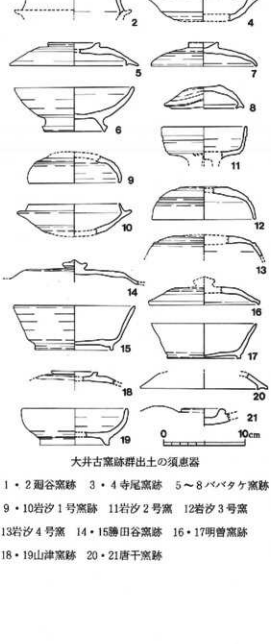
**山津窯跡**（Ｊ2）　県道の敷設工事で発見された。道路下に灰原の断面が露出。窯壁塊が認められる。山陰Ⅲ期から奈良期までのものが多い。

**唐干窯跡**（Ｊ1）　大海崎の集落の南端、中ノ海をのぞむ丘陵の突端部に所在する。かっては窯壁の断面が認められたという。

**木ノ谷窯跡及古屋敷窯跡**　大海崎町に所在。唐干窯から谷間を西へ約500ｍばかり入り込んだ北向きの山裾畑地に若干須恵器片が認められるが窯跡とする積極的な資料は採集出来ない。（岡崎雄二郎）




岩汐1号窯断面図




大井古窯跡群出土の須恵器

1・2廻谷窯跡　3・4寺尾窯跡　5～8ババタケ窯跡
9・10岩汐1号窯跡　11岩汐2号窯　12岩汐3号窯
13岩汐4号窯　14・15勝田谷窯跡　16・17明曽窯跡
18・19山津窯跡　20・21唐干窯跡

# 平所埴輪窯跡（Ｊ18）

松江市矢田町字平所

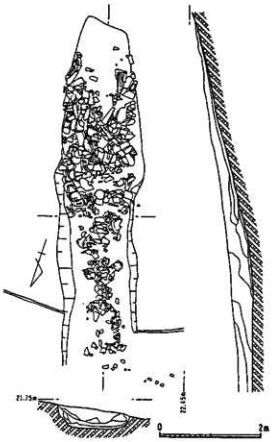
**所在**　平所埴輪窯跡は、松江市の南部に広がる意宇川下流平野の一角にある。すなわち、『出雲国風土記』に「神名樋野」とある茶臼山（標高171ｍ）の東北麓、標高20～30ｍで南から北に派生する支脈の西側緩斜面に位置する。この周辺は出雲地方において主要古墳が最も集中してみられる地域で、鶏塚古墳、山代二子塚古墳、山代方墳、岡田山１号墳などをはじめ著名な古墳が多数分布している。

この遺跡は、国道９号線バイパス建設事業に伴い、昭和50年に島根県教育委員会によって発掘調査されたものである。

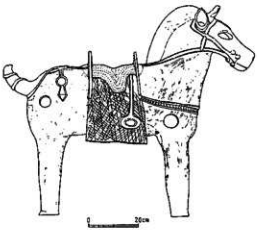
**遺跡の概要**　埴輪窯跡は、丘陵緩斜面下方の標高20.5～22ｍの傾斜変換点付近に築かれていた。窯跡の周辺は削平、掘削の跡があり、窯跡もそれらによって上部構造が完全に失われていたが、窯底から10～50㎝の高さで窯壁が残存し、これによって窯跡の大方の規模、形状等を把握することができた。それによると、窯体はゆるやかな傾斜面を利用して麓の傾斜変換点から斜面上方に向けて掘り込まれ、その構造は一種の無段窖窯で、残存長約5.8ｍ、幅1.2～1.55ｍを測る。天井部が失われているので、半地下式かトンネル式かについては不明である。

窯跡中軸線はＮ－18°－Ｗを示し、窯体の平面形は窯尻部が窯底の傾斜の上昇にしたがって細くすぼまり、焼成はやや幅広く、燃焼部から焚口部にかけては若干幅狭く造られている。各部の明瞭な仕切りはないが、焼土や木炭の拡がり、床面の傾斜などからすると、焼成部は長さ3.3ｍあまりと考えられ、窯底の傾斜10～15度で段築などはみられない。床上げや貼り壁といった形跡はなく、床面の焼け具合からみても数次にわたる窯入れは認めがたい状態であった。燃焼部と焚口との区別はなく、長さ2.5ｍ、幅1.45～1.55ｍで床面はほぼ水平を保ち、赤変した床面には木炭を多量に含む厚さ2～5㎝の炭化物層の堆積がみられた。断面は浅いＵ字形を呈し、最も遺存度の良好な部分で窯壁高約50㎝ある。

窯内に残されていた遺物は、全て破片の状態で出土し、特に焼成部では馬・家形埴輪などの大小の破片が隙間もないほど床面いっぱいに堆積していた。埴輪は同一個体の破片が無秩序に散乱しており、窯内に置かれた状況を想定するにはあまりにもまとまりのない状態であった。



埴輪窯跡および遺物出土状態実測図



馬埴輪略測図

**遺物**　窯内から出土した遺物は、少なくとも馬埴輪４、家埴輪２、鹿埴輪２、人物埴輪３、猪埴輪１、円筒埴輪１、土師器椀１を確認することができる。これらは諸特徴から概ね６世紀前半ごろのものと推測される。出土品はいずれも人念につくられた優品で、学術上・芸術上きわめて貴重なものであるとして重要文化財に指定されている。（松本岩雄）

**文献**　島根県教育委員会『重要文化財平所埴輪窯跡出土品復元修理報告書』　昭和56年

## 小松古窯跡群（Ｇ１）

八束郡宍道町大字西来待字小松

**所在**　遺跡は八束郡宍道町大字西来待字小松に所在し、宍道町役場の東北東約３㎞にあり、現在は小松団地の中に位置している。

窯跡郡は南から宍道湖に突き出すように延る丘陵の先端に近い、東に開く小谷に立地する。この窯跡群の所在する地域は『出雲国風土記』に見える拝志郷に位置するものと考えられる。

**遺跡の概要**　検出された遺構は須恵器窯跡３、溝跡２、灰原１である。以下若干の概要を述べるがいずれも遺跡の範囲確認調査の時点での試掘に基くものであるので不明な部分も多い。窯跡は天井部を確認したものはなく、窯体はスサ入り粘土を用いて、半地下式の窖窯である。

**１号窯跡**　海抜26ｍ付近から28ｍ付近に築かれており、長さは４ｍ以上あるものと考えられる。幅は0.9ｍ～1.3ｍで窯体の主軸の方向はＮ－24°－Ｗをとる。

**２号窯跡**　１号窯跡の西側に位置し、海抜25.5ｍ付近から海抜28ｍ付近に築かれており、長さは４ｍ以上あるものと考えられる。幅は焼成部で18ｍである。主軸はＮ－23°－Ｗをとるものと考えられる。

**３号窯跡**　１号窯跡の東側に位置し、海抜24.5ｍから海抜26ｍ付近に構築されているものと推測される。長さは不明である。幅は検出面において1.8ｍである。窯体の主軸はＮ－9°－Ｅをとるものと考えられる。窯体は地山を掘り込んで構築されており、床面は一部しか確認してないが、横断面では若干中央が凹むものと思われる。

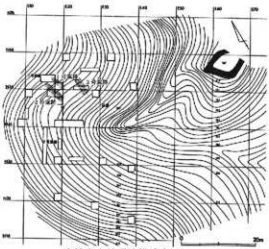
**１号溝跡**　南西から北東に走る溝で、１号窯跡、２号窯跡の窯尻を取り囲むように掘り込まれている。底はほぼ平である。上縁幅は1.2ｍ、底幅は0.7ｍを計る。

**２号溝跡**　窯跡の南西に位置する溝である。等高線と直交するように掘り込まれている。

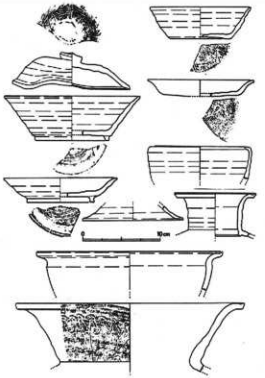
**灰原**　窯跡郡の南側に認められた。海抜25.5ｍから16ｍ付近に遺物が認められ、面積的には150㎡の広がりを持つものと考えられる。

**出土遺物**　蓋、杯、壷、甕が検出されている。器種毎の出土量では甕の胴部破片が一番多く、次に杯が続き、蓋は少ない。杯・蓋ともに切り離しは一部を除いて回転糸切りである。坏では高台を持つものと持たないものの両方あるが、いずれも皿状の浅いつくりのものがあり、注意される。また、甕の破片の内、放射状叩きがあるものがある。８世紀の後半から９世紀初頭あたりの所産と考えられる。

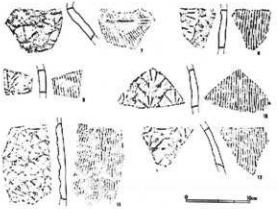
（卜部吉博）



小松古窯跡群遺構分布図



小松古窯跡群出土の須恵器



小松窯跡出土須恵器の叩き目拓影

**文献**　卜部吉博『小松古窯跡群範囲確認調査報告書』宍道町教育委員会　昭和58年

# 出雲国分寺瓦窯跡（ＪＩ７）

松江市竹矢町中竹矢

**所在**　本遺跡は松江市の市街地から東南方へおよそ６㎞余りの郊外の竹矢町中竹矢に所在する。遺跡の南に展開する意宇平野には奈良期の行政の中心地であった出雲国府跡や条里制があり、東には殆ど接して低い丘陵上に出雲国分尼寺跡、西には約150ｍ離れて山裾の台地上に出雲国分寺跡がある。

**沿革**　昭和47年７月、土地所有者である菅井作夫氏が母屋裏の風通しをよくするために裏山の低丘陵を削られた際に10数個の瓦片と共に瓦窯の断面を発見されたことによる。

**交通**　山陰本線松江駅から竹矢方面バス、武内神社前下車、約200ｍ

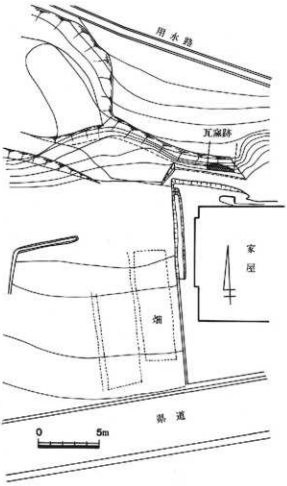
**遺跡の概要**　瓦窯の断面が露出している崖面は高さ４ｍ余りで崖の上はゆるやかな斜面となっている。断面をみると瓦窯跡ははぼ南北方向に主軸をとり、天井面までの高さ1.2ｍ、横幅は床面直上部で2.24ｍを測る。窯壁は暗赤褐色になるまで著しく焼け、堅くしまっている。厚さは床部及び側壁で６～９㎝、天井部最高所で24㎝を測る。窯の内部はすべて土が充満しており隙間はまったくない。図に示すようにほぼ水平の土層が堆積し８層に区分される。下部の第１層から４層までは窯壁の剥落や床面のかきならしによる堆積であり、第５層から８層までは廃窯後の外部からの流入土と窯壁の剥落土によって形成されたものと考えられる。煙道は認められない。断面土層中に炭化物を含んでいないことから、焚口及び燃焼室は家屋敷地にかかり既に消滅し、今遺存しているのは焼成室の奥半部であろうと思われる。

**遺物**　①軒丸瓦　直径は16㎝近くあり中房には蓮子が１＋４で構成されその周囲に簡略化された５葉の複弁が配置され、さらにその外側には略式の唐草文帯がある。外区には28個の珠文がまわる。②均正唐草文軒平瓦　４弁の花文を等間隔に３個配置しその間に流麗な唐草文を入れ外区には突線に囲まれた珠文帯を配する。③軒平瓦　瓦当文は複雑な組み合わせの幾可学文様を陰刻した型を押し当てたものである。④須恵器・皿　口径19.8㎝、器高2.6㎝を測る。底部は糸切り後軽くナデている。高さ0.6㎝の高台を付けている。平安時代のものであろう。出土瓦には僧寺、尼寺共に創建当初のものはなく建立後の補充用に焼かれたものである。そして須恵器の示す平安時代頃まで本瓦窯は存続していたことになる。

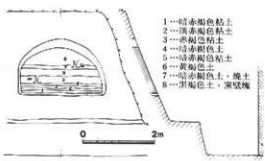
本瓦窯は出雲国分僧寺と尼寺の使用瓦を焼いた窯として重要であることから昭和48年３月30日付けで、県史跡に指定されている。

（岡崎雄二郎）

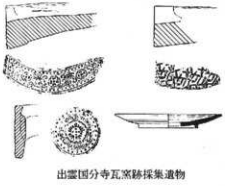
**文献**　岡崎雄二郎「出雲国分寺瓦窯跡について」『八雲立つ風土記の丘』№35　昭和54年



出雲国分寺瓦窯跡付近地形図



出雲国分寺瓦窯跡断面略測図


出雲国分寺瓦窯跡採集遺物

# 常楽寺瓦窯跡（ＪＩ20）

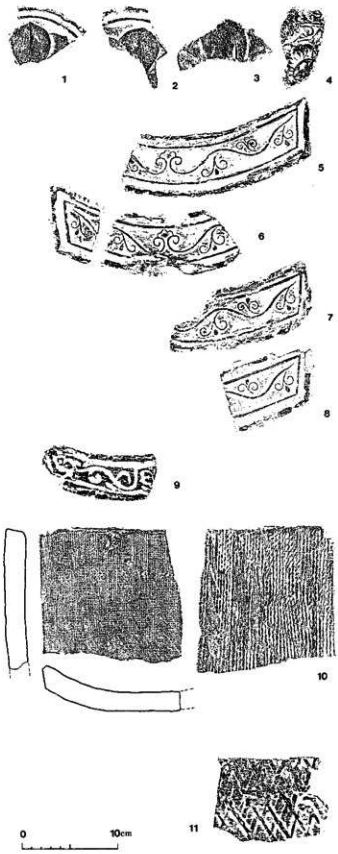
松江市西長江町雉組字常楽寺

**遺跡の概要**　大正５年頃、松江市西長江在住の中倉六郎氏によって発見された瓦窯である。瓦窯は宍道湖北岸の西長江町字常楽寺の標高15ｍの丘陵の東縁斜面にある。約50ｍの範囲に布目瓦や窯壁の破片が散布しており、数ヶ所の窯の存在が考えられる。窯構造は明らかでないが、これまでに須恵器が採集されていないので瓦専用の窯であったと推察される。

**遺物**　瓦は、軒丸瓦２種、軒平瓦２種、平瓦等がある。その他、かつて瓦塔が出土したと伝えられるが実見できなかった。軒丸瓦Ａ類は、『出雲国風土記』に記載の山代郷新造院の推定地、松江市山代町四王寺廃寺Ⅱ類軒丸瓦と同笵で、弁の幅の広い単弁４葉蓮華文を瓦当文様としている（１、２、３）。軒丸瓦Ｂ類は出雲国分寺創建期のそれと同笵のものである（４）。軒平瓦Ａ類は、軒丸瓦Ａ類とセット関係にあると考えられている、左右から中心飾りに向かい３反転する均整唐草文を配し、四王寺廃寺軒平瓦Ⅰ類と同笵である（５～８）。軒平瓦Ｂ類はこれまで知られていない瓦当文様で、やや退化した均整唐草文を瓦当に陰刻しているようである（９）。平瓦は現在のところ２種採集されている。Ａ類は凸面の叩き痕が、側面に平行な縄目のもので（10）、Ｂ類は斜格子状の叩き痕を有するもの（11）である。このうちＢ類は出雲国分寺にみられる。

以上の瓦のうち、軒平瓦Ｂ類（９）と平瓦Ｂ類（11）は平安時代のものと考えられる。従って、古瓦でみる限り８世紀後葉から平安時代にかけての瓦窯であったことが考えられる。常楽寺瓦窯跡が存在する松江市西長江町は、律令制時代の行政区分では秋鹿郡にあたり、意宇郡にあった出雲国分寺や山代郷新造院を中心として、その周辺の寺院・官衙に瓦を供給していたようである。その運搬にあたっては瓦窯の眼前に広がる常に波静かな宍道湖で舟が利用されたことであろう。

（内田律雄）




常楽寺瓦窯出土古瓦拓影

（１～７、９、11は恩田清氏による）

**文献**　近藤　正「『出雲国風土記』所載の新造院とその造立者」『日本歴史考古学論叢』２　昭和42年
松本岩雄『風土記の丘地内遺跡発掘調査報告』Ⅳ島根県教育委員会　昭和60年

## 横田・大内谷窯跡（Ｘ３）

仁多郡横田町大字大谷字大内谷

**所在**　遺跡は仁多郡横田町大字大谷字大内谷にあって、斐伊川の支流、大馬木川の源流の一つ付近にあたる。標高が約450ｍの西斜面に須恵器や窯壁の散布がみられる。

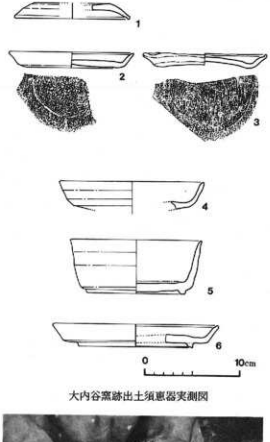
**遺跡の概要**　窯の構造は未発掘の為不明であるが、現在のところ須恵器しか採集されておらず、須恵器専用窯であったと思われる。採集された資料の中には、窯壁に須恵器片が付着したものもある（写真）。

**遺物**　これまで採集されている須恵器は、蓋、皿、盤等がある。いずれも薄い青灰色を呈し、焼成は良好である。胎土には１㎜前後の砂粒を含み、調整は回転ナデで仕上げられているが、特徴的なことは器面に砂粒がとび出したものが多いことである。

１は５㎝ほどの破片から蓋として復元した。最大径は12.0㎝、厚さは0.6㎝ある。口唇にはかえりはなくわずかに下垂する。恐らく疑宝珠状のつまみのつくタイプのものであろう。復元した器高は3.0㎝。

２・３は皿で、いずれも最大径は13.0㎝、器高は約1.7㎝になる浅いものである。底部での厚さは約0.6㎝を測る。体部は逆への字状に開き、口唇部はわずかに内傾する。外面底部は回転糸切痕を残し未調整である。回転糸切後、板、もしくはワラ状のものの上に置かれたのであろうか、回転糸切痕の上からカキ目状痕が部分的に観察できる。体部は内外面とも回転ナデ調整、内面底部は不整方向へのナデ調製が施されている。２は１に比較して焼成時のひずみが大きい。

４・５は低い高台のつく坏である。４は底部を失い、５に比較して浅い。復元した口径は15.4㎝である。高台を復元すれば器高は4.0㎝ほどになると思われる。底部付近の厚さは0.7㎝を測る。内外面とも回転ナデ調整が施されている。５は復元口径13.7㎝、器高5.7㎝になる。底部での厚さは0.9㎝を測る。高台は低くしっかりとしたもので貼り付けである。体部はわずかに外に傾斜しながら立ち上がる。口唇部は丸い。外面底部は回転糸切痕が未調整のまま残る。また、高台付近には、高台貼り付け時についたのであろうか爪の痕が一周する。高台付近と体部の内外面は回転ナデ調整、内面底部は不整方向へのナデ調整痕がみられる。



大内谷窯跡出土須恵器実測図

須恵器の付着した窯壁

６は口径17.4㎝で、低い高台のついた盤に復元を試みた。底部での厚さ0.8㎝を測る。器高は2.4㎝ある。高台は体部への変換点から1.5㎝中央へよった位置に貼り付けられている。体部は逆への字形に開き、口唇部内側がわずかに凹む。

この窯で焼成されたと考えられる須恵器が、管見の限りでは、横田町上方林遺跡、仁多町カネツキ免遺跡、中山遺跡で出土しており、食器を中心とした製品を、半径10㎞の範囲の官衙・集落へ供給していたようである。採集されている資料には時期差はみられず、ほぼ９世紀頃の窯と考えられ、出雲山間部における須恵器の生産と流通を知る重要な遺跡である。

（内田律雄）

**文献**　三辻利一「島根県内遺跡出土須恵器のけい光Ｘ線分析」『松江考古』第４号　昭和57年

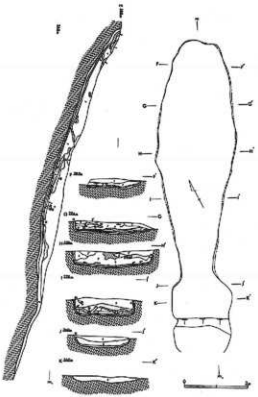
## 日脚1号窯跡（o 102）

浜田市日脚町大久保

**所在**　浜田市日脚町大久保の日脚遺跡から発見された登り窯である。ここは、周布平野の北東に位置し、日脚神社裏手の丘陵にあたる。この付近は、塚ケ原山から北に向って伸びる丘陵が分岐し、複雑な地形をなしているが、都野津層の良質な粘土を産することから近年まで石州瓦用の粘土を採集していたところである。日脚遺跡は昭和58年～59年にかけて島根県教育委員会が発掘調査を行い、古墳6基、窯跡1基、土壙、集石炉、掘立柱建物跡等を検出した。

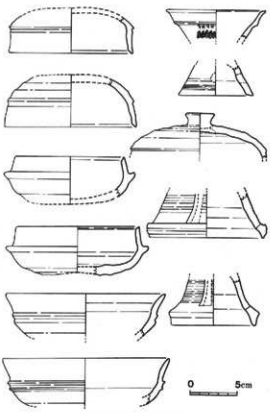
**遺跡の概要**　窯跡は、東西に伸びる尾根から緩やかに下降する斜面の中段に築かれていた。窯跡下方に存在する谷から2次堆積した須恵器、埴輪、窯壁片が多量に出土していることから、この付近には2基以上の窯跡が存在していたものと思われる。

窯は焚口からの長さ7.3 m、最大幅2.5 m、床面平均傾斜角21度を測る。天井部及び煙道は開墾のため削り取られている。平面形は、焚口から「ハ」の字形に広がり焼成部で最大幅となる徳利形を呈する。焚口は幅1.0 mあまりで、その前方には1.8 m×1.0 mの前庭部が存在し、灰原は前庭部から1段下がったところにわずかに残っていた。窯体の側壁は、0.4 mあまりの高さを残すのみであるが、この部分は垂直にたちあがっている。床面の傾斜は、焚口から燃焼部が緩やかで焼成部はわずかに急勾配となる。また、焼成部の床面には焼台として須恵器の壺、甕片を利用している。このような窯構造は、大阪府陶邑古窯跡群の5世紀後半～6世紀前半代の窯跡に類似しており注目される。



日脚1号窯跡実測図

**遺物**　窯体内及び灰原から400点あまりの須恵器片が出土している。大部分は、壺、甕類の破片で、その他蓋坏、高坏、鉢、直口壺、短頸壺、等がある。これらの須恵器は、定形化した古式須恵器の特徴をもつものと、形態的にやや退化したものの2つにわけられ、器肉は厚く、焼成は軟質のものが多い。また、出雲地方の安来市門生窯跡から採集された資料に類似した特徴を有し、山陰須恵器編年Ⅰ期にあたる古式のもので、石見地方の須恵器編年上重要な資料である。なお、熱残留磁気の測定の結果480年±20年という考古磁気年代を得た。




日脚1号窯跡出土須恵器

石見地方における須恵器窯跡は、益田市を中心に6世紀末～8世紀代のものが数基存在しているが、日脚1号窯跡は5世紀末～6世紀初頭に築かれた石見地方最古の窯跡で、当地方の須恵器生産の開始を知るうえに重要なものである。また、この窯跡で生産された須恵器は、現在のところ他からの出土をみないが、今後、石見地方における古墳時代の社会状況を知るうえに重要な手掛かりを与えるものとして注目される。　（川原和人）

## 西平原窯址群

益田市西平原町 735 番地

**所在**　国鉄山陰線鎌手駅の西方約 500 m。国道 9 号線によって切断された山丘の北側にある。これまでに 3 基の窯跡が発見されているが、それらは小字名により芝窯址、中塚窯址と呼ぶ。芝窯跡は益田市西平原町 735 番地に属し、所在地点は国道 9 号線と山陰線の間で、北西に延びる山丘の東斜面になる。中塚窯址群は 2 基確認されている。所在地点は山陰線の線路のすぐ北側で、芝窯址の立地する同一山丘の北東斜面にあたる。芝・中塚両窯址間の距離は約 150 mで、両者は一群の窯址群として捉えられる。

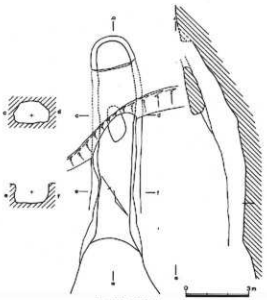
### 1. 芝窯址（t 10）

**遺跡の概要**　芝窯址は、土地所有者田中甚三郎氏が自宅建築に際して山丘斜面を切開いた時物原の一部が露出、これを山崎義助氏等が注意するところとなり、石見地方では早くから須恵器の窯跡として学界に知られていたものである。

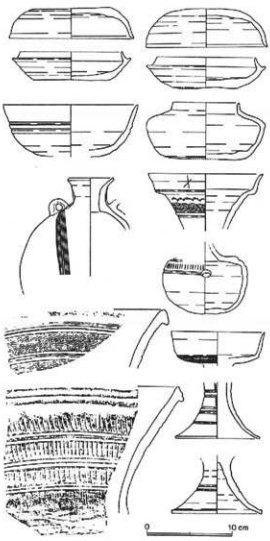
1957（昭和 32）年に早稲田大学考古学研究室が発掘調査を実施して窯体と物原の所在・構造を明かにした。出土遺物は発掘を担当した大川清（国士館大学教授）氏が保管。

芝窯址の窯体は、比高 2～30 mの山丘の頂部近くに設けられ、焚口を北東に開く長大なトンネル式の窖窯と考えられる。窯尻・煙道の構造ははっきりしないが、全長 10.5 m、焚口幅 1.5 m、焼成室幅 1.6～1.7 mで胴膨みのない平面形を示す。焼成室の傾斜は約30度。窯壁は高温によってガラス状を呈していた。ラッパ状に開く焚口の前方に物原が広がっている。投棄物の平面的な広がりは明かにしえないが、堆積層の厚さは 0.6～1.1 mを測り、上下 2 層に分けられる。下層は赤褐色、上層は黒色を呈する。おそらく下層は窯出しの際焚口部近くにあった焼成物が廃棄されて形成されたものであり、上層は焼成室のより奥部から取り出された廃棄物の堆積層と思われる。したがって芝窯址の出土遺物は一回の窯詰め分の一部分と認定することができる。

**遺物**　すべて須恵器で、完形の出土品はない。また窯体内部に少々の須恵器片が残存してはいたが、圧倒的な部分は物原からの出土品である。器種としては蓋杯、高杯、提瓶、壺、坩、甕が識別された。それぞれについて若干の補説をすると、蓋杯は口径14cm前後、偏平で蓋受部は低く、内傾している。蓋の口縁は鞘刃状、あるいは二段仕上げの古式手法をとどめる。高坏は高脚有透、高脚有蓋無透、低脚有蓋、低脚無蓋のヴァラエティがある。有蓋型式の口縁・口頸部のつくりは蓋坏と同様。提瓶には把手のあるものとないものがあるが、いずれも腹部に膨みの少ない端正な形を呈する。壺は長頸式で、



芝窯址実測図



芝窯址出土土器実測図・拓影